

法令全書

詔勅

朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ栃木縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

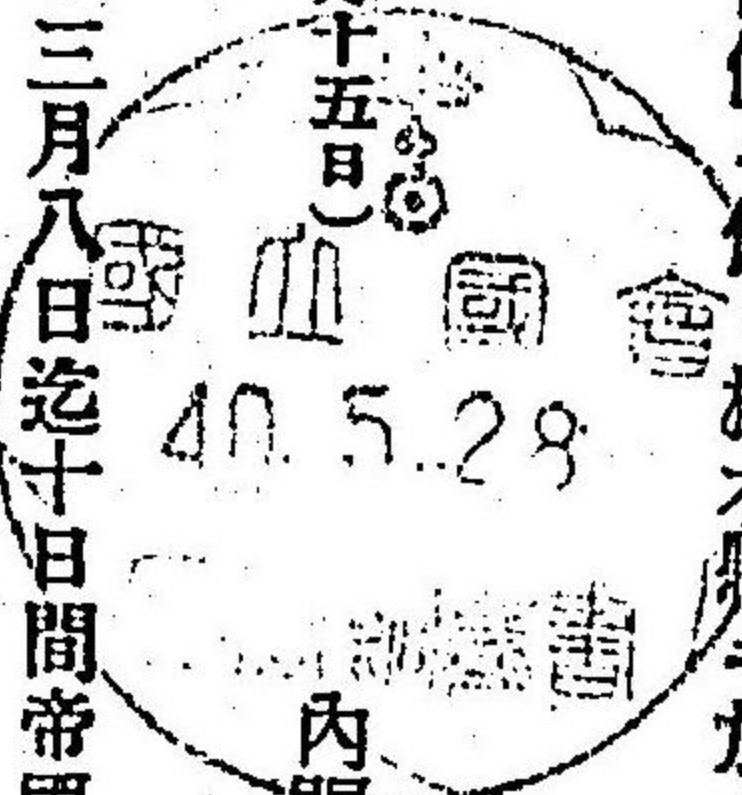
明治三十四年二月十四日(官報二月十五日)

朕帝國憲法第七條ニ依リ二月二十七日ヨリ三月八日迄十日間帝國議會ノ停會ヲ命ス

御名 御璽

明治三十四年二月二十七日

- 内閣總理大臣 侯爵伊藤博文
- 海軍大臣 山本權兵衛
- 大藏大臣 子爵渡邊國武
- 陸軍大臣 男爵兒玉源太郎
- 外務大臣 加藤高明
- 司法大臣 男爵金子堅太郎
- 内務大臣 文學博士末松謙澄
- 文部大臣 松田正久



明治三十四年二月 詔勅

27-12

Handwritten mark resembling a stylized 'A' or '4' with a crossbar.



明治三十四年二月 詔勅

農商務大臣 林 有造  
逓信大臣 原 敬

二

朕帝國憲法第七條ニ依リ三月九日ヨリ十三日迄五日間帝國議會ノ停會ヲ命ス

御名 御璽

明治三十四年三月九日

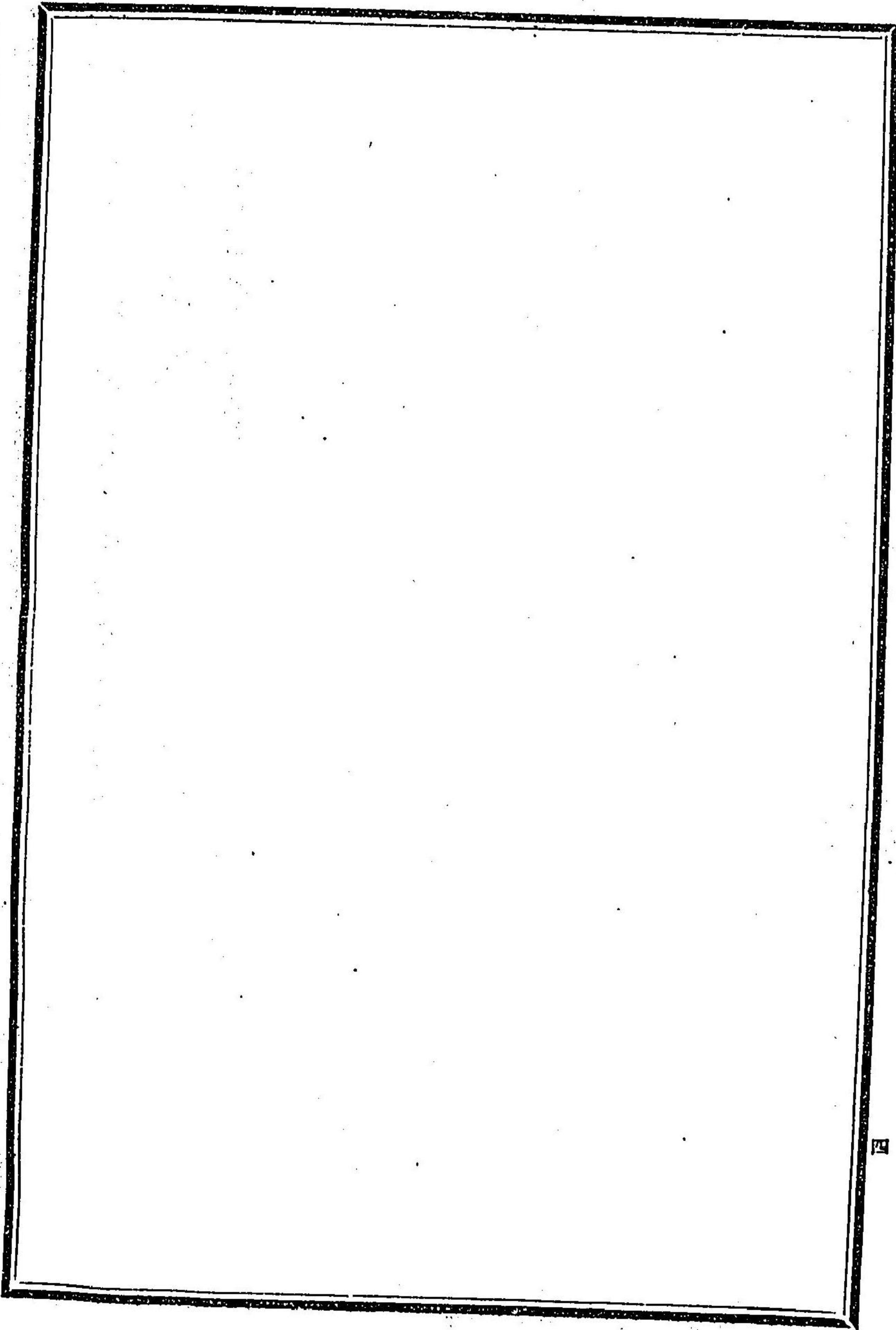
内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
海軍大臣 山本權兵衛  
大藏大臣 金子堅太郎  
陸軍大臣 兒玉源太郎  
外務大臣 加藤高明  
司法大臣 金子堅太郎  
内務大臣 末松謙澄  
文部大臣 松田正久  
農商務大臣 林 有造  
逓信大臣 原 敬

明治三十四年三月 詔勅

三



明治三十四年三月 詔勅



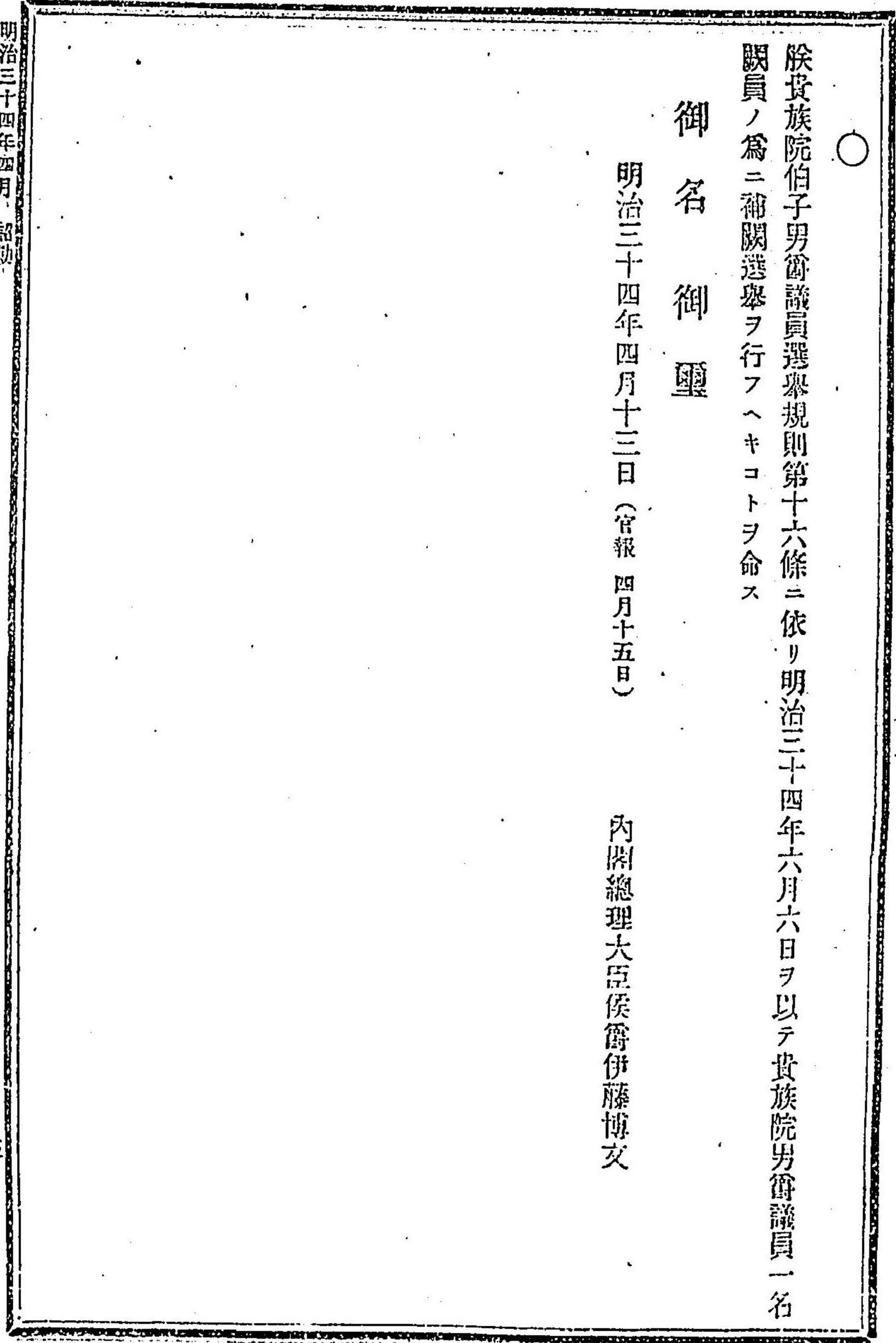
○  
除貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十四年六月六日ヲ以テ貴族院男爵議員一名  
闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十四年四月十三日(官報 四月十五日)

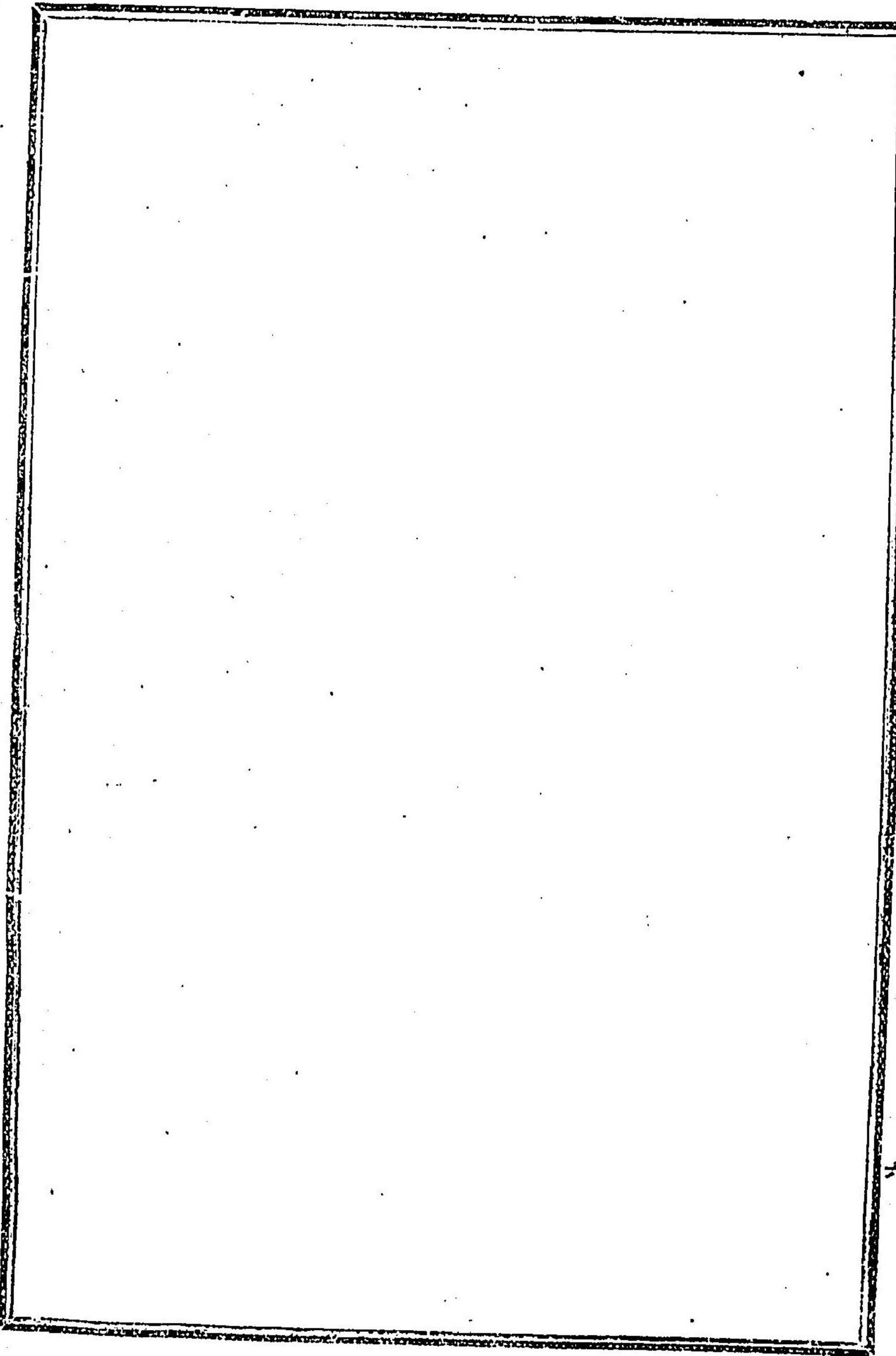
内閣總理大臣侯爵伊藤博文

明治三十四年四月 詔勅





明治三十四年四月 詔勅



六

朕正二位大勳位侯爵伊藤博文ヲ待ツニ特ニ大臣ノ禮ヲ以テシ茲ニ元勳優遇ノ意ヲ昭ニス

(官報 五月十日)

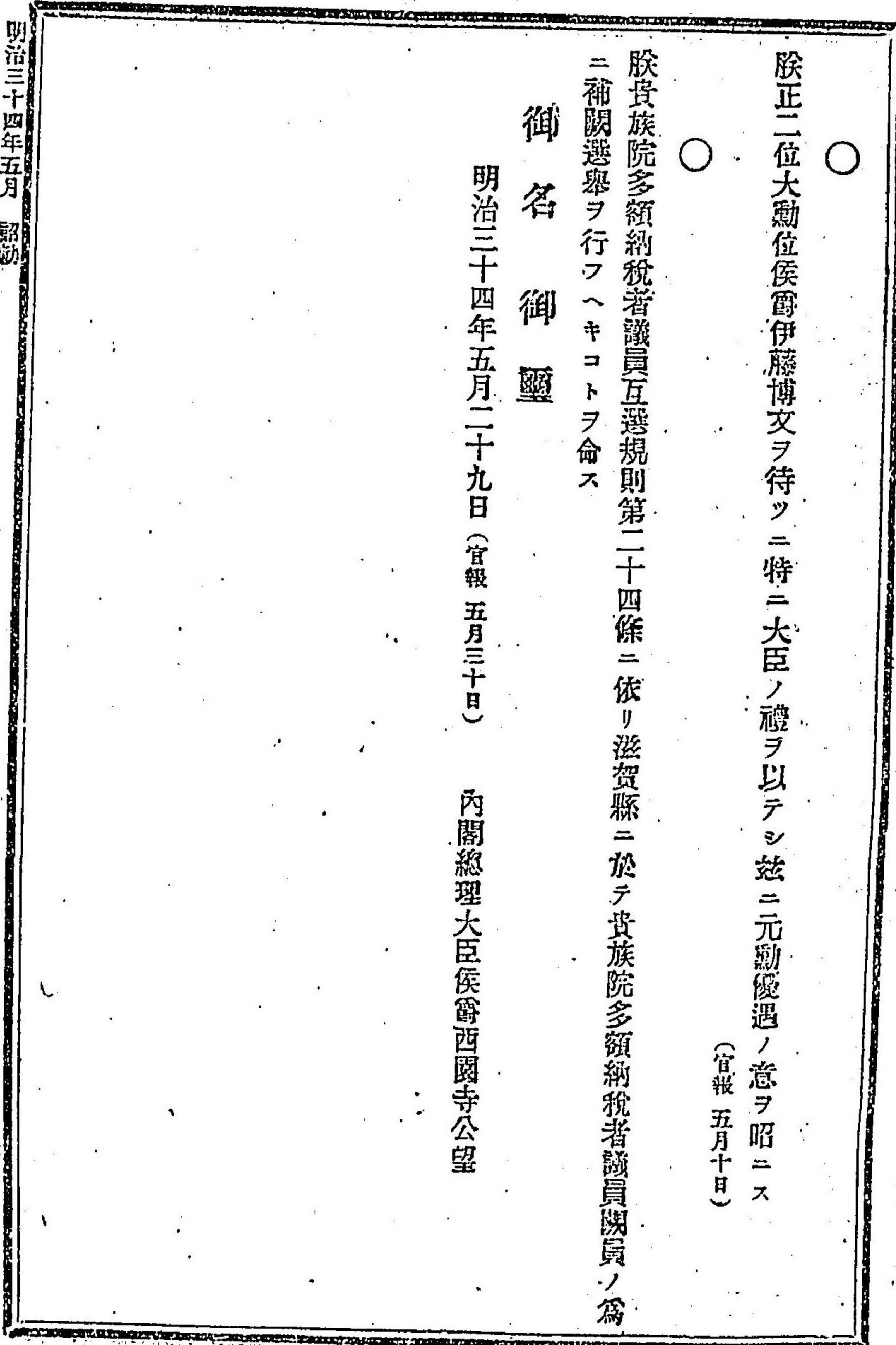
朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ滋賀縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十四年五月二十九日(官報 五月三十日)

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

明治三十四年五月 詔勅

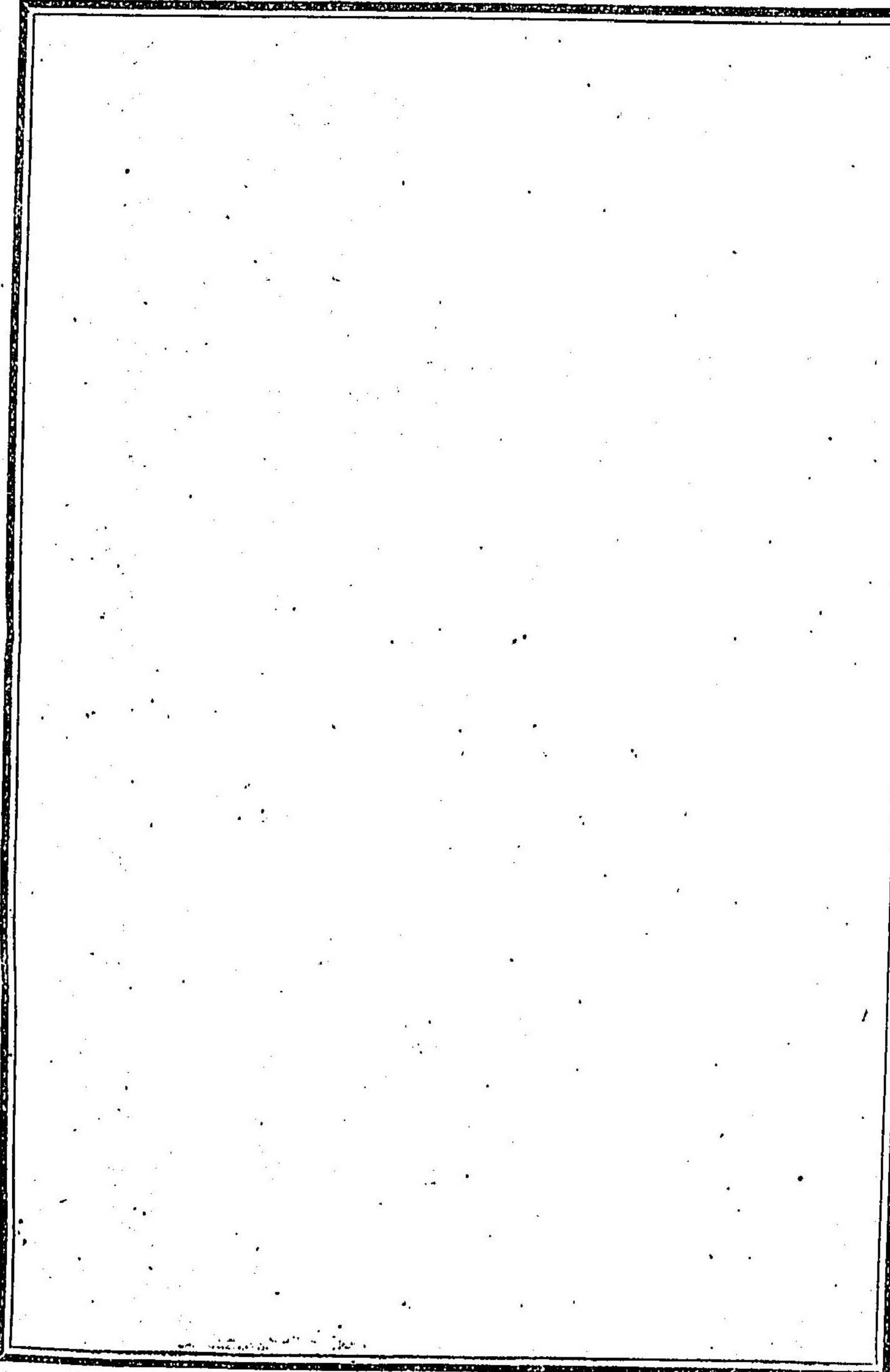


七



明治三十四年五月 詔勅

八



○ 朕貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十四年八月二日ヲ以テ貴族院子爵議員一名  
關員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十四年六月十日 (官報 六月十日)

内閣總理大臣子爵桂 太郎

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ熊本縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲  
ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

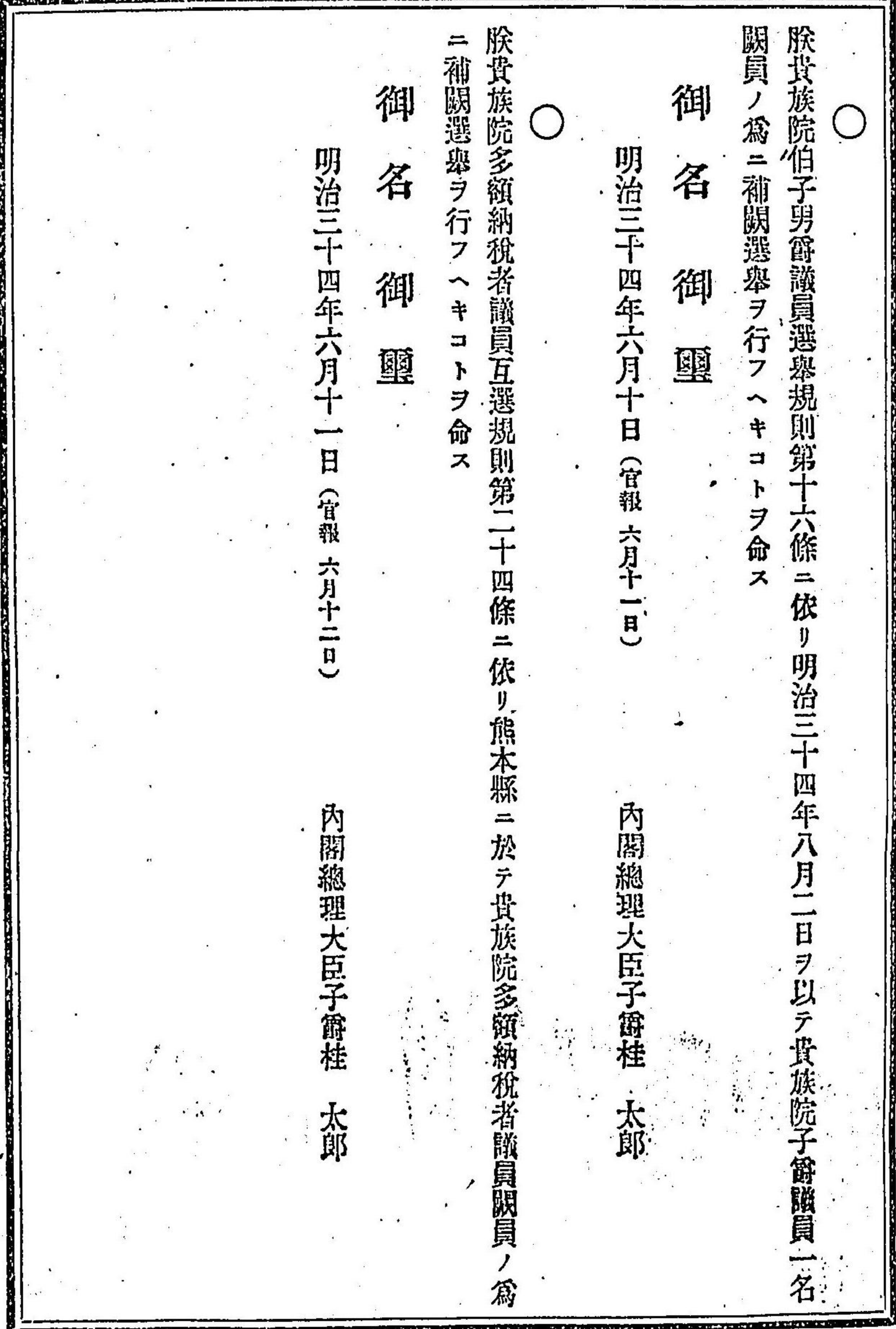
御名 御璽

明治三十四年六月十一日 (官報 六月十二日)

内閣總理大臣子爵桂 太郎

明治三十四年六月 勅諭

九





明治三十四年六月 詔勅

10

○ 除貴族院伯子男爵議員選舉規則第十六條ニ依リ明治三十四年九月二十六日ヲ以テ貴族院男爵議員一名闕員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

明治三十四年七月三十一日(官報八月一日)

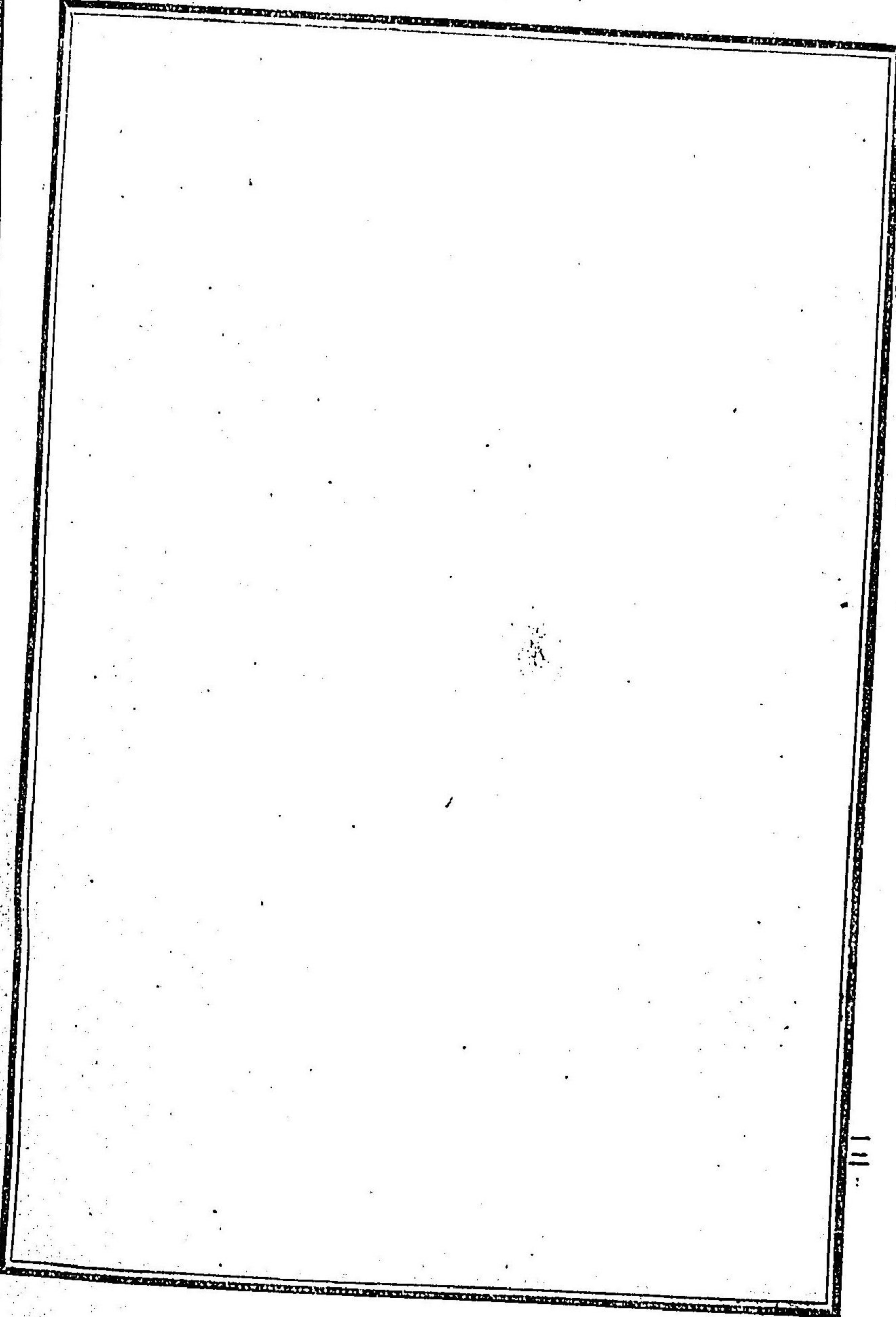
内閣總理大臣子爵桂 犬郎

明治三十四年八月 詔勅

11



明治三十四年八月 詔勅

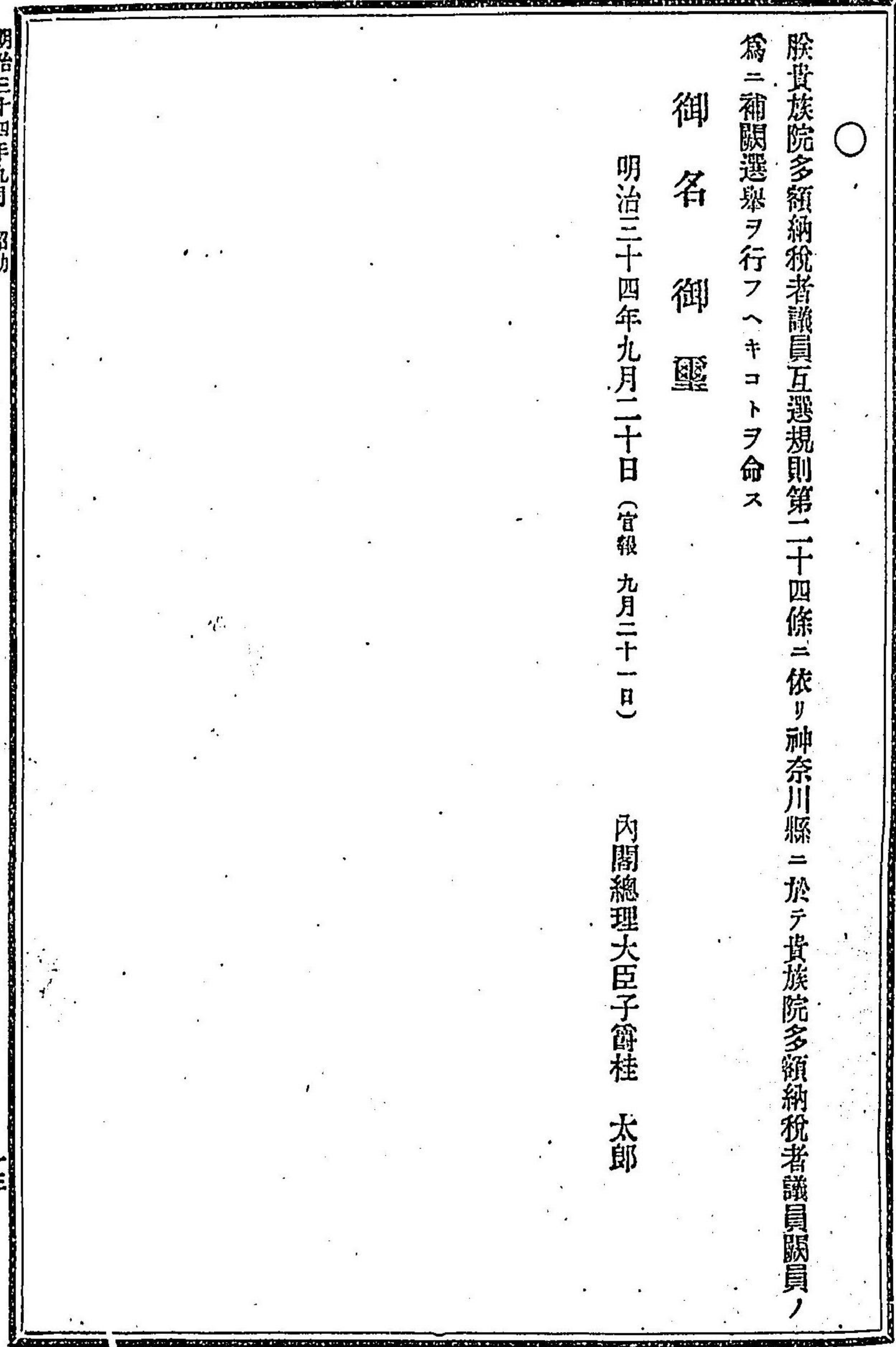


○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ神奈川縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員議員ノ  
爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

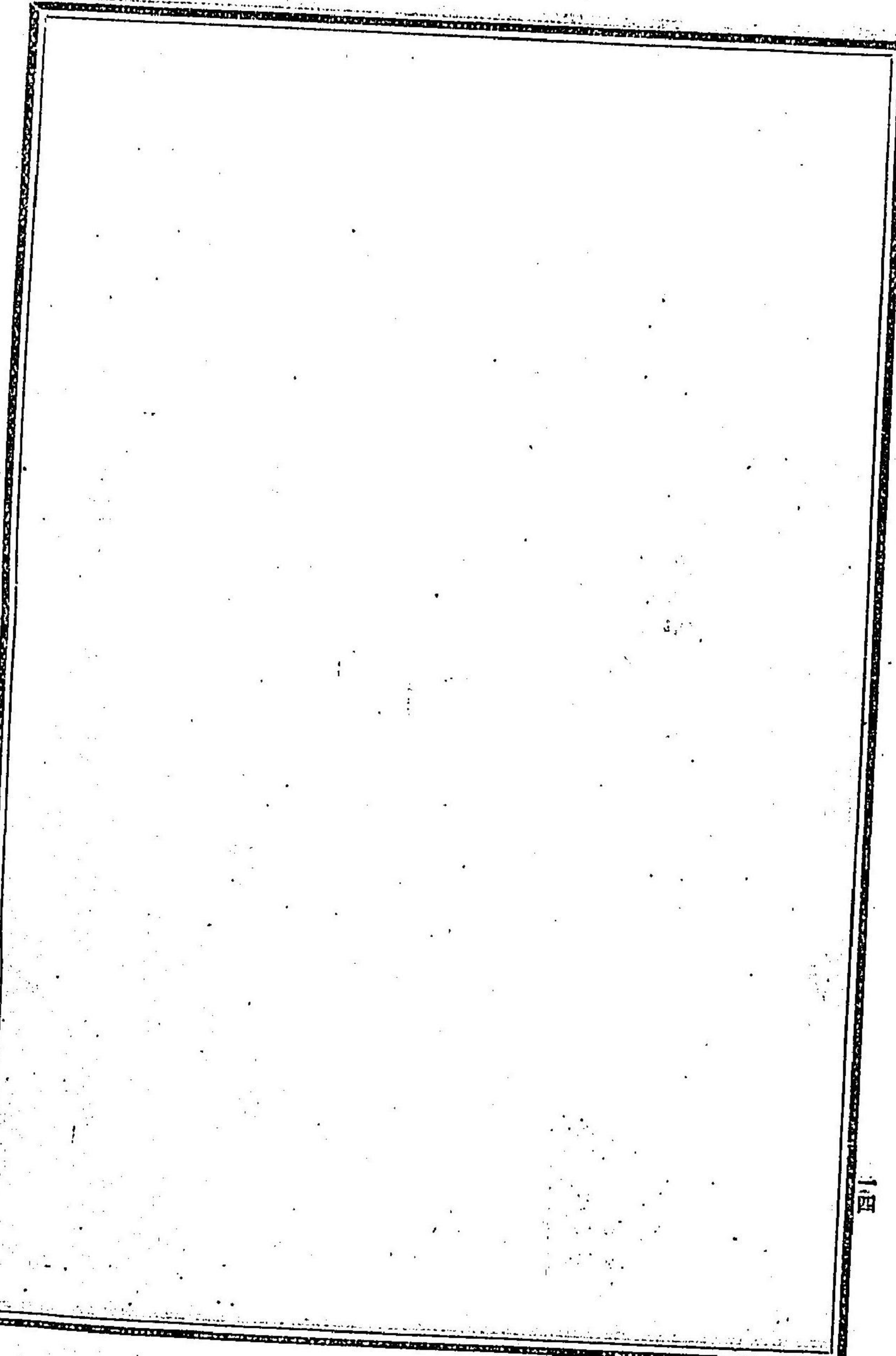
明治三十四年九月二十日 (官報 九月二十一日) 内閣總理大臣子爵桂 太郎

明治三十四年九月 詔勅





明治三十四年九月 勅諭



一四

○ 朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ山梨縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員關員ノ爲ニ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名 御璽

○ 明治三十四年十月一日 (宣報 十月二日)

内閣總理大臣子爵桂 太郎

○ 朕帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本年十二月七日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

御名 御璽

○ 明治三十四年十月二十五日 (宣報 十月二十六日)

- 内閣總理大臣子爵桂 太郎
- 海軍大臣 山本權兵衛
- 陸軍大臣 岡村春太郎
- 逓信大臣 子爵芳川顯正
- 内務大臣 子爵内海忠勝
- 文部大臣 子爵菊池大麓
- 農商務大臣 子爵平田東助
- 司法大臣 清浦奎吾
- 大藏大臣 曾禰荒助
- 外務大臣 小村壽太郎

明治三十四年十月 勅諭

一五



明治三十四年十月 詔勅

朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依リ十二月十日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名 御璽

明治三十四年十二月七日

內閣總理大臣	子爵桂 太郎
海軍大臣	山本權兵衛
陸軍大臣	男爵兒玉源太郎
逓信大臣	子爵芳川顯正
內務大臣	男爵內海忠勝
文部大臣	男爵菊池大麓
農商務大臣	平田東助
司法大臣	清浦奎吾
大藏大臣	曾禰荒助
外務大臣	小村壽太郎

明治三十四年十二月 詔勅



法令全書

法律

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル實業教育費國庫補助法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十六日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文  
大藏大臣 子爵 渡邊國武  
文部大臣 松田正久

法律第一號 (官報 三月二十七日)

實業教育費國庫補助法中左ノ通改正ス

第一條 實業教育ヲ獎勵スル爲メ國庫ハ毎年豫算ヲ以テ定ムル所ノ金額ヲ支出ス

附則

本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

法律第二十一號 實業教育費國庫補助法 (明治二十七年六月十二日官報抄録)  
第一條 實業教育ヲ獎勵スル爲メ國庫ハ毎年度金二十五萬圓ヲ支出シテ其ノ費用ヲ補助スヘシ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル北海道會法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十四年三月 法律 第一號 第二號 北海道會法



御名 御璽

明治三十四年三月二十七日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武  
内務大臣 文學博士末松謙澄

法律第二號 (官報 三月二十八日)

北海道會法

- 第一條 北海道會ハ各選舉區ヨリ選舉スル議員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 選舉區 議員定數及各選舉區ヨリ選出スヘキ議員ノ數ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第二條 北海道會議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三年トス
- 第三條 議員中定員三分ノ一以上關員アルトキハ三箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ  
關員定員ノ三分ノ一以下ノ場合ト雖内務大臣又ハ北海道廳長官ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムル  
トキハ其ノ補闕選舉ヲ行フヘシ
- 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス
- 第四條 帝國臣民タル男子年齡滿二十五年以上ニシテ北海道内ニ三年以來住所ヲ有シ且北海道内ニ於テ三年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者若ハ北海道内ニ於テ三年以來土地四町歩以上  
ヲ所有スル者ハ北海道會議員ノ選舉權ヲ有ス
- 帝國臣民タル男子年齡滿二十五年以上ニシテ北海道内ニ三年以來住所ヲ有シ且北海道内ニ於テ三年以來直接國稅年額十圓以上ヲ納ムル者若ハ北海道内ニ於テ三年以來土地十五町歩以上ヲ所有スル者ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有ス

有スル者ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有ス

家督相續ニ因リ財産ヲ取得シタル者ハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

家督相續ニ因リ土地ヲ取得シタルトキハ被相續人ノ所有シタル期間ヲ相續人ノ所有シタル期間ニ通算ス

土地所有ノ期間ハ所有權ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ之ヲ起算ス

本條ニ於テ土地ト稱スルハ耕地、宅地及海産干場ヲ謂フ

第五條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

- 一 禁治產者及準禁治產者
- 二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者
- 三 剝奪公權者及停止公權者
- 四 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定ニ至ル迄ノ者
- 五 租稅滯納處分中ノ者
- 六 公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後三年ヲ經サル者
- 第六條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者又ハ官立公立私立學校ノ學生生徒亦前條ニ同シ
- 第七條 左ニ掲クル者ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ



一 北海道廳ノ官吏  
 二 檢事、警察官吏及收稅官吏  
 三 神官、神職、僧侶其ノ他諸宗教師  
 四 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セムトスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ  
 選舉事務ニ關係アル官吏其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

北海道廳ノ爲請負ヲ爲ス者又ハ北海道廳ノ爲請負ヲ爲ス法人ノ役員ハ北海道會議員ノ被選舉權ヲ有セス

北海道會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第八條 北海道會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無ハ北海道廳長官之ヲ決定シ及之ヲ告示ス

前項北海道廳長官ノ決定ヲ違法ナリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

北海道會議員ハ其ノ被選舉權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アル迄ハ其ノ職ヲ失ハス

第九條 北海道會議員ノ選舉ニ關シ本法ニ規定ナキ事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 北海道會ハ法律勅令ニ別段ノ規定アルモノノ外北海道地方費ノ歲入出豫算及北海道地方稅ノ課目課率ヲ議決ス

北海道地方費ノ決算ハ年度終了後第二次ノ通常會ニ報告スヘシ

第十一條 北海道廳長官ハ北海道會ノ議決ニ付スヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發ス

第十二條 北海道會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ北海道廳長官ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ北海道會ニ報告スヘシ

第十三條 北海道會ノ權限ニ屬スル事項ハ其ノ議決ニ依リ北海道廳長官ニ於テ之ヲ專決處分スルコトヲ得

第十四條 府縣制第四十條第四十四條乃至第六十四條第八十二條乃至第八十五條第九十四條第九十六條第二百二十八條及第二百三十一條ノ規定ハ之ヲ本法ニ準用ス但シ其ノ規定中府縣參事會ノ職務ハ北海道廳長官之ヲ行フ

第十五條 本法ニ定ムル直接國稅ノ種類ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第十六條 島嶼ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キモノハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

附則

第十七條 本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 本法施行後三箇年間ハ第四條第一項及第二項ノ要件中納稅及土地所有ニ關スル三年ノ制限ハ之ヲ一年トス

第十九條 本法施行ノ際北海道會ノ權限ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間北海道廳長官之ヲ行フ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル北海道地方費法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽



明治三十四年三月二十七日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武  
内務大臣 文相末松謙澄

法律第三號(官報三月二十八日)

北海道地方費法

第一條 北海道地方費ハ北海道地方税其ノ他地方費ニ屬スル收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二條 北海道地方税ノ税目ハ左ニ掲グルモノノ外府縣税ニ關スル規定ヲ準用ス

一 反別割

二 水産税

第三條 反別割ハ地租附加税ヲ賦課セサル土地ノ所有者ニ之ヲ賦課ス但シ其ノ土地ノ民有ニ歸シタル年ノ翌年ヨリ二年間及屯田兵土地給與規則ニ依リ給與シタル土地ニ對シテハ現役中之ヲ賦課セス

第四條 水産税ハ水産物ノ採取又ハ製造ヲ營業ト爲ス者ニ之ヲ賦課ス

第五條 地租二分ノ一ヲ超過スル附加税ヲ賦課セムトスルキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 戸數割ハ北海道移住民ニシテ主トシテ耕作又ハ牧畜ノ事業ニ引續キ從事シ移住ノ日ヨリ三年ヲ經過セサル者ニハ之ヲ賦課セス

第七條 勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノノ外北海道地方税ノ賦課徴收ニ關スル事項ニ付テハ府縣税ニ關スル規定ヲ準用ス但シ其ノ規定中府縣參事會ノ職務ハ北海道廳長官之ヲ行ヒ市町村

又ハ市町村會トアルハ區町村又ハ區町村會及之ニ準スヘキモノニ該當ス

第八條 法律勅令ニ規定アルモノノ外北海道地方費ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ

- 一 警察費
- 一 警察廳舎建築修繕費
- 一 土木費
- 一 衛生及病院費
- 一 教育費
- 一 救育費
- 一 諸達書及揭示諸費
- 一 勸業費
- 一 二級町村長書記給料旅費
- 一 戸長役場費及戸長以下給料旅費及諸給與
- 一 北海道廳舎建築修繕費
- 一 北海道會議員選舉費
- 一 北海道會費
- 一 補助費
- 一 地方税取扱費
- 一 豫備費

前項ノ外費目ノ増加ヲ要スルトキハ北海道廳長官ハ北海道會ノ議決ヲ經内務大臣及大藏大臣ノ



許可ヲ受クヘシ

第九條 北海道ニ施行シタル從前ノ法律中府縣ノ負擔收入及國庫補助ニ關スル規定ハ之ヲ北海道地方費ニ準用ス

第十條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外北海道地方費ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

附則

第十一條 本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 北海道水産税及北海道地方税ニ關スル從前ノ規定ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス但シ廢止前ノ事實ニ對スル北海道地方税ノ賦課徵收及廢止前已ニ賦課シタル北海道地方税ノ徵收ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第十三條 北海道地方税ニ關スル從前ノ規定ニ依リ其ノ廢止前已ニ賦課シタル事實ニ對シテハ本法ニ依リ地方税ヲ課セス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル内務省所管或出陣時部土木事業費中信濃川河口修築費繰越ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十七日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

内務大臣 文藝博士 末松謙澄

法律第四號 (官報 三月二十八日)

明治三十三年度迄ニ竣功スヘキ内務省所管信濃川河口修築ニ係ル繼續費ニシテ竣功遲延ノ爲同年度迄ニ支出ヲ終ラサル金額ハ明治三十五年度迄遞次繰越使用スルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル司法官試補實地修習期間ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十七日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
司法大臣 男爵金子堅太郎

法律第五號 (官報 三月二十八日)

司法官試補ノ實地修習期間ハ今後三箇年間ハ一年六箇月マテニ減縮スルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル生絲検査所法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十七日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
農商務大臣 林有造

法律第六號 (官報 三月二十八日)

生絲検査所法中左ノ通改正ス



第一條 削除

附則

本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

法律第三十二號生絲検査所法(明治二十八年六月十八日官報)抄録  
第一條 生絲検査所ハ横濱及神戸ニ之ヲ設ク

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒造税法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年二月三十日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第七號

酒造税法中左ノ通改正ス

第一條中「酒精ノ六種トス」ヲ「五種トス」ニ改ム

第四條 酒類ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數ニ應シ左ノ割合ヲ以テ造石税ヲ課ス

第一種 酒精分二十度以下ノ清酒、濁酒、白酒、  
酒分及甘味原料トシテ製造シタル糖酎 一石ニ付 金十五圓

第二種 酒精分三十五度以下ナルモノ  
ニシテ酒分三十五度以下ナルモノ 一石ニ付 金十六圓

第三種 酒精分二十度ヲ超ル清酒、濁酒、白酒、  
味酒及酒分四十五度ヲ超ル糖酎 一石ニ付 金七十五圓

前項ニ於テ酒精分ト稱スルハ攝氏溫度器十五度ノ時ニ於テ原容量百分中ニ含有スル〇・七九四  
七ノ比重ヲ有スル酒精ノ容量トス

第五條第一項中「酒精」ヲ削ル

第七條中「徵收スルコトヲ得」ヲ「徵收ス此ノ場合ニ於テハ納税ノ擔保トシテ酒類ヲ差押フルコトヲ  
得」ニ改ム

第十九條 收税官吏ハ酒類ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ所持ニ係ル酒類、其ノ製造出入ニ  
關スル一切ノ帳簿書類及酒類製造又ハ販賣上必要ナル建築物、材料、器械其ノ他ノ物件ヲ検査シ  
又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 免許ヲ受ケスシテ酒母、醪又ハ酒類ヲ製造シタル者ハ五十圓以上五千圓以下ノ罰金  
ニ處ス但シ直ニ造石税ヲ賦課徵收スルコトヲ妨ケス

第二十三條 酒類ヲ製造セサル者第二十一條ノ禁令ヲ犯シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ罰  
金ニ處ス

第二十三條ノ二 免許ヲ受ケスシテ酒母、醪ヲ製造シタル者又ハ第二十一條ノ禁令ヲ犯シタル者  
ハ濁酒ヲ製造シタル者トシ其ノ製造ニ係ル酒母、醪ノ總石數ニ對シ造石税ヲ課ス  
前項ノ造石税ハ第六條ノ納期ニ依ラス直ニ之ヲ納ムヘシ

第二十三條ノ三 削除  
第二十四條中「三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス」ヲ「五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下  
ルコトヲ得ス」ニ改ム  
第二十五條中「三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス」ヲ「五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下



ルコトヲ得スニ改ム

第二十六條中「三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス」ヲ「五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス」ニ改ム

第二十七條中「十圓ヲ三十圓ニ三百圓ヲ五百圓ニ改ム」

第二十八條中「五圓ヲ十圓ニ五十圓ヲ百圓ニ改ム」

第二十九條 酒類ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者酒類ノ製造出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ怠リタルトキハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 酒類ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人、其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ此ノ税法ヲ犯シタルトキハ其ノ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第三十九條中「三倍ニ相當スル罰金又ハ科料ニ處シ其ノ酒類ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス」ヲ「五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ酒類ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

附則

本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ同日前ニ於テ製成シタル酒類ニハ舊税率ヲ適用ス

〔參照〕

法律第二十八號酒造税法(明治二十九年三月二十八日官報)抄録

第一條 此ノ税法ニ於テ酒類ト稱スルハ清酒、濁酒、白酒、味淋、燒酎、酒精ノ六種トス

第四條 酒類ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數ニ應ジ左ノ割合ニ從ヒ造石稅ヲ課ス

第一種 清酒、濁酒 一石 金十二圓  
白酒、味淋 一石 金十三圓

第二種 燒酎、酒精

一石 金十三圓

第五條 政府ハ一酒造年度間清酒ハ百五十石、燒酎、酒精ハ五十石以上ヲ製造スル者ニ非サレハ酒類製造ノ免許ヲ與ヘ

第七條 政府ハ酒類ヲ製造スル者脫稅又ハ逃稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキハ其ノ酒類製造ノ免許ヲ與ヘ

第十九條 收稅官吏ハ命令ノ規程ニ依リ酒類ノ製造出入ニ關スル一切ノ帳簿簿類及酒類製造上必要ナル建築材料、器械

第三十二條 免許ヲ受ケシテ酒類ヲ製造又ハ酒類製造用ノ酒母若ハ膠ヲ製造シタル者ハ二十圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 酒類ヲ製造セザル者又ハ膠ヲ製造シタルトキハ十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條ノ二 酒類ヲ製造セザル者第二十一條ノ禁令ヲ犯シタルトキハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條ノ三 前二條ニ依リ處罰セラレタル者又ハ間接國稅犯則者處分法第十一條ニ依リ處分セラレタル者ハ濁酒ヲ製

造シタル者トシ其ノ製造ニ係ル總石數ノ造石稅ヲ課ス

第二十四條 酒類ヲ製造スル者詳覺其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石數ノ算定ヲ免カレ又ハ免カレムトシタルトキハ其ノ石數

ノ造石稅三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス

第二十五條 酒類ヲ製造スル者故意ニ事故ヲ作爲シ又ハ詐術ヲ構ヘ造石稅ノ免除ヲ得又ハ得ムトシタルトキハ其ノ石數ノ

造石稅三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス

第二十六條 納稅保證シテ保存ノ義務ヲ有スル酒類ヲ他人ニ讓渡シタル者滯納處分ヲ受ケタルモ仍舊納稅完納スルコト能

ハサルトキハ其ノ不足造石稅ノ三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス

第二十七條 酒類製造用ト否トヲ問ハス其ノ製造シタル酒母又ハ膠ノ 検査ヲ免レ又ハ免レムトシタル者ハ十圓以上三百圓

以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條 酒類ヲ製造スル者第十七條又ハ第十八條ノ禁令ヲ犯シタルトキハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 酒類ヲ製造スル者酒類ノ製造出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰



金ニ處シ銀價ノ記帳ヲ怠リタル者ハ五圓以上一圓九十五圓以下ノ科料ニ處ス  
 第三十二條 酒類ヲ製造スル者ノ代理人家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ此ノ税法ヲ犯シタルトキ  
 ハ製造主ハ自己ノ指揮ニ出サルノ故ヲ以テ此ノ税法ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ス  
 第三十九條 沖繩縣ヲ除ク外此ノ法律ヲ施行セサル地ニ於テ製造シタル酒類ハ此ノ法律施行地ニ移出スルコトヲ得ス犯ス  
 者ハ其ノ酒類ノ石數ニ應シ第四條ノ税率ニ從テ算出シタル税額三倍ニ相當スル罰金又ハ科料ニ處シ其ノ酒類ハ何人ノ所  
 有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒精及酒精含有飲料税法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治三十四年三月二十日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文  
 大藏大臣 子爵 渡邊 國武

法律第八號

酒精及酒精含有飲料税法

第一條 酒精及酒精含有スル飲料ニハ本法ニ依リ造石税ヲ課ス  
 第二條 酒精又ハ酒精含有スル飲料ヲ製造スルトキハ一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量一箇  
 毎ニ金七十五錢ノ割合ヲ以テ其ノ石數ニ應シテ造石税ヲ課ス但シ一石ニ付金十六圓ノ割合ヲ下  
 ルコトヲ得ス  
 第三條 本法ニ於テ純酒精ト稱スルハ攝氏溫度器十五度ノ時ニ於テ〇・七九四七ノ比重ヲ有スル  
 酒精トス  
 第四條 清酒、濁酒、白酒、味淋、燒酎、麥酒（ビール）及葡萄酒實ヲ以テ釀造シタル葡萄酒ニハ本法ヲ適  
 用セス

用セス

第五條 酒精又ハ酒精含有スル飲料ヲ製造スル者ハ製造場一箇所毎ニ政府ノ免許ヲ受クヘシ其  
 ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ  
 第六條 造石税ハ毎月中ノ査定石數ニ依リ翌月中ニ於テ一時ニ之ヲ納ムヘシ但シ製造ヲ廢止シタ  
 ルトキハ即納トス  
 第七條 造石税ヲ納ムヘキ者造石税ヲ逋脱シ又ハ逋脱セムトスルノ所爲アリト認ムルトキハ政府  
 ハ直ニ造石税ノ全部又ハ一部ヲ徵收ス此ノ場合ニ於テハ納税ノ擔保トシテ酒精又ハ酒精含有  
 スル飲料ヲ差押フルコトヲ得  
 第八條 同一製造場内ニ於テ酒精又ハ酒精含有スル飲料ヲ製造スルカ爲原料トシテ使用スル酒  
 精又ハ酒精含有スル飲料ニハ造石税ヲ課セス  
 前項ノ規定ニ依ラムトスル者ハ其ノ原料用ノ酒精又ハ酒精含有スル飲料ニ付製成ノ時石數ノ  
 檢定ヲ受クルコトヲ要ス  
 第九條 製造石數ハ酒精又ハ酒精含有スル飲料ヲ製成シタル時實測シテ之ヲ査定ス但シ前條ニ  
 依リ檢定シタル酒精又ハ酒精含有スル飲料ハ此ノ限ニ在ラス  
 犯則其ノ他ノ事故ニ依リ前項ニ依リ難キ場合ニ於テハ現在ノ酒精又ハ酒精含有スル飲料若ハ  
 證憑物件ニ就キ製造石數ヲ査定シ造石税ヲ課ス  
 第十條 第八條ニ依リ檢定シタル酒精又ハ酒精含有スル飲料ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ檢定石數  
 ヲ以テ査定石數トシ造石税ヲ課ス  
 一 他人ニ讓渡サレタルトキ



二 公賣セラレタルキ

三 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料製造用外ニ消費セラレタルトキ

第十一條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ニシテ災害ニ罹リ亡失シタルトキハ其ノ造石稅ヲ免除スルコトヲ得但シ製造場外ニ移出シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造シタル者ハ其ノ製造石稅査定前ニ於テ之ヲ他人ニ讓渡シ、質入シ、消費シ又ハ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第十三條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ハ其ノ製造、出入ニ關シ詳細明瞭ニ其ノ事實ヲ帳簿ニ記載スヘシ

第十四條 收稅官吏ハ命令ノ規定ニ依リ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ所持ニ係ル酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料、其ノ製造、出入ニ關スル一切ノ帳簿書類及其ノ製造又ハ販賣上必要ナル建築物、器械、材料其ノ他ノ物件ヲ検査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十五條 免許ヲ受ケシテ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造シタル者ハ其ノ造石稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第十六條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スル者詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ其ノ製造石稅ノ査定ヲ免カレ又ハ免レシタルトキハ其ノ造石稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第十七條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スル者故意ニ事故ヲ作爲シ又ハ詐術ヲ構ヘ造石稅ノ免除ヲ得ムトシタルトキハ其ノ申請ニ係ル總石稅ノ造石稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第十八條 第十二條ノ禁令ヲ犯シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者其ノ原料若ハ帳簿書類ヲ隠蔽シタルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者其ノ製造、出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ怠リタルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 收稅官吏其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ其ノ執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第二十二條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不諭罪及減輕、再犯加重、數罪併發ノ例ヲ用弗ス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ代理人、戶主家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ其ノ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第二十四條 酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ノ製造ヲ廢止シタル者及モ其ノ相續人ハ造石稅完納前ニ在リテハ總テ本法ノ規定ニ從フ

附則

第二十五條 本法ハ明治二十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ同日前ニ於テ製成シタル酒精ニハ舊稅率ヲ適用ス



第二十六條 混成酒稅法ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前ニ於テ製造シタル混成酒ニハ仍該法ヲ適用ス

第二十七條 本法若ハ本法ト同一ノ稅率ヲ有スル法規ヲ臺灣ニ施行スルマテハ臺灣ニ於テ製造シタル酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ本法施行地ニ移入スルコトヲ得ズ犯ス者ハ其ノ石數ニ應シテ第一條ノ稅率ニ從テ算出シタル稅額五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ズ前項ノ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣酒類出港稅則中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月三十日

內閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

法律第九號

沖繩縣酒類出港稅則中左ノ通改正ス

第一條 沖繩縣内ニ於テ製造シタル清酒濁酒白酒味淋又ハ燒酎ヲ帝國内ノ他ノ地方へ移出スルトキハ其ノ石數ニ應シ左ノ割合ヲ以テ出港稅ヲ課ス

第一種 清酒濁酒 一石ニ付 金十五圓

第二種 燒酎 一石ニ付 金十六圓

攝氏驗溫器十五度ノ時ニ於テ原容量百分中純酒精ノ容量第一種ニ在リテハ二十、第二種ニ在リ

テハ四十五ヲ超ユルモノハ前項ノ割合ニ依ラズ一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量一箇毎ニ金七十五錢ノ割合ヲ以テ酒類ノ石數ニ應シ出港稅ヲ課ス

前項ニ於テ純酒精ト稱スルハ攝氏驗溫器十五度ノ時ニ於テ〇、七九四七ノ比重ヲ有スル酒精トス

第六條中三、三倍ノ罰金ニ處シ仍其ノ酒類ヲ沒收ス既ニ賣捌キタル者ハ其ノ代價ヲ追徵スヲ「五倍ノ罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ズ」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ酒類ハ之ヲ沒收ス既ニ賣捌キタルモノハ其ノ代價ヲ追徵ス

第七條中「五圓」ヲ「十圓」ニ「五十圓」ヲ「百圓」ニ改ム

第八條中「二圓」ヲ「三圓」ニ「二十圓」ヲ「三十圓」ニ改ム

附則

本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

勅令第十二號沖繩縣酒類出港稅則(明治二十二年三月二十二日官報)抄録

第一條 沖繩縣内ニ於テ製造シタル酒類ヲ帝國内ノ他ノ地方ニ移出スルトキハ其ノ石數ニ應シ左ノ割合ヲ以テ出港稅ヲ課ス

第一種 清酒濁酒 一石 金十二圓

第二種 燒酎酒精 一石 金十三圓

第三種 混成酒 一石 金十三圓

攝氏驗溫器十五度ノトキニ於テ原容量百分中酒精ノ容量第一種第三種ニ在テハ二十、第二種ニ在テハ五十ヲ超過スルトキハ百分ノ一ヲ増ス毎ニ前項ノ金額ニ一圓ヲ加フ

第六條 出港稅ヲ納メス酒類ヲ他府縣へ輸出セントシテ船積シ又ハ輸出シタルモノハ出港稅金三倍ノ罰金ニ處シ仍其酒



類ヲ沒收ス既ニ賣却キタル者ハ其代價ヲ追徵ス  
第七條 第四條ノ屬出ヲ爲サ、ル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
第八條 主任官吏ノ検査ヲ拒ム者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒精、酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

法律第十號

第一條 帝國內ニ於テ製造シタル酒精又ハ酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料ヲ外國ニ輸出シタル者ハ左ノ割合ニ依ル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得但シ葡萄實ヲ以テ釀造シタル葡萄酒ハ此ノ限ニ在ラス

一 清酒、濁酒、白酒、味淋及甘藷ヲ原料トシテ製造シタル燒酎

一石ニ付 金十五圓

一 燒酎

一石ニ付 金十六圓

一 麥酒（ビール）

一石ニ付 金七圓

一 酒精ヲ含有スル飲料ニシテ前各號ニ掲ケサルモノ及酒精

一石ニ付 原容量百分中純酒 金七十五錢  
續ノ容量一箇毎ニ

輸出後一年ヲ經過シタルトキハ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第二條 前條ニ依リ金額ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ輸出港税關ニ提出スルコトヲ要ス

一 製造場所轄稅務署ノ交付シタル納稅濟證明書

二 輸出免狀

三 外國輸入港税關ノ輸入免狀又ハ其ノ他外國ニ陸揚シタルコトヲ證スヘキ書類

第三條 納稅濟ニ至ラサル酒精又ハ酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料ヲ輸出シタル者ハ稅額ニ相當スル擔保ヲ提供シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ以テ前條納稅濟證明書ニ代フルコトヲ得

附則

第四條 本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ施行シ同日以後製造シタル酒精又ハ酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料ニ之ヲ適用ス

第五條 明治二十一年勅令第五十四號ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前ニ於テ製造シタル酒精又ハ酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料ニ關シテハ仍該勅令ヲ適用ス

〔參照〕

明治二十一年七月十二勅令第五十四號ハ輸出酒類戻稅規則ナリ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル醫藥用、工業用酒精戻稅法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月 法律 第十一號 醫藥用工業用酒精戻稅法



明治三十四年三月三十日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第十一號

醫藥用工業用酒精稅法

第一條 造石稅若ハ輸入稅納付濟ノ酒精ヲ醫藥用又ハ工業用ニ供スル者ハ政府ノ承認ヲ得テ毎回一石以上ノ酒精ヲ使用スルトキハ限リ其ノ納付シタル造石稅若ハ輸入稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

使用後一年ヲ經過シタルトキハ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第二條 酒類又ハ其ノ他ノ飲料製造用ニ供スル酒精ニハ前條ヲ適用セス

第三條 第一條ニ依リ金額ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ造石稅又ハ輸入稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

附則

第四條 本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ施行シ同日以後造石稅又ハ輸入稅ノ賦課ヲ受ケタル酒精ニ之ヲ適用ス

第五條 明治三十一年法律第二十七號ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前ニ於テ造石稅又ハ輸入稅ノ賦課ヲ受ケタル酒精ノ稅金下戻ニ關シテハ仍該法ヲ適用ス

〔參照〕

明治三十一年八月廿四日 法律第二十七號ハ醫藥用工業用酒精ニ關スル件ナリ

御名 御璽

明治三十四年三月三十日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第十二號

麥酒稅法

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル麥酒稅法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 麥酒(ビール)ニハ本法ニ依リ麥酒稅ヲ課ス

第二條 麥酒ヲ製造セムトスル者ハ製造場一箇所毎ニ政府ノ免許ヲ受クヘシ其ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ

第三條 麥酒稅ハ麥酒一石ニ付金七圓ノ割合ヲ以テ其ノ製造石數ニ應シ麥酒ヲ製造スル者ヨリ之ヲ徵收ス

第四條 麥酒稅ハ毎月中ノ査定石數ニ依リ翌月中ニ於テ一時ニ之ヲ納ムヘシ但シ製造ヲ廢止シタルトキハ即納トス

第五條 麥酒ヲ製造スル者麥酒稅ヲ連脱シ又ハ連脱セムトスルノ所爲アリト認ムルトキハ政府ハ直ニ麥酒稅ノ全部又ハ一部ヲ徵收ス此ノ場合ニ於テハ納稅ノ擔保トシテ麥酒ヲ差押フルコトヲ得

第六條 麥酒ノ製造石數ハ製成ノ時容器ノ容量ニ依リ之ヲ査定ス  
犯則其ノ他ノ事故ニ依リ前項ニ依リ難キ場合ニ於テハ現在ノ麥酒又ハ證憑物件ニ就キ其ノ製造



石數ヲ査定シ麥酒稅ヲ課ス

第七條 災害ニ罹リ口失シタル麥酒ニ關シテハ其ノ麥酒稅ヲ免除スルコトヲ得但シ製造場外ニ移出シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第八條 麥酒ヲ製造スル者ハ製造石數査定前ニ於テ其ノ麥酒ヲ他人ニ讓渡シ賣入シ消費シ又ハ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第九條 麥酒ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ハ麥酒ノ製造、出入ニ關シ詳細明瞭ニ其ノ事實ヲ帳簿ニ記載スヘシ

第十條 收稅官吏ハ命令ノ規定ニ依リ麥酒ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ所持ニ係ル麥酒、其ノ製造、出入ニ關スル一切ノ帳簿書類及麥酒製造又ハ販賣上必要ナル建築物器械材料其ノ他ノ物件ヲ検査シ又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 免許ヲ受ケテ麥酒ヲ製造シタル者ハ其ノ麥酒稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第十二條 麥酒ヲ製造スル者詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ其ノ製造石數ノ査定ヲ免カレ又ハ免カレムトシタルトキハ其ノ麥酒稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第十三條 麥酒ヲ製造スル者故意ニ事故ヲ作爲シ又ハ詐術ヲ構ヘ麥酒稅ノ免除ヲ得又ハ得ムトシタルトキハ其ノ申請ニ係ル總石數ノ麥酒稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第十四條 麥酒ヲ製造スル者第八條ノ禁令ヲ犯シタルトキハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 麥酒ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者其ノ原料又ハ帳簿書類ヲ隠蔽シタルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 麥酒ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者麥酒ノ製造、出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ怠リタルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 收稅官吏其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ其ノ執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第十八條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不問罪及減輕、再犯加重、數罪併發ノ例ヲ用井ス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 麥酒ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ麥酒製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第二十條 麥酒製造ヲ廢止シタル者及其ノ相續人ハ麥酒稅完納前ニ在リテハ總テ本法ノ規定ニ從フ

第二十一條 本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條 本法施行前ヨリ麥酒ノ製造ヲ爲ス者本法施行後十日以内ニ於テ製造場一箇所毎ニ收府ニ申告スルトキハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル砂糖消費稅法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月 法律 第十三號 砂糖消費稅法

二五



明治三十四年三月三十日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第十三號

砂糖消費税法

第一條 内地消費ノ目的ヲ以テ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ引取ララルル砂糖、糖蜜及糖水ニハ本法ニ依リ消費税ヲ課ス

第二條 製品ノ原料トシテ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ使用スルハ其ノ消費ト看做ス

第三條 消費税ノ割合左ノ如シ

第一種 砂糖色相和蘭標本第八號未滿ノ砂糖及糖蜜 百斤ニ付金一圓

第二種 砂糖色相和蘭標本第八號以上第十五號未滿ノ砂糖 百斤ニ付金一圓六十錢

第三種 砂糖色相和蘭標本第十五號以上第二十號以下ノ砂糖及糖水 百斤ニ付金二圓二十錢

第四種 砂糖色相和蘭標本第二十號ヲ超ユル砂糖及糖水 百斤ニ付金二圓八十錢

第四條 前條ノ消費税ハ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ引取ルトキ之ヲ徵收ス但シ政府ニ於テ相當ト認ムル擔保ヲ提供スルトキハ六箇月以内消費税ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ其ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ見本ヲ採取スルコトヲ得

前項ニ依リ擔保ヲ提供シタル者期限内ニ税金ヲ納付セザルトキハ擔保ヲ以テ之ニ充ツ但シ金銀以外ノ擔保ハ之ヲ公賣ニ付シ消費税及公賣ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ之ヲ擔保提供者ニ還

付ス

擔保物ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 内地消費ノ目的ニ非スシテ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ引取ラルル砂糖、糖蜜又ハ糖水ニ付テハ消費税ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス擔保物ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ニ依リ擔保ヲ供シタル砂糖、糖蜜又ハ糖水ニシテ引取後六箇月内ニ外國ニ輸出セラレタルノ證明ナキモノハ内地消費ニ供セラレタルモノト看做シ擔保ヲ以テ消費税ニ充ツ但シ金銀以外ノ擔保ハ之ヲ公賣ニ付シ消費税及公賣ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ之ヲ擔保提供者ニ還付ス

第六條 消費税納付前又ハ擔保提供前ニ於テハ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ引取ルトコトヲ得ス

第七條 砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者ハ消費税納付前又ハ擔保提供前ニ於テ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ他ニ引渡シ又ハ政府ノ承認ヲ得スシテ之ヲ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第八條 砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造セムトスル者ハ政府ニ申告スヘシ其ノ製造ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第九條 砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ハ帳簿ヲ備ヘ砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ製造、出入ヲ詳細明瞭ニ記載スヘシ

第十條 收税官吏ハ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ所持ニ係ル砂糖、糖蜜、糖水、其ノ製造、出入ニ關スル帳簿書類及其ノ製造又ハ販賣上必要ナル建築物、器械、材料其ノ他ノ物件ヲ検査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 政府ノ承認ヲ得消費税ヲ課セラレタル砂糖又ハ糖蜜ヲ原料トシテ砂糖、糖水又ハ酒精



ヲ製造シタル者ハ原料トシタル砂糖又ハ糖蜜ノ消費税ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

製造後一年ヲ經過シタルトキハ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 第六條又ハ第七條ノ禁令ヲ犯シタル者ハ消費税五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第十三條 政府ニ申告セシテ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者、砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ製造出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ怠リタルトキハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 收税官吏其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ其ノ執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第十六條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不諭罪及減輕、再犯加重、數罪併發ノ例ヲ用井ス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人共ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第十八條 本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 本法施行前ヨリ引續キ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ製造スル者ハ本法施行後一箇月以内ニ其ノ旨ヲ政府ニ申告スヘシ

前項ニ違反シタル者ニハ第十三條ヲ適用ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ

御名 御璽

明治三十四年三月三十日

內閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

法律第十四號

關稅定率法中左ノ通改正ス

第一條第二項 削除

第五條第一項第十號但書中「煙草類酒類」ヲ「煙草類、酒精酒類、其ノ他酒精ヲ含有スル飲料」ニ改ム

輸入稅表中左ノ通改正ス  
第三欄中「從價稅率」ヲ「從價及從量稅率」ニ改ム

三六

糖菓類  
甲 菓子

四、〇

六九 乙 砂糖糖蜜若ハ糖水ヲ以テ貯藏シタルモノ 二、五  
酒精(アルコール) 每リートル四拾貳錢

六九ノ一 メチレートット、アルコール



甲	攝氏驗温器十五度ノトキニ於テ原容並百分中メチールアルコールノ容積十五以下ノモノ	每リートル 四拾貳錢
乙	同十五以上ノモノ	一〇
六九ノ二	各種丁幾(阿片丁幾ヲ除ク)	每リートル 四拾貳錢
二七八	石油	
甲	罐入ノモノ	每ガロン 參錢貳厘
乙	罐入ニアラサルモノ	同 貳錢
三七九	卷煙草及小卷煙草	一五〇
三八〇	紙卷煙草	一五〇
三八一	嗅煙草	一五〇
三八二	刻煙草	一五〇
三八四	其ノ他諸製煙草	一五〇
三八五	麥酒及黑麥酒	每リートル 拾錢四厘
三八六	削除	
三八八	支那酒(醸造シタルモノ)	一〇〇
三八九	削除	
三九〇	削除	
三九二	削除	

三九三	清酒	一〇〇
三九六	削除	
三九八	削除	
三九九	其ノ他各種ノ酒類	每リートル 貳拾七錢五厘
但シ攝氏驗温器十五度ノ時ニ於テ〇・七九四七ノ比重ヲ有スルモノヲ純酒精トシ原容量百分中純酒精ノ容積五十以上一ヲ増ス每ニ「リートル」ニ付四錢ヲ加フ		
附則		
本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス		

〔參照〕

法律第十四號關稅定率法(明治三十年三月二十九日官報)抄錄  
 第一條第二項  
 附關稅表第一種第十五類ニ屬スル物品ニシテ攝氏驗温器十五度ノトキニ於テ原容並百分中酒精ノ容積六十五度ヲ超過スルモノハ第六十九號酒精ノ率ニ依リ課稅ス  
 第五條 左ノ物品ハ輸入稅ヲ課セス  
 第十 内國産ニシテ五箇年以内ニ外國ヨリ積戻リ輸出ノ時ノ性質及形狀ヲ變セサルモノ但シ煙草類酒類ヲ除ク



○ 朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル北海道鐵道部支部局及派出工場現金前渡官吏設置ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武  
内務大臣 文學博士 末松謙澄

○ 法律第十五號 (官報 四月四日)  
北海道鐵道部ノ支部局及派出工場ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費ハ主任ノ官吏ニ委任シテ仕拂ヲ爲サシムル爲現金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

御名 御璽

明治三十四年四月二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

○ 法律第十六號 (官報 四月四日)  
印紙稅法中左ノ通改正ス

第三條 削除

○ 第四條中委任狀ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ



- 一 爲替手形 印紙税 二錢
- 一 約束手形 印紙税 二錢
- 第六條中「爲替手形、約束手形、船荷證券、運送貨物引換證、倉荷預證券、倉荷質入證券、保險證券、株券、債券」ヲ削ル

〔參照〕

法律第五十四號印紙税法(明治三十二年三月十日官報)抄録  
 第三條 爲替手形、約束手形ハ一通毎ニ其ノ配賦金高五圓以上ノモノニ限リ左ノ割合ヲ以テ印紙税ヲ納ムヘシ  
 金高二千圓未満 印紙税二錢  
 金高二千圓以上 印紙税十錢  
 第四條 左ニ掲クル證書帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シテ下ニ定ムル所ノ印紙税ヲ納ムヘシ  
 第六條 印紙税ハ證書、帳簿ニ印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス但シ爲替手形、約束手形、船荷證券、運送貨物引換證、倉荷預證券、倉荷質入證券、保險證券、株券、債券ハ印紙税額ニ相當スル現金ヲ政府ニ納付シテ税印ノ押捺ヲ受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル所得税法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 爵渡邊國武

法律第十七號(官報 四月四日)

所得税法中左ノ通改正ス

第二條中「職業ヲ有スルトキ」ヲ「職業ヲ有シ若ハ公債社債ノ利子支拂ヲ受クルトキ」ニ改ム  
 第四條第一項第三號中「割賦賞與金」ヲ削リ「田畑ヨリノ所得」ヲ「山林ノ所得ハ前年ノ所得ニ依ル田畑ノ所得ニ改ム」  
 第五條第七號「配當金」ノ下ニ「及割賦賞與金」ヲ加フ  
 第九條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 調査委員會閉會後第三種ノ所得アル者新ニ納稅義務アルコトヲ申出タルトキハ政府其ノ所得金額ヲ決定ス  
 第三十七條ニ左ノ一項ヲ加フ  
 第三十一條ノ規定ハ之ヲ審査委員會ノ決議ニ準用ス  
 第四十條 山林ノ所得ヲ除クノ外第三種ノ所得ニ付納稅義務アル者所得金額四分ノ一以上ヲ減損シタルトキハ政府ニ申出テ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得但シ翌年一月三十一日ヲ過クルトキハ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得ス  
 所得金額決定後贈與ヲ爲シタル爲所得金額ヲ減損シタル場合ニハ前項ヲ適用セス  
 第四十三條ヲ第四十三條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ  
 第四十三條ノ二 第三種ノ所得ニ付二箇以上ノ稅務署管内ニ於テ所得金額ノ決定アリタルトキハ政府ハ納稅者ノ住所地若住所ナキトキハ居所地以外ニ於ケル所得金額ノ決定ヲ取消スヘシ  
 附則  
 此ノ法律ハ明治三十四年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

〔參照〕

法律第十七號所得税法(明治三十二年二月十三日官報)抄録

明治三十四年四月 法律 第十七號



第二條 前條ニ該當セザル者此ノ法律施行地ニ資産營業又ハ職業ヲ有スルトキハ其ノ所得ニ付テノミ所得稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第四條 所得ハ左ノ區別ニ從ヒテ之ヲ算定ス

三 第三種ノ所得ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル豫算年額ニ依ル但シ此ノ法律施行地ニ於テ支拂フ受ケサレ公債社債ノ利子、營業ニ非サル貸金預金ノ利子、此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレサル法人ヨリ受ケタル配當金、株給給料、手當金、割賦買與金、歳費、年金、恩給金ハ其ノ收入額ノ豫算年額ニ依リ田畑ヨリノ所得ハ前二箇年間所得平均高ヲ以テ算出スヘシ

第五條 左ニ掲ケル所得ニハ所得稅ヲ課セス

七 此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレタル法人ヨリ受ケル配當金

第四十條 第三種ノ所得ニ付納稅義務アル者所得金額四分ノ一以上ヲ減損シタルトキハ政府ニ申出テ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得但シ翌年一月三十一日ヲ過クルトキハ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得ス

御名 御璽

明治三十四年四月二日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文  
大藏大臣 子爵 渡邊 國武

法律第十八號 (官報 四月四日)  
明治三十二年法律第百一號中事業公債條例ノ下及ヲ削リ北海道鐵道敷設法ノ下ニ及明治三十二年法律第七十五號臺灣事業公債法ヲ加フ

〔參照〕  
法律第百一號 (明治三十二年四月二十日官報)  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法明治二十九年法律第五十九號臺灣事業公債條例及明治二十九年法律第九十三號北海道鐵道敷設法ニ據ル公債ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニハ外國貨幣ヲ以テ證書ノ金額ヲ記載シ其ノ證書ノ種類、元金ノ振替年限、募集償還、利子ノ計算及仕舞ニ關スル方法其ノ他必要ナル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得但シ償還期限ハ公債募集ノ年ヨリ起算シ五十五年ヲ越ユルコトヲ得ス

御名 御璽

明治三十四年四月二日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文  
大藏大臣 子爵 渡邊 國武  
陸軍大臣 男爵 兒玉源太郎  
逓信大臣 原 敬

法律第十九號 (官報 四月四日)  
鐵道敷設法中左ノ通改正ス  
第九條中「金六千萬圓」ヲ「金九千五百萬圓」ニ改メ「明治二十六年度ヨリ十二箇年間ニ」ヲ削ル

〔參照〕  
法律第四號鐵道敷設法 (明治二十五年六月二十一日官報) 抄録  
第九條 第一期鐵道敷設ノ費用ニ充ツル爲金六千萬圓ヲ限リ明治二十六年度ヨリ十二箇年間ニ漸次公債ヲ募集スヘシ

御名 御璽

明治三十四年四月 法律 第十九號 第二十號

三七

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル事業公債條例中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



明治三十四年四月二日

法律第二十號(官報四月四日)

事業公債條例中左ノ通改正ス

第一條中「壹億參千五百萬圓」ヲ「壹億五千萬圓」ニ改ム

〔參照〕

法律第五十九號事業公債條例(明治二十九年三月三十日官報)抄録

第一條 事業公債ハ既設官線鐵道改良 北海道鐵道建設 製鋼事業 電話擴張ノ費途 雜糧軍實資金及國防事業ノ費用ニ充ツルカ爲證書額面壹億參千五百萬圓ヲ限リ漸次之ヲ募集ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣事業公債法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏 大臣 子爵渡邊國武

法律第二十一號(官報四月四日)

臺灣事業公債法中左ノ通改正ス

第五條第一項中「一箇年」ヲ「二箇年」ニ改ム

〔參照〕

法律第七十五號臺灣事業公債法(明治三十三年三月二十二日官報)抄録  
第五條 政府ハ第一條ノ經費ヲ經營支辨スル爲一箇年以内ノ期限ヲ以テ臺灣銀行ヨリ一時借入金ヲ爲スコトヲ得此ノ場合

ニ於ケル利率ハ政府之ヲ定ム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル馬匹去勢法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
陸軍 大臣 男爵兒玉源太郎  
農商務大臣 林 有造

法律第二十二號(官報四月四日)

馬匹去勢法

第一條 牡馬ニハ去勢ヲ行フ但シ種牡馬ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 牡馬ニシテ種牡馬タルヘキ資質アリト認メタルモノニハ頭數ヲ限リ去勢ノ施行ヲ猶豫

ス 疾病又ハ發育不全ニ因リ去勢ヲ行フニ堪ヘズト認メタルモノ若ハ學術研究ノ爲行政官廳ノ許可

ヲ得タルモノニハ去勢ノ施行ヲ猶豫スルコトヲ得

第三條 牡馬ノ去勢年齡ハ明ケニ三歳トス

去勢ハ春期又ハ夏期ニ於テ之ヲ行フ

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル牡馬ニハ去勢年齡ニ拘ハラズ去勢ヲ施行ス但シ明ケ十五歳以上

ノモノハ此ノ限ニ在ラス

一 去勢ノ施行ヲ猶豫シ其ノ他已ヲ得スシテ去勢ヲ施行スルコトヲ得サリシ牡馬ニシテ其ノ事

由消滅シタルモノ



- 二 去勢年齢ヲ經過シタル牡馬ニシテ本法施行後本法ヲ施行セサル島嶼ヨリ牽キ入レ又ハ外國ヨリ輸入シタルモノ
- 三 本法施行ノ際去勢年齢ヲ經過シタルモノヲ除クノ外種牡馬ニシテ検査合格ノ證明ノ効力ヲ失ヒタルモノ
- 第五條 牡馬ニシテ去勢施行ノ爲斃死シ又ハ從來ノ用途ヲ變更若ハ廢止スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ償金ヲ與フヘシ
- 第六條 去勢施行ノ費用ニ關スル規定並前條償金ノ査定ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第七條 牡馬ノ去勢ノ施行ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 附則
- 第八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第九條 本法ハ種牡馬検査法ヲ施行セサル島嶼ニハ之ヲ施行セス

御名 御璽

明治三十四年四月八日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
外務大臣 加藤高明

法律第二十三號(官報 四月九日)  
移民保護法中左ノ通改正ス  
第七條ヲ第七條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ二 移民取扱人ハ渡航ノ周旋ヲ爲シタル移民ニ對シ渡航ノ日ヨリ滿十箇年問第三條第二項ニ規定シタル保證人ノ義務ヲ負フ

第十三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

移民取扱人ハ勞働契約ニ因リ渡航スル移民ノ渡航ノ周旋又ハ募集ヲ爲ストキハ移民ト書面契約ヲ爲シ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 移民取扱人ハ手数料ノ外何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス移民ヨリ金錢又ハ物品ヲ受クルコトヲ得ス但シ其ノ手数料ハ豫メ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 行政廳ニ於テ移民取扱人移民ニ對シ契約ヲ履行セス又ハ第七條ノ二ニ規定シタル保證人ノ義務ヲ履行セスト認メタルトキハ保證金ヨリ其ノ費用ヲ支出シテ移民ヲ救助シ又ハ歸國セシムルコトヲ得

〔參照〕

法律第七十號移民保護法(明治二十九年四月八日官報)抄録

第十三條 移民取扱人渡航ノ周旋又ハ募集ヲ爲ストキハ移民ト書面契約ヲ爲シ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ  
前項契約ニ必要ナル條件ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 移民取扱人ハ前條認可ヲ受ケタル書面契約ニ定ムル所ノ渡航周旋料若ハ手数料ノ外何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス移民ヨリ金錢又ハ物品ヲ受クルコトヲ得ス

第十八條 行政廳ニ於テ移民取扱人移民ニ對シ契約ヲ履行セスト認メタルトキハ保證金ヨリ其ノ費用ヲ支出シテ移民ヲ救助シ又ハ歸國セシムルコトヲ得

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル葉煙草專賣法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム



明治三十四年四月八日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第二十四號(官報四月九日)

葉煙草專賣法中左ノ通改正ス

第五條中葉煙草耕作地ノ區域ノ下ニ耕作段別及葉煙草ノ種類ヲ加フ

第六條 葉煙草ヲ耕作セムトスル者ハ毎年煙草苗床ノ位置及坪數煙草耕作地ノ位置及段別、煙草ノ種類、木數、乾燥場及貯藏場ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ若シ之ヲ變更シ又ハ耕作ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ

第六條ノ次ニ左ノ四條ヲ加フ

第六條ノ二 葉煙草耕作者ハ政府ノ定ムル方法及手續ニ依リ耕作ヲ完成スルノ義務ヲ負フ

第六條ノ三 政府ハ收穫前ニ於テ葉煙草ノ收穫量目又ハ葉數ヲ査定ス

前項査定ノ場合ニ於テハ煙草耕作者ハ之ニ立會フヘシ若シ立會ハサルトキハ其ノ査定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第六條ノ四 煙草耕作者前條ノ量目又ハ葉數ノ査定ニ不服ナルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ申立アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

異議申立人ノ主張ニ係ル葉煙草ノ量目又ハ葉數ト前項決定額トノ差カ前條ノ査定額ト前項決定額トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費用ハ其ノ申立人ノ負擔トス

第六條ノ五 葉煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ査定者ハ決定シタル量目又ハ葉數以上ノ葉煙草ヲ納付セサルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ其ノ年ニ於ケル近傍類似煙草耕作地ノ葉

煙草生産額及之ニ對スル賠償價格ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得

第十條 葉煙草耕作者ハ政府ノ指定シタル期日ニ其ノ葉煙草ヲ政府ニ納付スヘシ

第十一條ノ二 葉煙草ヲ耕作スル者ハ其ノ耕作シタル葉煙草ヲ耕作地、乾燥場、貯藏場又ハ收納官署ノ外他ニ運送スルコトヲ得ス

政府ハ必要ト認ムルトキハ葉煙草運送ノ通路及時間ヲ指定スルコトヲ得

第十一條ノ三 葉煙草ハ相當ノ包裝ヲ爲シ且政府ノ指定スル方法ニ依リ一定ノ目標ヲ附スルニ非サレハ之ヲ運送スルコトヲ得ス

第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

政府ハ特ニ定メタル價格ヲ以テ葉煙草輸出者ニ輸出葉煙草ヲ賣渡スコトヲ得

第十九條ノ五第一號中營業場ニ箇所毎ニ「ヲ製造場ニ箇所毎ニ」ニ改ム

第十九條ノ五ニ左ノ一項ヲ加フ

政府ハ取締上必要ト認ムルトキハ煙草製造又ハ葉煙草賣買ノ營業ヲ免許セサルコトヲ得

第十九條ノ八ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十九條ノ九 煙草製造ヲ業トスル者ハ他人ノ煙草ヲ製造スルコトヲ得ス

煙草製造ヲ業トスル者ハ其ノ製造場外ニ於テ煙草製造ヲ爲スコトヲ得ス但シ紙卷煙草ノ賃卷ヲ爲サシムルハ此ノ限ニ在ラス

第二十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

葉煙草耕作者ニ非シテ葉煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シタルトキ又ハ葉煙草耕作者ニシテ許可ヲ受ケサル土地ニ葉煙草ヲ耕作シ若ハ煙草苗ヲ育成シ又ハ許可ヲ受ケサル種類ノ葉煙草ヲ耕作シ又ハ許可ヲ受ケサル場所ニ葉煙草ヲ乾燥シ若ハ貯藏シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草又ハ煙草苗ハ之ヲ沒收ス



第二十一條ノ二中「業ト」ヲ爲ニ改ム

第二十二條 葉煙草耕作者他人ノ葉煙草ヲ貯藏シ又ハ葉煙草耕作者以外ノ者届出ヲ爲サス他人ノ葉煙草ヲ貯藏シタルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

權利者ノ不明ナル葉煙草ヲ運送スル者アルトキハ政府ハ其ノ葉煙草ヲ無償ニテ收納スルコトヲ得

第二十二條ノ次ニ左ノ四條ヲ加フ

第二十二條ノ二 葉煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル納付期日ニ葉煙草ヲ納付セザルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條ノ三 第十一條ノ二第一項及第十一條ノ三ニ違反シタル者ハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草ハ之ヲ沒收ス

政府ノ指定シタル通路及時間外ニ葉煙草ヲ運送シタル者ノ罰前項ニ同シ

第二十二條ノ四 第十九條ノ九ニ違反シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル製造煙草及葉煙草ハ之ヲ沒收ス

第二十二條ノ五 葉煙草耕作者、煙草製造ヲ業トスル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トスル者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ政府ハ耕作又ハ營業ノ許可ヲ取消シ又ハ三箇年以内ニ於テ政府ノ指定シタル期間之ヲ許可セザルコトヲ得

第二十八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十八條ノ二 煙草製造ヲ業トスル者ハ組合ヲ設クヘシ組合ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第二十五條 本法施行前既ニ届出ヲ爲シ現ニ葉煙草ヲ耕作スル者ハ本法ニ依リ葉煙草耕作ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第三十六條 煙草製造ヲ業トスル者ニシテ敷箇ノ製造場ヲ有スルトキハ一箇所以外ノ製造場ニ對シテハ本法施行ノ日ヨリ一箇月内ニ本法ニ定ムル免許料ヲ納ムルコトヲ要ス

〔參照〕

法律第三十五號葉煙草專賣法(明治二十九年三月二十八日官報)抄録

第五條 政府ハ既ニ葉煙草耕作地ノ區域ヲ定ムルコトヲ得但シ官費又ハ公費ヲ以テスル葉煙草試作地ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 葉煙草ヲ耕作セムトスル者ハ政府ノ指定シタル期限内ニ毎年耕作スヘキ葉煙草ノ種類土地及段別ヲ政府ニ届出ヘシ其ノ届出事項ヲ變更シタルトキ亦同シ

政府ハ葉煙草ノ需要供給ノ如何ニ依リ前項ノ種類及段別ヲ制限スルコトヲ得

葉煙草耕作者ニシテ本法ニ違反シ葉煙草ヲ耕作シ又ハ讓渡シ若ハ消費シタルトキハ其ノ情狀ニ依リ政府ハ三箇年以内葉煙草ノ耕作ヲ禁スルコトヲ得

第十條 葉煙草ヲ耕作スル者ハ葉煙草ノ乾燥ヲ了リタル後翌年三月三十一日迄ニ政府ノ指定シタル場所ニ之ヲ納付スヘシ此ノ期限ヲ過キ葉煙草ヲ貯藏セムトスルトキハ政府ノ認許ヲ受ケヘシ

第十九條ノ五 煙草ノ製造又ハ葉煙草ノ賣買ヲ業トセムトスル者ハ毎年政府ニ申出テ免許ヲ受ケ左ノ免許料ヲ納ムヘシ其ノ業ヲ廢セムトスルトキハ其ノ際届出ヘシ

一 煙草ノ製造ヲ業トスル者 營業場一箇所毎ニ金五十圓

一 葉煙草賣買ヲ業トスル者 金五十圓

第二十條 葉煙草ノ耕作地域外又ハ届出ヲ爲ササル土地ニ葉煙草ヲ耕作シタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ仍其ノ葉煙草ヲ沒收ス其ノ收穫前ニ係ルモノハ之ヲ廢棄セシム

第二十一條ノ二 免許ヲ受ケシテ煙草製造ヲ業トシタル者又ハ葉煙草賣買ヲ業トシタル者ハ免許料ノ二倍以上五倍以下ニ相當スル罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル葉煙草若ハ製造煙草ノ現存スルトキハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第二十二條 葉煙草ヲ耕作スル者自己ノ耕作セザル葉煙草ヲ貯藏シ又ハ政府ノ認許ヲ受ケシテ翌年三月三十一日ヲ過キ葉煙草ヲ貯藏シタルトキハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ犯罪ニ係ル葉煙草ハ何人ノ所有ヲ問ハス政府之ヲ收納シ第四條ニ準シテ其ノ賠償金ヲ交付スヘシ



英領事館耕作以外ノ者届出ヲ爲サズ他人ノ葉煙草ヲ貯蔵シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ貯蔵葉煙草ニシテ其ノ所有者不明ナルトキハ仍前罰金但書ヲ適用ス

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ノ登録稅免除ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月九日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

法律第二十五號 (官報 四月十日)

屯田兵土地給與規則ニ依リ屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ニ付給與ノ日ヨリ六箇月以内ニ登記ヲ請求シ又ハ土地臺帳ニ登録スルトキハ其ノ登録稅ヲ免除ス本法施行前ニ給與ヲ受ケタル土地ニ付本法施行後六箇月以内ニ登記ヲ請求シ又ハ土地臺帳ニ登録スルトキ亦同シ

附則  
本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

御名 御璽

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル登録稅法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

法律第二十六號 (官報 四月十三日)

登録稅法中左ノ通改正ス

第二條第一項第二十一號及第二十二號ヲ左ノ如ク改ム

二十一 附記登記 不動産每一箇 金十錢

但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

二十二 登記ノ更正、變更又ハ抹消 不動産每一箇 金十錢

但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

第三條第一項第十一號ヲ左ノ如ク改ム

十一 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登記ノ回復 船舶每一箇 金二十錢

同條第一項第十一號ノ次ニ左ノ四號ヲ加フ

十二 假登記 船舶每一箇 金二十錢

十三 豫告登記 船舶每一箇 金二十錢

十四 附記登記 船舶每一箇 金十錢

但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

十五 登記ノ更正、變更又ハ抹消 船舶每一箇 金十錢

但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

〔参照〕



法律第二十七號登録稅法(明治二十九年三月二十八日官報抄録)

- 第二條 不動産ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
  - 二十一 附記登記 不動産每一箇 金二十錢
  - 二十二 登記ノ更正、變更又ハ抹消 不動産每一箇 金十錢
- 第三條 船舶ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
  - 十一 登記ノ更正、變更又ハ抹消 船舶每一箇 金十錢

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル水害地方田畑地租免除ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第二十七號(官報四月十三日)

一府縣又ハ數府縣ノ全部若ハ一部ニ亙レル水害ニ因リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限リ之ヲ免除ス

前項ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ罹災後二十日內ニ主務官廳ニ申出ツヘシ此ノ期間內ニ申出テサル者ハ免租ノ處分ヲ受クルコトヲ得ス

附則

本法ノ規定ハ之ヲ本法施行前一年間ニ水害、虫害、風害又ハ旱害ヲ被リタル田畑ニ準用ス但シ申出期間ハ本法施行ノ日ヨリ起算ス

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第二十八號(官報四月十三日)

稅關貨物取扱人法

第一條 本法ニ於テ稅關貨物取扱人ト稱スルハ貨主ノ爲ニ自己又ハ其ノ貨主ノ名ヲ以テ稅關ニ對シ貨物ニ關スル手續ノ取扱ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條 稅關貨物取扱人タラムト欲スル者ハ其ノ業務ニ從事セムトスル地ヲ管轄スル稅關長ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ヲ受クルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ免許料ヲ納ムヘシ

第三條 左ニ掲クル者ハ稅關貨物取扱人タルコトヲ得ス

第一 剝奪公權者及停止公權者

第二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分産若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

第三 國稅滯納處分ヲ受ケ滿一箇年ヲ經過セサル者

第四 重禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者及關稅法第七十四條乃至第七十六條ノ規定ニ違反シ處罰ヲ受ケ滿三箇年ヲ經過セサル者



第四條 稅關貨物取扱人ハ其ノ業務ニ關シテ所轄稅關長ノ監督ヲ受ク

第五條 稅關貨物取扱人ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ身元保證トシテ金錢又ハ有價證券ヲ提供スルコトヲ要ス但シ身元保證金額ハ五千圓以上トス

第六條 稅關貨物取扱人ハ前項ノ身元保證物ヲ提供シタル後ニ非サレハ其ノ業務ヲ行フコトヲ得ス

第六條 稅關貨物取扱人稅關ニ納付スヘキ金錢ヲ納付セサルトキハ稅關ハ身元保證物ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

稅關貨物取扱人ノ業務上ノ過失ニ因リ損害ヲ受ケタル貨主ハ其ノ債權ニ付他ノ債權者ニ先チ身元保證物ニ依リ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第七條 稅關貨物取扱人ハ貨物ノ受取、引渡、保管及運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ其ノ貨物ノ取扱料ヲ請求スルコトヲ得ス

第八條 稅關貨物取扱人ハ取扱貨物ニ關シ受取ルヘキ取扱料、税金其ノ他委託者ノ爲ニ爲シタル立替ニ付テノ其ノ貨物ヲ留置スルコトヲ得

第九條 稅關貨物取扱人ハ取扱料ノ最高額ヲ定メ所轄稅關長ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第十條 稅關貨物取扱人其ノ業務ニ關スル法令ニ違反シ又ハ稅關長ノ職權ニ基ケル命令ニ違反シタルトキハ稅關長ハ其ノ營業ヲ停止シ若ハ其ノ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得但シ營業停止ノ期間ハ三箇月以内トス

第十一條 前條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ處分ニ因リテ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十二條 免許ヲ受ケスシテ稅關貨物取扱人ノ業務ヲ行ヒタル者又ハ第五條第二項ニ違反シタル者又ハ第九條ノ認可ヲ受ケス若ハ認可ニ違反シテ取扱料ヲ取得シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 稅關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタル行爲ハ稅關貨物取扱人ノ行爲ト看做ス

明治三十三年法律第五十二號ハ本法ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

法律第二十九號 (官報 四月十三日)

事業公債及鐵道公債特別會計法中左ノ通改正ス

第二條中但書ヲ左ノ如ク改ム



但シ償金特別會計資金ノ一時繰替金ヲ返償スル場合ニハ直ニ償金特別會計ノ資金ニ繰入シ又臺灣事業公債法第五條ニ依ル一時借入金ヲ償還スル場合ニハ直ニ臺灣銀行ニ仕拂フヘシ

〔參照〕

法律第十三號事業公債及鐵道公債特別會計法(明治三十二年二月八日官報)抄錄  
第二條 公債募集金ヲ使用セントスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ繰入ニ組入レ一般ノ繰出トシテ之ヲ拂出スヘシ  
但シ償金特別會計資金ノ一時繰替金ヲ返償スル場合ニハ直ニ償金特別會計ノ資金ニ繰入スヘシ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵下年期、新開免租年期、地價据置年期ノ延長ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第二十號(官報 四月十三日)

地租條例ニ依リ鐵下年期、新開免租年期又ハ地價据置年期ノ許可ヲ得タル土地ニシテ年期明ニ至リ事業成功又ハ地味成熟ニ至ラサルモノニ對シテハ更ニ年期ノ延長ヲ許可スルコトヲ得但シ開墾鐵下年期及地價据置年期ノ土地ニ付テハ通シテ五十年開拓鐵下年期ノ土地ニ付テハ通シテ三十年新開免租年期ノ土地ニ付テハ通シテ七十年ヲ超ユルコトヲ得ス

附則

本法ハ本法施行前既ニ年期明トナリタル土地ニシテ未タ地價ノ設定又ハ修正ナキモノニモ之ヲ適用ス  
地租條例第十八條ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル開墾地、開拓地、新開地年期繼續ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第三十一號(官報 四月十三日)

開墾著手後九年ヲ經過セサル土地又ハ鐵下年期、新開免租年期若ハ地價据置年期ヲ有スル土地ニ對シ荒地免租年期又ハ低價年期ヲ許可シタルトキハ其ノ期間ハ地租條例第十六條第二項ノ十年中ニ又ハ鐵下年期、新開免租年期若ハ地價据置年期中ニ算入セス

附則

本法ハ開墾著手後九年以內ニ又ハ鐵下年期、新開免租年期若ハ地價据置年期中ニ荒地免租年期又ハ低價年期ノ許可ヲ受ケ其ノ年期明ニ至リ未タ地價ノ設定又ハ修正ヲ爲ササルモノニモ之ヲ適用ス



御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

法律第三十二號(官報四月十三日)

關稅定率法附屬輸入稅表中左ノ通改正ス

第一種五〇五ノ次ニ五〇五ノ一ヨブラヲ加フ

第二種五一四ノ次ニ五一四ノ一鐵礦ヲ加フ

第二種五一四ノ一ヲ五一四ノ二ニ改ム

附則

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル狩獵法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
農商務大臣 林 有造

法律第三十三號(官報四月十三日)

狩獵法

第一章 獵具、獵法

第一條 本法ニ於テ狩獵ト稱スルハ銃器、網、網繩又ハ撲ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルヲ謂フ

前項各獵具ノ種類及制限ハ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二條 爆發物、劇藥、毒藥、据銃又ハ危險ナル兵器若ハ陷阱ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス

前項ノ外ノ獵具、獵法ニシテ第一條ニ掲ケサルモノニ就テハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ便宜取締規則ヲ設グルコトヲ得

第三條 日出前、日没後又ハ市街、人家稠密ノ場所、乘人群集ノ場所ニ於テ又ハ銃丸ノ墜スヘキ處アル建物、船舶若ハ汽車ニ向テ銃獵ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 左ニ掲タル場所ニ於テハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス

一 御獵場

二 禁獵區

三 公道

四 公園

五 社寺境内

六 墓地

第五條 欄、柵、圍障若ハ作物植付アル他人ノ所有地ニ於テハ所有者又ハ占有者、他人ノ共同狩獵地ニ於テハ免許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 地方長官ハ鳥獸ノ蕃殖保護ノ爲又ハ土地所有者ノ出願其ノ他ノ理由ニ因リ必要ト認ムル



場合ニ於テハ十箇年以内ノ期間ヲ以テ禁獵區ヲ設クルコトヲ得  
第七條 地方長官ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ區域ヲ限リ銃獵ヲ禁スルコトヲ得

第二章 狩獵免許

第八條 狩獵ハ地方長官ニ願出テ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ柵欄柵又ハ圍障アル宅地内ニ於テ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ハ此ノ限ニ在ラス  
第二十二條ノ處罰ヲ受ケタル者ハ滿一箇年ヲ經過セサレハ再ヒ免許ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 從來地方ノ慣行ニ依リ一定ノ區域内ニ於テ共同狩獵ヲ爲ス者ハ農商務大臣ニ願出テ免許ヲ受クルコトヲ得但シ其ノ出願ニ關スル規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第十條 免許ヲ分チテ甲乙ノ二種トス  
甲種免許ハ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ニ下付シ乙種免許ハ銃器ヲ使用シテ狩獵ヲ爲ス者ニ下付スルモノトス

第十一條 免許ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ムヘシ  
一 等 所得稅百圓以上地租五百圓以上者ハ其ノ家族  
二 等 所得稅五十圓以上地租三百圓以上者又ハ其ノ家族  
三 等 所得稅二十圓以上地租三十圓以上者又ハ其ノ家族  
金二十圓  
金十圓  
金二圓

第十二條 免許ノ有効期限ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日マテトス但シ北海道ニ於テハ九月十五日ヨリ翌年四月十五日マテトス  
前項期間内ニ非サレハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 免許ノ使用ハ木人ニ限ルモノトス

第十四條 獵者ハ出獵ノ際免許ヲ携帯スヘシ

警察官憲兵森林官及市町村長ハ獵者ノ免許ヲ検査スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ獵者ハ免許ノ検査ヲ拒ムコトヲ得ス

第十五條 免許ヲ亡失シタルトキハ其ノ地ノ所轄警察官署及管初之ヲ下付シタル官廳ニ届出ヘシ  
免許ヲ亡失シ若ハ毀損シタルトキハ其ノ再渡又ハ書換ヲ請求スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ手数料金二十五錢ヲ納ムヘシ

第十六條 未成年者ハ乙種免許ヲ受クルコトヲ得ス

第十七條 免許ハ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ三十日以内ニ當初之ヲ下付シタル官廳ニ返納スヘシ

第十八條 學術研究又ハ有害鳥獸驅除ノ爲其ノ他特別ノ理由ニ因リ保護鳥獸又ハ其ノ他ノ鳥獸ノ捕獲ヲ要スルトキハ地方長官ハ何時タリトモ特ニ之カ許可ヲ與フルコトヲ得但シ捕獲シタル鳥獸ハ之ヲ賣買スルコトヲ禁ス

前項ノ場合ニ於テハ第十一條ヲ適用セス

第三章 鳥獸保護

第十九條 保護鳥獸ヲ捕獲シ又ハ之ヲ賣買スルコトヲ禁ス但シ保護期間前ニ捕獲シタル鳥獸ハ其ノ期間ノ初日ヨリ二週間以内ニ於テ賣買スルハ此ノ限ニ在ラス

飼養ニ係ル保護鳥獸ハ前項期日後ト雖農商務大臣定ムル所ノ規則ニ依リ賣買スルコトヲ得

保護鳥獸ノ種類及保護期間ハ農商務大臣之ヲ定ム

第二十條 保護鳥類ノ卵又ハ雛ヲ取り若ハ之ヲ賣買スルコトヲ禁ス但シ學術研究ノ爲之カ採取ヲ要スルトキハ地方長官ハ特ニ其ノ許可ヲ與フルコトヲ得



第四章 罰則

第二十一條 第八條第一項、第十二條第二項ニ違背シテ狩獵ヲ爲シ又ハ詐欺ノ所爲ヲ以テ狩獵免狀若ハ共同狩獵地ノ免許ヲ受ケ又ハ詐テ共同狩獵地ヲ表示シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處シ犯罪ノ用ニ供シタル器具ハ之ヲ沒收ス

第二十二條 第二條第一項、第三條若ハ第四條ニ違背シタル者ハ罰前條ニ同

前項ノ處罰ヲ受ケタル者ノ免狀ハ其ノ效力ヲ失フモノトス

第二十三條 第五條、第十四條第三項、第十九條第一項、第二十條ニ違背シタル者ハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ第五條ニ付テハ土地所有者、占有者又ハ共同狩獵地ノ免許ヲ受ケタル者ノ告訴ヲ待テ處斷ス

第二十四條 第十四條第一項、第十五條第一項、第十七條ニ違背シタル者ハ一圓以上二圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第二十五條 本法ハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條 本法施行前ニ免許ヲ受ケタル獵區及共同狩獵地ハ本法施行後ト雖其ノ免許期間仍從前ノ規定ヲ適用ス

第二十七條 本法施行前ニ受ケタル狩獵免狀ハ本法施行後仍其ノ效力ヲ有ス

第二十八條 本法施行前ニ明治三十八年法律第二十號狩獵法ノ罰則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ本法施行後仍其ノ罰則ヲ適用ス

第二十九條 明治三十八年法律第二十號狩獵法第二十一條ノ處罰ヲ受ケタル者ハ滿一箇年ヲ經過ス

スルニ非サレハ本法ニ依リ狩獵免狀ヲ受ケタルコトヲ得ス  
第三十條 本法中地方長官ノ職務ハ東京府ニ於テハ警視總監之ヲ行フ  
本法中市町村長ノ職務ハ北海道、沖繩縣ノ區ニ於テハ區長、町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ該當スヘキ者之ヲ行フ

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣 伊藤博文  
内務大臣 文相 末松謙澄  
農商務大臣 林有造

法律第三十四號 (官報 四月十三日)

漁業法

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ享有スル者ヲ謂フ

第二條 私有水面ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セス

第三條 漁具ヲ定置シ又ハ水面ヲ區畫シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ

明治三十四年四月 法律 第三十四號 漁業法



受クヘシ其ノ免許ヲ受クヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

前項ノ外主務大臣ニ於テ免許ヲ必要ト認ムル漁業ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 水面ヲ専用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ハ漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ヲ専用セムトスル場合ヲ除クノ外從來ノ慣行アルニ非サレハ之ヲ與ヘス

第五條 漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ノ専用ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ漁業ノ種類ヲ限定シテ免許ヲ與フルコトヲ得

從來ノ慣行ニ因リ前條ノ免許ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ其ノ慣行ニ因リ漁場ノ區域及漁業ノ種類ヲ定メ之ヲ免許ス

第六條 漁業免許ノ期間ハ二十箇年以内トス但シ第九條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ免許期間ニ算入セス

免許期間ハ免許ヲ受ケタル者ノ申請ニ因リ之ヲ更新スルコトヲ得

第七條 漁業權ハ相續、讓渡、共有及貸付ノ目的ト爲スコトヲ得但シ地先水面専用ノ漁業權ヲ處分スルハ行政官廳ノ認可ヲ受ケルコトヲ要ス

第八條 漁業權ハ免許ヲ受ケタル日ヨリ一箇年間漁業ニ従事スル者ナキトキハ行政官廳ニ於テ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得引續キ二箇年間休業シタルトキ亦同シ但シ行政官廳ノ認可ヲ受ケ休業シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ前項ノ期間ニ算入セス

第九條 行政官廳ハ水産動植物ノ蕃殖保護共ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ漁業免許ヲ制限

シ若ハ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

漁業者ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違背シタルトキ亦前項ニ同シ

第十條 漁場ノ區域又ハ方位ヲ標示スル爲標識ヲ建設セムトスル者ハ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ漁業者ハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 行政官廳ハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第十二條 第十條ニ依リ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルカ爲生シタル損失ハ其ノ請求ニ依リ之ヲ補償スヘシ

第十三條 地方長官ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲主務大臣ノ認可ヲ得テ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

- 一 水産動植物ノ採捕若ハ販賣ニ關スル制限又ハ禁止
- 一 漁具、漁船若ハ採捕ノ方法ニ關スル制限又ハ禁止
- 一 漁業者ノ數又ハ其ノ資格ノ制限
- 一 水産動植物ニ有害ナル物質ノ遺棄ニ關スル制限又ハ禁止

主務大臣ニ於テ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前二項ノ命令ニハ漁具及漁獲物ノ沒收ニ關スル罰則ヲ設クルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ一定ノ區域内ニ於ケル工作物設置ノ制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得

工作物ニシテ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者ニ除害工事ヲ



命スルコトヲ得

第十五條 前條第二項ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ノ所有者ニ對シ相當ノ金額ヲ補償スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者之ヲ補償スヘシ

第十六條 行政官廳ハ水産動物ノ蕃殖保護ニ必要アリト認ムルトキハ公有水面ニ通スル私有水面ニ前二條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十七條 漁業ニ従事スル雇人及雇主ノ取締ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 一定ノ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ認可ヲ得テ漁業組合ヲ設置スルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ濱、浦、漁村其ノ他漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ  
前項ノ區域ニ依リ難キ場合ニ於テハ市町村又ハ之ニ準スヘキ區域内ニ於テ其ノ地區ヲ定ムルコトヲ得

北海道ニ於テハ郡ヲ以テ漁業組合ノ地區ト爲スコトヲ得

第十九條 漁業組合ハ漁業權ノ享有及行使ニ付權利ヲ有シ義務ヲ負フ但シ自ら漁業ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十條 漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ノ専用ノ免許ヲ受ケタルトキハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ヲシテ漁業ヲ爲サシムヘシ

第二十一條 漁業組合ノ設置、管理及監督ニ關スル規定ハ主務大臣之ヲ定ム

第二十二條 漁業者又ハ水産動物ノ製造者ハ販賣ヲ業トスル者ハ水産業ノ改良發達及水産動物

物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲メ水産組合ヲ設置スルコトヲ得  
水産組合ニ關シテハ重要物産同業組合法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中農商務大臣ニ屬スル職權ハ主務大臣之ヲ行フ

第二十三條 漁業免許若ハ其ノ更新ヲ拒否セラレタル者又ハ第八條、第九條若ハ第十四條第二項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ處分ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
第二十四條 漁業免許ノ違法許可若ハ其ノ更新ニ依リ權利ヲ傷害セラレタルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條 漁場ノ區域、漁業權ノ範圍又ハ漁業ノ方法ニ付漁業者ノ間ニ爭アルトキハ關係者ヨリ行政官廳ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタルトキハ申請者又ハ爭議ノ相手方ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十六條 免許ニ依ラスシテ免許ヲ受クヘキ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス免許ノ停止中又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違背シテ漁業ヲ爲シタル者亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ漁獲物及何人ノ所有ヲ問ハス漁具ヲ沒收ス但シ沒收スヘキ漁獲物ヲ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第二十七條 使用人、漁夫其ノ他ノ従業者ノ所爲ハ漁業者ノ所爲ト看做シ前條ノ罰則ハ之ヲ漁業者ニ適用ス

第二十八條 第三條、第四條ノ權利ヲ侵害シタル者ハ被害者ノ告訴ニ因リ百圓以下ノ罰金ニ處ス



第二十九條

漁場ノ標識ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 明治三十三年法律第五十二號ノ規程ハ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ適用ス

附則

第二十一條 本法ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條 本法ノ規定ハ臘虎臘野獸獵法ノ效力ヲ妨ケス

第三十三條 本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ公有水面使用免許ニ依ル第三條ノ漁業者ハ本法施行ノ日ニ於テ本法ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス但シ其ノ免許期間ハ第六條ノ期間内ニ於テ行政官廳之ヲ定ム

第二十四條 從來ノ慣行ニ因ル第三條又ハ第四條ノ漁業者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ出願スルトキハ之ニ免許ヲ與フヘシ

前項ノ漁業者ハ其ノ免許ヲ出願シタル者ニ在リテハ許否ノ處分ヲ受クル迄ノ間其ノ他ニ在リテハ本法施行後一箇年間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 本法施行前ニ於テ水産業ノ改良發達及水産動物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲行政官廳ノ認可ヲ得テ設置シタル組合ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ抵觸セサルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依ル水産組合ト看做ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル畜牛結核病豫防法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十四年四月十二日

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
内務大臣 文相末松謙澄  
農商務大臣 林有造

法律第三十五號(官報 四月十三日)

畜牛結核病豫防法

第一條 乳用牛、外國種牛及雜種牛ハ結核病ノ有無又ハ輕重ヲ定ムル爲行政官廳ニ於テ之ヲ検査ス結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ニ付テモ亦同シ

第二條 乳用牛、種牡牛及結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ノ検査ハ「ツベルクリン」注射ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

第三條 検査ノ期日及場所ハ行政官廳之ヲ指定ス

第一條ニ掲ケタル畜牛ノ所有者又ハ管理者ハ前項ノ指定ニ從ヒ其ノ検査ヲ受クヘシ

第四條 結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ヲ發見シタルトキハ所有者、管理者又ハ獸醫ニ於テ直ニ之ヲ届出ツヘシ

第五條 結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ隔離スヘシ

第六條 重症結核病ニ罹リタル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ撲殺スヘシ



輕症結核病ニ罹リタル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ鎖飼スヘシ

第七條 外國ヨリ輸入スル畜牛ハ輸入申告後特ニ定メタル場所ニ於テ「ツベルクリン」注射ノ方法ニ依リ之ヲ検査ス

前項ノ検査ニ關シテハ税關長及検査員ノ指揮ニ從フヘシ

第一項ノ畜牛ニシテ結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アルトキハ税關長又ハ検査員ニ於テ其ノ輸入ノ禁止、緊留其ノ他必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第八條 前條ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル者畜牛ヲ撲殺セムトスルトキハ税關長及検査員ノ指揮ニ從フヘシ

第九條 結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁、屍體及其ノ部分、畜牛ヲ置キタル場所竝病毒ニ汚染シ及其ノ疑アル物品ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ消毒スヘシ

第十條 重症結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁、屍體及其ノ部分ハ皮肉ヲ除クノ外検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理者ニ於テ之ヲ燒棄又ハ埋却スヘシ但シ認可ヲ得タル裝置ヲ以テ化製スルモノハ此ノ限ニ在ラス

輕症結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁、屍體及其ノ部分ノ處分方法ハ主務大臣之ヲ定ム

第十一條 結核病ニ罹リタル畜牛ヲ置キタル場所竝病毒ニ汚染シ及其ノ疑アル物品ハ検査員ニ於テ其ノ燒棄又ハ埋却ヲ命スルコトヲ得

第十二條 結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁、屍體若ハ其ノ部分又ハ病毒ニ汚染シ若ハ其ノ疑アル物品ヲ埋却シタル場所ハ三箇年間之ヲ發掘スルコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 第六條又ハ第十一條ニ依リ畜牛ヲ撲殺シ又ハ物品ヲ燒棄若ハ埋却シタル場合ニ於テハ其ノ評價額ノ二分ノ一ニ當ル手當金ヲ下付ス

畜牛ノ手當金ハ一頭ニ付外國種牛ニ在リテハ七十五圓、雜種牛及内國種牛ニ在リテハ五十圓、六箇月未滿ノ幼年ニ在リテハ十五圓ヲ超ユルコトヲ得ス物品ノ手當金ハ總テ十圓ヲ超ユルコトヲ得ス

畜牛及物品ノ評價ハ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ爲サシム但シ其ノ評價ヲ不當ト認メタルトキハ更ニ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ爲サシム

第十四條 左ノ場合ニ於テハ畜牛ノ手當金ヲ下付セス

一、検査ヲ受ケス、之ヲ拒ミ又ハ妨ケタルトキ

二、第四條、第五條又ハ第六條ニ違背シタルトキ

三、検査ヲ受ケスシテ畜牛ヲ輸入シタルトキ

左ノ場合ニ於テハ物品ノ手當金ヲ下付セス

一、前項各號ノ一ニ該當スルトキ

二、第九條、第十條第一項又ハ同條第二項ニ基ツキテ發シタル命令ニ違背シタルトキ

三、第七條第二項、第三項又ハ第八條若ハ第十一條ノ命令ニ從ハサルトキ

第十五條 手當金ヲ受クヘキ者其ノ全部又ハ一部ヲ拒否スル處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十六條 畜牛結核病豫防ニ關スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國庫、府縣及一個人ニ於テ之ヲ負擔ス



第十七條 検査ヲ受ケス、之ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者、検査ヲ受ケスシテ畜牛ヲ輸入シタル者、第五條若ハ第六條ニ違背シタル者又ハ第七條第三項ノ命令ニ従ハサル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 第四條、第九條、第十條第一項若ハ第十二條ニ違背シタル者又ハ第七條第二項、第八條若ハ第十一條ノ命令ニ従ハサル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法及本法ニ基ツキテ發スル命令ノ處罰ニ關シテ之ヲ準用ス

附則

本法ハ明治三十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ外國ヨリ輸入スル畜牛ニ關シテハ明治三十四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス



朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル民法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年四月十二日

- 内閣總理大臣 侯爵伊藤博文
- 海軍大臣 山本權兵衛
- 大藏大臣 子爵渡邊 國武
- 陸軍大臣 男爵兒玉源太郎

法律第三十六號(官報 四月十三日)

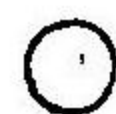
民法中左ノ通改正ス

民法第二百七十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ抵當權者カ債務ノ不履行ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テ其最後ノ二年分ニ付テモ亦之ヲ適用ス但利息其他ノ定期金ト通シテ二年分ヲ超ニルコトヲ得ス

〔参照〕

法律第八十九號民法(明治二十九年四月二十七日官報)抄録  
 第三百七十四條 抵當權者カ利息其他ノ定期金ヲ請求スル權利ヲ有スルトキハ其満期ト爲リタル後ノ二年分ニ付テノミ其抵當權ヲ行フコトヲ得但其以前ノ定期金ニ付テモ満期後特別ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ妨ケス



朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル續職法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十四年四月 法律 第三十七號 續職法



御名 御璽

明治三十四年四月十二日

- 内閣總理大臣 侯爵伊藤博文
- 海軍大臣 山本權兵衛
- 大藏大臣 子爵渡邊國武
- 陸軍大臣 男爵兒玉源太郎
- 外務大臣 加藤高明
- 司法大臣 男爵金子堅太郎
- 内務大臣 文學博士末松謙澄
- 文部大臣 松田正久
- 農商務大臣 林有造
- 逓信大臣 原 敬

法律第三十七號 (官報四月十三日)

渡職法

第一條 法令ニ依リ選舉又ハ任用シタル議員、會員、委員又ハ總代其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許若ハ要求シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂ヲ贈與提供又ハ約束シタル者亦同シ

第二條 前條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ其ノ價ヲ追徴ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル巡查看守退隱料及遺族扶助料法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年七月二十五日

- 内閣總理大臣 子爵桂 太郎
- 海軍大臣 山本權兵衛
- 陸軍大臣 男爵兒玉源太郎
- 内務大臣 男爵内海忠勝
- 司法大臣 清浦奎吾
- 外務大臣 曾根荒助

法律第三十八號 (官報七月二十六日)

巡查看守退隱料及遺族扶助料法

第一條 巡查又ハ看守勤続十年以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ退隱料ヲ給ス

- 一 年齢五十歳ヲ超ヘ退職シタルトキ
- 二 傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘズ退職シタルトキ
- 三 廣官廢廳ニ依リ退職シタルトキ
- 四 身體若ハ精神ノ衰弱又ハ事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命セラレタルトキ

前項ノ退隱料年額ハ退職當時ニ於ケル月俸三箇月分トシ勤続十年以上三十年ニ至ル迄一年ヲ加フル毎ニ退職當時ノ月俸額十分ノ一ヲ増加ス

第二條 巡查又ハ看守勤続一年以上十年未滿ニシテ第一條第一項各號ノ一ニ當ルトキハ一時金ヲ



給ス但シ退隠料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者ハ此ノ限ニ在ラス

一時金ハ退隠當時ニ於ケル月俸額ノ三分ノ二ニ勤続年數ヲ乘シタル額トス

第三條 退隠料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者再ヒ前職ニ就キ勤続一年以上ニシテ第一條第一項各號ノ一ニ當ルトキハ前後通算シテ勤続二十年ニ至ル迄後ノ勤続一年ヲ加フル毎ニ後ノ退隠當時ニ於ケル月俸額十分ノ一ヲ退隠料年額ニ増加ス

一時金ヲ受ケタル者又ハ受クヘキ者再ヒ前職ニ就キ第一條第一項各號ノ一ニ當ルトキハ前後通算シテ勤続十年以上ニ至ル者ニハ第一條ニ依リ退隠料ヲ給シ十年未滿ノ者ニハ第二條ニ依リ後ノ勤続年數ニ對スル一時金ヲ給ス

第四條 巡査又ハ看守職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ又ハ之ニ準スヘキ者ト爲リ其ノ職ニ堪ヘズ退隠シタルトキハ退隠料ヲ給ス

前項ノ退隠料年額ハ退隠當時ノ月俸三箇月分乃至六箇月分トス

第一條及第三條ニ依リ退隠料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者本條第一項ニ當ルトキハ其ノ退隠料年額ニ退隠當時ノ月俸四箇月分以内ヲ増加ス

前二項ニ依ル退隠料年額及增加金額ハ傷痍疾病ノ輕重ニ依リ之ヲ定ム

第五條 前條ノ規定ハ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退隠シタル後一年以内ニ其ノ傷痍疾病ニ起因シ前條第一項ニ當ルニ至リタル者ニ之ヲ準用ス

第六條 巡査又ハ看守交互ニ轉職シ又ハ他ノ官職ニ轉シタルトキハ事務ノ都合ニ依リ退隠ヲ命ゼラレタル者ト看做ス

第七條 巡査又ハ看守左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ遺族ニ扶助料ヲ給ス

一 職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ在職中死亡シタルトキ

二 勤続十年以上ニシテ在職中死亡シタルトキ

三 退隠料ヲ受ケ又ハ受クヘクシテ死亡シタルトキ

扶助料年額ハ前項第一號ノ場合ニ在リテハ第四條ニ依リ査定シタル金額ノ三分ノ二トシ第二號ノ場合ニ在リテハ第一條又ハ第三條ニ依リ査定シタル金額ノ三分ノ一トシ第三號ノ場合ニ在リテハ其ノ退隠料年額ノ三分ノ一トス但シ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退隠シタル後一年以内ニ其ノ傷痍疾病ニ起因シテ死亡シタルトキハ第四條第五條ニ依リ査定シタル金額ノ三分ノ二トス

第八條 扶助料ハ寡婦ニ給ス寡婦死亡シ又ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ子ニ給ス

數子間ニ在リテハ法定家督相續ノ順位ニ依リ最先者ニ給ス最先者死亡シ若ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ順次次位者ニ轉給ス

民法第九百六十九條ニ依リ家督相續人タルコトヲ得サル者及推定家督相續人ニシテ廢除セラレタル者ニハ扶助料ヲ給セス但シ疾病其ノ他身體又ハ精神ノ狀況ニ依リ家政ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲廢除セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

養子ハ家督相續人ニ非サレハ扶助料ヲ給セス

第九條 扶助料ヲ受クヘキ寡婦及子ナキトキハ扶助料ハ直系尊屬ニ給ス

前項ノ場合ニ在リテハ先ツ父ニ給シ父死亡シ又ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ母ニ給ス母ヨリ祖父ニ祖父ヨリ祖母ニ轉給スルハ順次此ノ例ニ依ル

第十條 扶助料ヲ受クル者ナクシテ死亡シタル者ノ家ニ在ル兄弟姉妹二十歳未滿又ハ篤疾若ハ癡



疾ニシテ自活スルコト能ハサルトキハ扶助料ニ相當スル金額ノ三箇年分以内ヲ一時限り給スルコトアルヘシ

第十一條 退隱料ヲ受ケタル者又ハ受クヘキ者左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ之ヲ給セス

一 國籍ヲ喪失シタルトキ

二 重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

三 在職中ノ犯罪ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十二條 遺族ニシテ左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ扶助料ヲ給セス

一 前條第一號又ハ第二號ニ當ルトキ

二 寡婦婚姻シタルトキ

三 子年齢二十歳ニ滿テタルトキ

四 尊屬ノ女婚姻シタルトキ

第十三條 子二十歳ニ滿ルモ篤疾又ハ廢疾ニシテ自活スルコト能ハス他ニ扶助料ヲ受クル者ナキトキハ其ノ事由ノ存續スル間扶助料ノ三分ノ一ヲ給スルコトアルヘシ

第十四條 退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ其ノ間退隱料ノ支給ヲ停止ス

一 公權ヲ停止セラレタルトキ

二 六箇月以上行方不明ナルトキ

退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者再ヒ判任官待遇以上ノ官職ニ就キタル場合ニ於テハ其ノ俸給月額ニ退隱料月割額ヲ合シ退職當時ニ於ケル俸給月額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ニ對スル退

隱料ノ支給ヲ停止ス

第十五條 扶助料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者前條第一項各號ノ一ニ當ルトキハ其ノ間扶助料ノ支給ヲ停止シ第八條第九條ノ順位ニ依リ之ヲ次位者ニ轉給ス

第十六條 退隱料及扶助料ノ年額並一時金ノ圓位未滿ハ圓位ニ滿タシム

第十七條 巡查又ハ看守ノ勤続年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終ル但シ十二箇月未滿ノ端數ハ之ヲ算入セス

休職及教習中ノ月數ハ勤続年數ニ算入ス

第十八條 巡查又ハ看守其ノ職務ヲ以テ從軍シタルトキハ軍人恩給法ノ算則ニ照ラシテ從軍年ヲ加算ス

第十九條 本法ニ於テ寡婦、子、尊屬ト稱スルハ巡查又ハ看守タリシ者死亡ノ當時ヨリ引續キ其ノ家ニ在ル者ヲ謂フ但シ父死亡後出生シタル嫡出ノ子ハ死亡當時其ノ家ニ在ル者ト看做ス

第二十條 退隱料及扶助料ノ支給、停止及廢止ハ其ノ事由ノ生シタル翌月ヨリ之ヲ行フ

第五條ニ依ル退隱料ノ支給ハ事由認定ノ翌月ヨリ始マリ前條但書ニ依ル扶助料ノ支給ハ出生ノ翌月ヨリ始マル

第二十一條 退隱料、一時金及扶助料ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル日ヨリ三年以内ニ請求スルニ非サレハ之ヲ給セス

第二十二條 退隱料ハ民事訴訟法第五百七十條及第六百十八條ノ規定ニ關シテハ恩給ト看做ス

第二十三條 本法ニ依ル給與金ノ支給ニ關スル事項ヲ裁定スヘキ行政官廳ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 本法ニ依ル給與金ハ巡查又ハ看守最後ノ退職又ハ死亡當時ニ於テ俸給ヲ受ケタル經

明治三十四年七月 法律 第三十八號 巡查看守退隱料及遺族扶助料法



濟ノ負擔トス

第二十五條 本法ニ依ル給與金ノ一部又ハ全部ヲ拒否セラレタル者其ノ拒否ヲ不當ナリトスルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニシテ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十六條 本法ハ陸軍監獄看守、海軍監獄看守、海軍警査、貴族院守衛、衆議院守衛及其ノ遺族ニ之ヲ適用ス

附則

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 明治十五年太政官達第四十一號巡査看守給助例ハ、巡査、看守、陸軍監獄看守、海軍監獄看守、海軍警査、貴族院守衛、衆議院守衛及其ノ遺族ニ之ヲ適用セス但シ巡査看守給助例ニ依リ現ニ給助ヲ受クル者又ハ既ニ受クヘキ事由ノ生シタル者又ハ其ノ事由ニ起因シテ一年以内ニ重症ニ趨キ又ハ死亡シタル者ニ對シテハ其ノ第一條乃至第七條ヲ適用スルノ外、本法第三條第十條、第十二條、第十四條、第十五條、第二十條、第二十一條、第二十二條、第二十三條及第二十五條ヲ適用ス

明治十五年太政官達第六十六號ハ、巡査、看守ニ明治三十三年法律第三十號ハ、巡査、看守、陸軍監獄看守、海軍監獄看守、海軍警査、貴族院守衛、衆議院守衛及其ノ遺族ニ之ヲ適用セス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル永代借地權ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年九月二十日

- 内閣總理大臣 子爵 桂 太郎
- 海軍大臣 山本權兵衛
- 陸軍大臣 男爵 兒玉源太郎
- 逓信大臣 子爵 芳川顯正
- 內務大臣 男爵 內海忠勝
- 文部大臣 博士 菊池大麓
- 農商務大臣 平田東助
- 司法大臣 清浦奎吾
- 大藏大臣 兼 曾禰荒助
- 外務大臣

法律第三十九號 (官報 九月二十一日)

第一條 政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ハ之ヲ物權トシ民法中所有權ニ關スル規定ヲ準用ス

永代借地權ハ民法ノ規定ニ從ヒ他ノ權利ノ目的タルコトヲ得  
地券、條約又ハ法令ニ別段ノ定メアル場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セス



第二條 永代借地權ノ移轉アリタルトキハ其ノ土地ノ所在地ヲ管轄スル地方廳ニ於テ地券ニ其ノ旨ヲ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス

第四條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則

第五條 本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 民法施行法第四十五條ノ規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第七條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ヲ本法施行前ニ地上權又ハ之ヲ目的トスル權利トシテ登記セラレタルモノト同一ノ效力ヲ有ス

〔參照〕

法律第十一號民法施行法(明治三十一年六月二十一日官報)抄録

第四十五條 外國人又ハ外國法人ノ爲メニ設定シタル地上權ニハ條約又ハ命令ニ別段ノ定ナキ場合ニ限り民法ノ規定ヲ適用ス

法令全書

豫算

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十三年度歲入歲出總豫算追加ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年二月二十五日(官報二月二十六日)

內閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

豫算

第一條 明治三十三年度歲出追加額ヲ參百拾壹萬七千九百八拾九圓六拾八錢貳厘ト定ム其款項ノ金額ハ別冊甲號歲出豫算ニ據ルヘシ

第二條 別冊乙號所掲ノ費途ハ其規畫スル所ニ隨ヒ明治三十四年度ニ互ル繼續費ト爲ス

第三條 明治三十三年度歲出追加中別冊丙號所掲ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌明治三十四年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

(別冊)

甲號

歲出經常部

外務省所管

第一款 外務本省

第九項 電信料

金參萬圓

金參萬圓

明治三十四年二月 豫算



第二款 在外公館

金六萬參千圓

第十一項 電信料

金六萬參千圓

外務省所管合計金九萬參千圓

內務省所管

第十四款 府縣

金六拾五萬六千四百參拾九圓五錢壹厘

第十一項 傳染病豫防費補助

金貳拾四萬八千五百七拾七圓六拾六錢壹厘

第十三項 警察費連帶支辨金

金四拾萬七千六百七拾八圓八拾九錢

第十九項 囚人及刑事被告人羈押送費

金百八拾貳圓五拾錢

大藏省所管

第三款 恩賞諸祿

金四萬圓

第三項 軍人恩給

金四萬圓

第六款 貴族院

金百貳拾五圓

第六項 雜給及雜費

金百貳拾五圓

第三款 衆議院

金參百參拾五圓

第六項 雜給及雜費

金貳百七圓

第十款 稅關

金壹萬八百八圓

第七項 雜給及雜費

金四千六百五拾圓

第九項 收容貨物及無請求品費

金六千五百五拾六圓

第十四款 國資運用費

金五萬貳千參百六拾七圓

第一項 國庫金取扱及金融事項調査費

金五萬貳千參百六拾七圓

第十五款 諸拂戻及缺損補填金

金參拾八萬六千六百貳拾參圓

第一項 諸拂戻金

金參拾八萬六千六百貳拾參圓

第十六款 製造煙草輸出交付金

金參萬五千八百五拾八圓

第一項 製造煙草輸出交付金

金參萬五千八百五拾八圓

第十七款 國庫豫備金

金拾萬圓

第一項 第一豫備

金拾萬圓

大藏省所管合計金六拾貳萬六千六百拾四圓

陸軍省所管

第一款 陸軍本省

金九百八拾五圓五拾參錢七厘

第八項 馬匹費

金九百八拾五圓五拾參錢七厘

第二款 軍事費

金八拾貳萬四千八百五拾壹圓六錢壹厘

第十項 糧食費

金四拾八萬貳千四百五拾貳圓六拾七錢七厘

第十三項 馬匹費

金參拾四萬貳千參百九拾八圓參拾八錢四厘

第三款 憲兵費

金五千八百七拾八圓五拾四錢壹厘

第十二項 馬匹費

金五千八百七拾八圓五拾四錢壹厘

第四款 屯田兵費

金四百六圓五拾七錢

第十項 馬匹費

金四百六圓五拾七錢



陸軍省所管合計金八拾參萬貳千貳拾壹圓七拾錢九厘	
遞信省所管	
第二款 遞信費	金五拾參萬五百五拾九圓拾七錢五厘
第七項 遞信事業費	金五拾參萬五百五拾九圓拾七錢五厘
第七款 東京郵便電信學校	金五百八拾六圓九錢四厘
第七項 雜給及雜費	金五百八拾六圓九錢四厘
遞信省所管合計金五拾參萬千四百拾五圓貳拾六錢九厘	
歲出經常部合計金貳百七拾參萬八千八百貳拾圓貳錢九厘	
歲出臨時部	
外務省所管	
第一款 營繕費	金四千四百九拾五圓貳拾錢
第五項 領事館敷地購買費	金四千四百九拾五圓貳拾錢
內務省所管	
第一款 補助費	金貳萬圓
第二十三項 大阪市水道及下水費補助	金貳萬圓
第三款 營繕費	金壹萬千八百七拾五圓
第三項 新營費	金壹萬千八百七拾五圓
第十三款 府縣	金壹萬八千八百六拾七圓拾八錢
第二款 風水害諸費	金壹萬八千八百六拾七圓拾八錢

第十七款 傳染病豫防費	金拾壹萬貳千六圓貳拾壹錢
第一項 ベネチヤ豫防事務局費	金貳萬四百七拾九圓八拾壹錢
第三項 臨時檢疫費	金九萬五千五百貳拾六圓四拾錢
內務省所管合計金拾六萬貳千七百四拾八圓參拾九錢	
大藏省所管	
第五款 臨時秩祿處分調查費	金千六百九拾八圓
第四項 旅費	金千六百九拾八圓
文部省所管	
第九款 臨時外國行諸費	金貳千參百四拾六圓九拾錢
第五項 萬國地盤學協會創立委員會參列費	金貳千參百四拾六圓九拾錢
遞信省所管	
第一款 補助費	金拾九萬五千八百八拾壹圓拾六錢參厘
第五項 航海獎勵費	金拾九萬五千八百八拾壹圓拾六錢參厘
第四款 營繕費	金壹萬貳千圓
第九項 高岡郵便電信局新營費	金壹萬貳千圓
遞信省所管合計金貳拾萬七千八百八拾壹圓拾六錢參厘	
歲出臨時部合計金參拾七萬九千九百六拾九圓六拾五錢參厘	
歲出總計金參百拾壹萬七千九百八拾九圓六拾八錢貳厘	

(別冊)



乙號

高岡郵便電信局新營費

總額

金五萬參千貳百貳拾圓五拾錢

金五萬參千貳百貳拾圓五拾錢

年額

明治三十三年度

金壹萬貳千圓

金壹萬貳千圓

明治三十四年度

金四萬千貳百貳拾圓五拾錢

金四萬千貳百貳拾圓五拾錢

款營 項 高岡郵便電信局新營費

款營 項 高岡郵便電信局新營費

款營 項 高岡郵便電信局新營費

款營 項 高岡郵便電信局新營費

款營 項 高岡郵便電信局新營費

(別冊)

丙號

歲出臨時部內務省所管第十三款府縣第二項

風水害諸費

朕帝國議會ノ協贊ヲ經ヌル明治三十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年二月二十五日(官報 二月二十六日)

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

各特別會計豫算

明治三十三年度內務省所管臺灣總督府文部省所管東京帝國大學第一高等學校遞信省所管官設鐵道歲入歲出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

(別冊)

內務省所管

臺灣總督府

歲入

經常部

第一款 臺灣歲入

金六拾萬四千八百六拾圓貳拾錢

第四項 官業及官有財產收入

金六拾萬四千八百六拾圓貳拾錢

臨時部

第三款 前年度繰入金

金七萬參千八百六拾圓

第一款 前年度繰入金

金七萬參千八百六拾圓

合計金六拾七萬八千七百貳拾圓貳拾錢

歲出



經常部

第八款 醫院 金九千四百五拾圓

第二項 廳費 金五千四拾六圓

第六項 患者費 金四千四百參拾四圓

第八項 雜給及雜費 金貳百七拾圓

第十七款 鹽務局 金六萬參千四百八拾七圓貳拾錢

第八項 製鹽費收費 金六萬參千四百八拾七圓貳拾錢

第十九款 製藥所 金四拾六萬貳千參百參拾圓

第九項 材料素品購買費 金四拾六萬貳千參百參拾圓

經常部合計金五拾參萬五千貳百六拾七圓貳拾錢

臨時部

第二款 專業費 金拾四萬參千四百五拾參圓

第十二項 營業費 金拾四萬四百五拾參圓

第十三項 土木費 金參千圓

合計金六拾七萬八千七百貳拾圓貳拾錢

文部省所管

東京帝國大學 歲入

經常部

第二款 醫科大學醫院收入

金貳萬貳千四百八拾參圓五拾錢

第一項 醫院收入

金貳萬貳千四百八拾參圓五拾錢

歲出

經常部 金貳萬貳千四百八拾參圓五拾錢

第一款 醫科大學醫院 金壹萬五千貳百四拾五圓九拾七錢四厘

第一項 廳費 金貳千百拾四圓

第二項 修繕費 金五千百貳拾參圓五拾貳錢六厘

第三項 雜給及雜費

第一高等學校 歲入

經常部 金五百四圓貳拾錢

第一款 第一高等學校 金五百四圓貳拾錢

第二項 諸收入

歲出

經常部 金五百四圓貳拾錢

第一款 第一高等學校 金五百四圓貳拾錢

第三項 修繕費

遞信省所管

官設鐵道



歳入	
第一款 鐵道作業收入	金參百五拾圓
第二款 雜收入	金參百五拾圓
歳出	
第一款 鐵道作業費	金參百五拾圓
第四項 備外國人諸給	金參百五拾圓

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル明治三十三年度歳入歳出總豫算追加ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十二日 (官報 三月二十五日)

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文  
大藏大臣 子爵渡邊國武

豫算

第一條 明治三十三年度歳出追加額ヲ貳拾六萬貳千五百九圓八拾八錢ト定ム其款項ノ金額ハ別册  
甲號歳出豫算ニ據ルヘシ  
第二條 明治三十三年度歳出追加中別册乙號所掲ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌明治三十四年度ニ  
繰越シ使用スルコトヲ得

(別册)

甲號

歳出經常部	
内務省所管	
第十四款 府縣	金參百五拾六圓八拾錢
第十九項 囚人及刑事被告人羈押送費	金參百五拾六圓八拾錢
農商務省所管	
第一款 農商務本省	金貳千七百圓
第二項 廳費	金貳千七百圓



明治三十四年三月 豫算

遞信省所管

第二款 遞信費

第八項 諸拂辰金

歲出經常部合計金拾六萬貳千五百七拾七圓七錢

歲出臨時部

文部省所管

第十五款 災害費

第一項 東京帝國大學醫科大學附屬第二醫院火災應急費

農商務省所管

第二十款 獸疫費

第一項 獸疫費

遞信省所管

第四款 營繕費

第六項 修繕費

第十款 月島丸搜索費

第一項 月島丸搜索費

遞信省所管合計金壹萬五千貳拾貳圓四拾壹錢

歲出臨時部合計金拾萬五千五百五拾貳圓八拾壹錢

歲出總計金貳拾六萬貳千六百九圓八拾八錢

(別冊) 乙號

金拾五萬九千圓貳拾七錢

金拾五萬九千圓貳拾七錢

金參萬七千八百七拾七圓七拾錢

金參萬七千八百七拾七圓七拾錢

金四萬七千六百五拾貳圓七拾錢

金四萬七千六百五拾貳圓七拾錢

金五百五拾壹圓五拾壹錢

金五百五拾壹圓五拾壹錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

金壹萬四千四百七拾圓九拾錢

歲出臨時部遞信省所管第十款月島丸搜索費第一項 月島丸搜索費

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十三年度特別會計歲入歲出豫算追加ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十三日 (官報 三月二十五日)

內閣總理大臣 侯爵伊藤博文 大藏大臣 子爵渡邊國武

特別會計豫算

明治三十三年度陸軍省所管東京砲兵工廠歲入歲出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

(別冊)

陸軍省所管

東京砲兵工廠

歲入

第一款 東京砲兵工廠作業收入

金拾六萬五千拾九圓六錢

第一項 作業收入

金拾六萬五千拾九圓六錢

歲出

第一款 東京砲兵工廠作業費

金拾六萬五千拾九圓六錢

第五項 材料藥品購買費

金拾六萬五千拾九圓六錢

明治三十四年三月 豫算



朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十四年度歳入歳出總豫算並明治三十四年度各特別會計歳入歳出豫算ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月二十七日 (官報 三月二十八日)

内閣總理大臣侯爵伊藤博文  
大藏大臣子爵渡邊國武

豫算

第一條 明治三十四年度歳入總額ヲ貳億五千參百五拾貳萬參千四百貳拾八圓歳出總額ヲ貳億四千九百四拾參萬六千五百貳拾九圓九錢四厘ト定ム其款項ノ金額ハ別冊甲號歳入豫算歳出豫算ニ據ルベシ

第二條 別冊乙號所掲ノ費途ハ各其規畫メスル所ニ隨ヒ明治三十四年度以降ノ繼續費トナシ若クハ既定ノ金額ヲ改定ス

第三條 明治三十四年度歳出豫算中別冊丙號所掲ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌明治三十五年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第四條 明治三十四年度ニ於テ發行スル大藏省證券最高額ハ參千五百萬圓ト定ム

(別冊)

甲號 歳入經常部

- 第一款 租稅 金壹億參千五百六拾五萬貳千八百八拾壹圓
- 第二款 地租 金四千八百五拾六萬八千八百八拾貳圓

第二項 所得稅	金五百六拾壹萬八千貳百五拾五圓
第三項 營業稅	金六百拾四萬貳千五百拾七圓
第四項 酒稅	金五千五百萬九千九百貳拾參圓
第五項 醬油稅	金參百參拾萬八千七百參拾圓
第六項 賣藥營業稅	金拾壹萬千參百五拾六圓
第七項 鑛業稅	金七拾五萬八千八百四拾九圓
第八項 取引所稅	金百四萬六千四百貳拾九圓
第九項 兌換銀行券發行稅	金百七萬千七百拾七圓
第十項 沖繩縣酒類出港稅	金六萬六千四百七拾貳圓
第十一項 噸稅	金參拾參萬六千六百八拾八圓
第十二項 海關稅	金千五百六拾貳萬八千七百六拾參圓
第一款 印紙收入	金千參百六拾九萬九千九百九拾九圓
第二款 官業及官有財產收入	金千參百六拾九萬九千九百九拾九圓
第一款 郵便電信收入	金四千六百五拾貳萬四千六百拾圓
第二款 森林收入	金貳千四百六拾六萬五千九百六拾四圓
第三款 囚徒工錢及製作收入	金貳百參拾貳萬五千七百拾參圓
第四項 官有物貸下料	金百參拾八萬六千八百七拾貳圓
第五項 北海道鐵道收入	金貳拾萬四千五百貳拾九圓
第六項 印刷局益金	金八拾壹萬四千七百貳圓
第七項 專賣局益金	金拾八萬貳千九百九圓
	金九百六拾壹萬九拾壹圓



第八項	千住製鐵所益金	金參千貳百四拾六圓
第九項	鐵道益金	金七百參拾參萬四千八百參拾四圓
第十項	電信燈臺用品製造所益金	金九百五拾圓
第四款	雜收入	金百五拾五萬參千八百八圓
第一項	免許及手数料	金參萬百六拾七圓
第二項	懲罰及沒收金	金五拾八萬四千八拾七圓
第三項	辦償及違約金	金貳拾六萬參千五百拾五圓
第四項	稅關雜收入	金貳拾壹萬千七百參拾九圓
第五項	雜入	金貳拾四萬千參百八拾圓
第六項	官吏遺族扶助法納金	金拾七萬五千七百七拾圓
第七項	學校職員退隱及遺族扶助法納金	金四萬貳千六百四圓
第八項	沖繩縣地方收入	金參千九百五拾圓
第九項	小笠原島地方收入	金五百九拾六圓
第五款	預金利息收入	金貳百貳拾八萬貳千參百五拾七圓
第一項	預金利息收入	金貳百貳拾八萬貳千參百五拾七圓
第六款	臺灣事業公債償却金收入	金八拾六萬七拾圓
第一項	臺灣事業公債償却金收入	金八拾六萬七拾圓
第七款	教育基金收入	金六拾七萬五千圓
第一項	教育基金收入	金六拾七萬五千圓
歲入經常部合計	金貳億百貳拾四萬七千九拾五圓	
歲入臨時部		

第一款	官有物拂下代	金百六萬八千五拾五圓
第一項	鐵山拂下代	金貳拾五萬參千九百貳拾八圓
第二項	地所拂下代	金貳萬參千八百七拾四圓
第三項	建物拂下代	金六千五百五拾四圓
第四項	物品拂下代	金四拾六萬七千拾四圓
第五項	船舶拂下代	金貳拾六萬千八百貳拾六圓
第六項	家畜拂下代	金五萬四千八百五拾九圓
第二款	雜收入	金六萬七千七百八拾壹圓
第一項	海軍受託造修收入	金六萬貳千五百拾貳圓
第二項	返納金	金五千貳百六拾九圓
第三款	地方分擔納付金	金百六萬六百五拾五圓
第一項	地方分擔納付金	金百六萬六百五拾五圓
第四款	公債募集金	金貳千九百八拾六萬貳千四百五拾圓
第一項	公債募集金	金貳千九百八拾六萬貳千四百五拾圓
第五款	債金收入	金千八百貳拾參萬貳千九百五拾貳圓
第一項	債金收入	金千八百貳拾參萬貳千九百五拾貳圓
第六款	森林資金收入	金百七拾九萬九千四百四拾圓
第一項	森林資金收入	金百七拾九萬九千四百四拾圓
第七款	獻納金	金拾八萬五千圓
第一項	第二高等師範學校創立費獻納金	金五萬圓
第二項	第二高等商業學校創立費獻納金	金貳萬五千圓



第三項	第七高等學校進士館創立費獻納金	金六萬圓
第四項	高等農林學校創立費獻納金	金五萬圓
	歲入臨時部合計金五千貳百貳拾七萬六千參百參拾參圓	
	歲入總計金貳億五千參百五拾貳萬參千四百貳拾八圓	
第一款	皇室費	金參百萬圓
第一款	皇室費	金參百萬圓
	外務省所管	
第一款	外務本省	
第一項	俸給及諸給	金拾六萬貳千八百四拾圓
第二項	廳費	金六萬七千八百七拾五圓
第三項	修繕費	金壹萬九千六百九圓
第四項	死傷手當	金四萬六千八百八拾壹圓
第五項	賠償及訴訟費	金拾圓
第六項	旅費	金參千五百六拾八圓
第七項	雜給及雜費	金壹萬四千八拾七圓
第八項	備外國人諸給	金壹萬圓
第九項	電信料	金四萬圓
第十項	宴會費	金參千圓
第二款	在外公館	金貳百拾萬七千五百貳拾七圓參拾七錢九厘
第一款	俸給及諸給	金百貳拾萬貳千六百六拾貳圓

第二項	廳費	金拾壹萬參千九百五拾七圓
第三項	修繕費	金貳萬五千八百七拾壹圓
第四項	賠償及訴訟費	金拾圓
第五項	旅費	金拾萬七千四百九拾八圓
第六項	雜給及雜費	金五萬七千九百九拾六圓
第七項	備外國人諸給	金貳萬四千九百七拾六圓
第八項	裁判及囚徒費	金參千五百五拾四圓
第九項	在外國居留民取給費	金拾壹萬貳千六百四拾參圓
第十項	地所家屋借料	金拾壹萬六千九拾參圓參拾七錢九厘
第十一項	電信料	金七萬四千參百七拾四圓
第十二項	宴會費	金五萬四千參百八拾圓
第十三項	在外國難民貸與金	金貳百六拾八圓
第十四項	墓地管理費	金壹萬六千四百參拾九圓
第十五項	外國留學生費	金貳拾萬圓
第十六項	機密費	金貳拾萬圓
	外務省所管合計金貳百貳拾七萬參百六拾七圓參拾七錢九厘	
	內務省所管	
第一款	神宮費	金五萬圓
第一款	神宮費	金五萬圓
第二款	神社及國幣社例祭幣帛料	金貳拾貳萬參千四百七拾八圓
第一款	神社費	金貳拾貳萬千七百八拾八圓



第二款 國幣社例祭幣帛料

- 第三款 內務本省
  - 第一項 俸給及諸給 金千六百九拾圓
  - 第二項 廳費 金參拾壹萬七千九百九拾參圓四拾五錢參厘
  - 第三項 修繕費 金拾六萬四千五百五拾八圓
  - 第四項 死傷手當 金參萬七千六百六拾六圓八拾八錢七厘
  - 第五項 賠償及訴訟費 金四千四百圓
  - 第六項 旅費 金百參拾四圓
  - 第七項 雜給及雜費 金參萬九千四百九拾貳圓四拾壹錢五厘
  - 第八項 阿片費 金五萬貳千四拾壹圓八拾六錢參厘
  - 第九項 萬國版權保證同盟費分擔金 金壹萬七千四百七拾五圓五拾五錢九厘
- 第四款 衛生試驗所
  - 第一項 俸給及諸給 金四萬四千九拾壹圓九拾九錢九厘
  - 第二項 廳費 金貳萬四千五百四拾參圓
  - 第三項 修繕費 金五千四百圓拾錢四厘
  - 第四項 死傷手當 金九百拾九圓五拾五錢
  - 第五項 賠償及訴訟費 金壹圓
  - 第六項 旅費 金貳圓
  - 第七項 雜給及雜費 金五百四拾圓七錢
  - 第八項 依願試驗用諸費 金五千四百拾九圓五拾錢貳厘
  - 第五款 血清藥院 金七千參百六拾六圓七拾六錢八厘
  - 金五萬五千五百八拾圓四拾九錢六厘

- 第一項 俸給及諸給 金六千六百八拾八圓
- 第二項 廳費 金千七百參拾八圓四拾八錢
- 第三項 修繕費 金七百七拾壹圓五拾錢
- 第四項 死傷手當 金壹圓
- 第五項 賠償及訴訟費 金貳圓
- 第六項 旅費 金參百參拾六圓參拾六錢
- 第七項 雜給及雜費 金六千七百七拾六圓八拾六錢六厘
- 第八項 調製及配送費 金參萬五千貳百六拾六圓貳拾九錢
- 第六款 痘苗製造所
  - 第一項 俸給及諸給 金八萬八千六百拾六圓六厘
  - 第二項 廳費 金壹萬千參百九拾圓
  - 第三項 修繕費 金參千九百四拾九圓八拾五錢
  - 第四項 死傷手當 金六百八拾四圓五拾錢
  - 第五項 賠償及訴訟費 金壹圓
  - 第六項 旅費 金貳圓
  - 第七項 雜給及雜費 金七百八拾四圓
  - 第八項 調製及配送費 金參千貳百六拾六圓九拾七錢四厘
  - 第七款 醫術及藥劑師試驗費
    - 第一項 俸給及諸給 金六萬八千五百參拾七圓六拾八錢貳厘
    - 第二項 廳費 金八萬貳千五百六拾貳圓五拾九錢九厘
    - 第三項 修繕費 金四千貳百四圓
    - 金五千七拾壹圓拾九錢參厘
    - 金千貳百圓



- 第四項 死傷手當
- 第五項 賠償及訴訟費
- 第六項 旅費
- 第七項 雜給及雜費
- 第八項 病院費
- 第八款 海港檢疫所
  - 第一項 俸給及諸給
  - 第二項 廳費
  - 第三項 修繕費
  - 第四項 死傷手當
  - 第五項 賠償及訴訟費
  - 第六項 旅費
  - 第七項 雜給及雜費
  - 第八項 船舶費
  - 第九項 檢疫費
- 第九款 傳染病研究所
  - 第一項 俸給及諸給
  - 第二項 廳費
  - 第三項 修繕費
  - 第四項 死傷手當
  - 第五項 賠償及訴訟費

金壹圓  
 金四千五百四拾六圓參拾七錢  
 金貳萬九千六百拾九圓七拾五錢  
 金參萬七千九百拾八圓貳拾八錢六厘  
 金貳拾貳萬五千貳拾四圓七拾八錢壹厘  
 金貳萬八千四百拾貳圓  
 金九千八百貳拾貳圓九拾五錢  
 金參千八百貳拾圓  
 金壹圓  
 金貳千七百四拾六圓貳拾七錢  
 金壹萬七千八百參拾貳圓六拾六錢八厘  
 金五千參百五拾圓  
 金拾五萬七千七百參拾七圓八拾九錢參厘  
 金四萬千貳百四拾參圓五拾五錢貳厘  
 金壹萬貳千七拾貳圓  
 金四千四百參圓七拾九錢  
 金五百圓  
 金壹圓  
 金貳圓

- 第六項 旅費
- 第七項 雜給及雜費
- 第八項 研究費
- 第十款 土木監督署
  - 第一項 俸給及諸給
  - 第二項 廳費
  - 第三項 修繕費
  - 第四項 死傷手當
  - 第五項 賠償及訴訟費
  - 第六項 旅費
  - 第七項 雜給及雜費
  - 第八項 備外國人諸給
  - 第九項 測量費
- 第十一款 警視廳
  - 第一項 俸給及諸給
  - 第二項 廳費
  - 第三項 修繕費
  - 第四項 死傷手當
  - 第五項 賠償及訴訟費
  - 第六項 旅費
  - 第七項 雜給及雜費

金百七拾九圓四錢  
 金貳千六百拾參圓六拾貳錢貳厘  
 金貳萬四千四百七拾貳圓拾錢  
 金拾壹萬五百七拾五圓七錢七厘  
 金五萬九千八百拾九圓  
 金四千八百參圓  
 金千貳百八拾七圓  
 金六拾四圓  
 金四千六百九拾貳圓  
 金貳萬五千貳百四拾五圓  
 金六千七百拾圓七錢七厘  
 金六千八百四拾圓  
 金千百拾五圓  
 金貳拾參萬六千七百八拾七圓參拾八錢八厘  
 金拾四萬參千五百五拾九圓  
 金壹萬七千九百九拾參圓八拾四錢五厘  
 金參千四百六圓七拾錢  
 金四圓  
 金貳圓  
 金八千七百貳拾七圓四拾五錢  
 金五萬貳千五百參拾四圓參拾八錢參厘



第八項	褒賞費	金七圓
第九項	機密費	金九千圓
第十項	肥料檢查費	金千五百五拾參圓壹錢
第十二款	府縣	金六百貳拾萬九千五百五圓四拾五錢四厘
第一項	俸給及諸給	金貳百參拾萬五千六拾參圓
第二項	廳費	金貳拾八萬參千四百五拾五圓貳拾八錢壹厘
第三項	死傷手當	金五百六拾八圓
第四項	賠償及訴訟費	金壹萬九圓
第五項	旅費	金六拾九萬五千五百貳拾貳圓拾錢
第六項	雜給及雜費	金貳拾九萬參百九拾八圓八拾參錢參厘
第七項	褒賞費	金壹萬九千八百九拾七圓
第八項	橫濱爆彈發物倉庫諸費	金壹萬參千四百拾參圓拾貳錢五厘
第九項	徵兵費	金貳拾壹萬七千五百九拾九圓
第十項	恩賜及救助費	金貳拾貳萬貳千四百壹圓
第十一項	傳染病豫防費補助	金六千圓
第十二項	備外國人諸給	金百四拾參萬六千五百八拾七圓
第十三項	警察費運帶支辨金	金百參拾九圓五錢壹厘
第十四項	消毒所及避病院保存費	金五萬貳百貳拾圓九拾四錢壹厘
第十五項	營繕土木費	金貳拾萬參千七百六拾五圓五拾參錢八厘
第十六項	地方費補助	金拾萬圓
第十七項	機密費	

第十八項	度量衡檢定費	金拾萬八千參百參拾壹圓
第十九項	囚人及刑事被告人運押送費	金四百六拾圓參拾貳錢
第二十項	肥料檢查費	金參萬六千六百七拾壹圓六拾八錢
第十三款	地方費	金貳拾五萬九千七百拾六圓五拾壹錢九厘
第一項	小笠原島地方費	金貳萬四千九拾八圓六拾壹錢七厘
第二項	沖繩縣地方費	金貳拾萬八千貳百參圓六拾九錢參厘
第三項	伊豆七島地方警察費	金六千貳百貳拾六圓四拾四錢貳厘
第四項	對馬地方警察費	金壹萬貳千六百五拾七圓七拾六錢壹厘
第五項	大島地方警察費	金壹萬九百七拾圓六厘
第六項	機密費	金千六百六拾圓
第十四款	橫濱港維持費	金拾壹萬八千四百貳拾壹圓拾錢
第一項	俸給及諸給	金四萬六千六百貳拾圓
第二項	廟費	金八百參拾四圓四拾壹錢
第三項	修繕費	金千百貳拾六圓貳拾九錢
第四項	死傷手當	金壹圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳圓
第六項	旅費	金六百八拾五圓八拾八錢
第七項	雜給及雜費	金貳千五百九拾六圓八拾七錢五厘
第八項	港灣維持費	金拾萬八千五百五拾四圓六拾四錢五厘
第十五款	古社寺保存補助及補給費	金拾五萬圓
第一項	古社寺保存補助及補給費	金拾五萬圓



第十六款 北海道官設鐵道事業費

金九拾五萬五千七百參拾六圓五拾八錢參厘

第一項 俸給及諸給

金五萬七千八百九拾參圓

第二項 死傷手當

金貳百圓

第三項 賠償及訴訟費

金五百圓

第四項 諸拂戻金

金貳拾六萬九千百貳拾六圓貳拾六錢八厘

第五項 事業費

金六拾貳萬八千拾七圓參拾壹錢五厘

內務省所管合計金九百拾六萬五千五百參拾參圓貳厘

大藏省所管

金貳拾六萬八千四百八拾八圓

第一款 大藏本省

第一項 俸給及諸給

金拾四萬九千參百八拾八圓

第二項 廟費

金參萬千圓

第三項 修繕費

金參千四百九拾圓

第四項 死傷手當

金貳圓

第五項 賠償及訴訟費

金千四百六拾圓

第六項 旅費

金貳萬五千五拾圓

第七項 雜給及雜費

金五萬五千七百七拾五圓

第八項 萬國關稅表刊行同盟費

金五百七拾八圓

第九項 關稅訴訟願審查委員會費

金貳千參百四拾四圓

第二款 國債

第一項 公債元利及手數料

金參千七百八拾五萬九千九百拾九圓

第二項 預金利息

金參千五百五拾六萬九千五百六拾貳圓

金貳百貳拾八萬貳千參百五拾七圓

第三款 恩賞諸祿

第一項 賞勳年金

金四百八拾八萬七千參百貳拾七圓

第二項 文官恩給

金百貳萬四千貳百六拾九圓

第三項 軍人恩給

金百四拾七萬六千四百五拾六圓

第四項 學校職員恩給

金貳百拾六萬四千八百四拾參圓

第五項 沖繩縣諸祿

金五萬七千六百參拾五圓

第六項 外國人恩給

金拾四萬參千貳拾四圓

第七項 特別年金

金貳萬七圓

第四款 內閣

第一項 俸給及諸給

金貳拾貳萬九千九百六圓九拾九錢八厘

第二項 廳費

金拾萬五千八百九拾五圓

第三項 修繕費

金貳萬四千九百七拾貳圓九拾九錢八厘

第四項 死傷手當

金貳千五百九拾八圓

第五項 旅費

金拾七圓

第六項 雜給及雜費

金千參百九拾圓

第七項 褒賞費

金貳萬六千七百六拾八圓

第八項 機密費

金壹萬八千貳百六拾六圓

第五款 樞密院

第一項 俸給及諸給

金拾參萬貳千七百七拾六圓

第二項 廳費

金拾貳萬參千六百四拾四圓

第三項 修繕費

金參千貳百八拾圓

金千百拾七圓



第四項 旅費	金五百九拾參圓
第五項 雜給及雜費	金四千四百四拾貳圓
第六款 貴族院	金五拾八萬四千七百貳拾七圓拾八錢八厘
第一項 議員諸費	金五拾壹萬參千貳百五圓
第二項 俸給及諸給	金貳萬七千八百九拾貳圓
第三項 廳費	金貳萬八拾五圓拾八錢八厘
第四項 修繕費	金參千圓
第五項 旅費	金百五拾圓
第六項 雜給及雜費	金貳萬參百九拾五圓
第七款 衆議院	金六拾八萬五千貳百九拾貳圓六拾六錢
第一項 議員諸費	金六拾壹萬四千四百九拾八圓
第二項 俸給及諸給	金貳萬八千百參拾參圓六拾六錢
第三項 廳費	金貳萬七千九拾四圓
第四項 修繕費	金參千圓
第五項 旅費	金六拾圓
第六項 雜給及雜費	金貳萬千八百七圓
第八款 會計検査院	金拾八萬參千四百參拾壹圓
第一項 俸給及諸給	金拾四萬參千八百拾參圓
第二項 廳費	金七千九百八拾六圓
第三項 修繕費	金貳千五百七拾五圓
第四項 旅費	金壹萬四千八百八拾參圓

第五項 雜給及雜費	金壹萬四千七百七拾四圓
第九款 行政裁判所	金四萬四千九拾六圓
第一項 俸給及諸給	金參萬八千六百四拾圓
第二項 廳費	金四千四百九拾六圓
第三項 修繕費	金四百四拾五圓
第四項 旅費	金四百貳拾四圓
第五項 雜給及雜費	金參千九拾壹圓
第十款 税關	金五拾九萬九千七百九拾九圓九拾四錢五厘
第一項 俸給及諸給	金參拾萬參千八百七拾壹圓
第二項 廳費	金八萬千貳百拾八圓九拾四錢五厘
第三項 修繕費	金貳萬四千貳百貳拾貳圓
第四項 死傷手當	金八圓
第五項 賠償及訴訟費	金參百參拾貳圓
第六項 旅費	金參萬五千五百七拾圓
第七項 雜給及雜費	金拾五萬千百壹圓
第八項 從價稅品買上代	金貳百拾圓
第九項 收容貨物及無請求品費	金五百圓
第十項 犯則者處分費	金百圓
第十一項 機密費	金貳千六百六拾七圓
第十一款 內國稅徵收費	金參百貳拾九萬八千四拾六圓
第一項 俸給及諸給	金百四拾參萬九千七拾七圓



第二項	應費	金貳拾五萬五千九拾圓
第三項	修繕費	金五千七圓
第四項	賠償及訴訟費	金貳百四拾五圓
第五項	旅費	金五拾參萬四千八百六拾八圓
第六項	雜給及雜費	金四拾七萬七千八百參拾九圓
第七項	所得稅調查費	金拾貳萬七千八百貳圓
第八項	市町村交付金	金參拾四萬六千八百五拾六圓
第九項	滯納及犯則者處分費	金貳萬四千八百八拾五圓
第十項	印紙鑑札類諸費	金八萬四千六拾九圓
第十一項	沖繩縣稅品取扱費	金貳千貳百八圓
第十二款	文官試驗費	金參千六百貳拾圓八拾五錢
第一項	應費	金五百六拾五圓
第二項	修繕費	金五拾圓
第三款	雜給及雜費	金參千五圓八拾五錢
第一項	應費	金千圓
第二項	雜給及雜費	金四百七拾貳圓
第十四款	國資運用費	金五百貳拾八圓
第一項	國庫金取扱及金融事項調查費	金八拾貳萬五千八百五拾五圓
第二項	仕拂命令引出切符用紙及證券類製造費	金七拾九萬貳百四拾六圓
第三項	國債雜費	金參萬參千參百七拾圓
		金貳千貳百參拾九圓

第十五款	諸拂戻及缺損補填金	金參拾貳萬九千貳拾六圓
第一項	諸拂戻金	金參拾壹萬四千九百貳拾圓
第二項	缺損補填金	金壹萬四千六百六圓
第十六款	製造煙草輸出交付金	金七萬貳千參百六拾五圓
第一項	製造煙草輸出交付金	金七萬貳千參百六拾五圓
第十七款	國庫豫備金	金參百萬圓
第一項	第一豫備	金百萬圓
第二項	第二豫備	金貳百萬圓
陸軍省所管	大藏省所管合計金五千貳百九拾九萬七千六百七拾六圓六拾四錢壹厘	
第一款	陸軍本省	金貳拾四萬貳千五百七拾貳圓五錢四厘
第一項	俸給及諸給	金拾六萬參百參拾參圓
第二項	應費	金貳萬九千參百九拾參圓參拾八錢六厘
第三項	修繕費	金千四百拾六圓五拾九錢六厘
第四項	旅費	金壹萬四千九圓五拾參錢四厘
第五項	雜給及雜費	金壹萬七千九百參拾四圓拾壹錢
第六項	諸手当	金五千五百參拾八圓
第七項	被服費	金百貳拾圓
第八項	馬匹費	金壹萬七千四百貳拾七圓四拾貳錢八厘
第二款	軍事費	金參千六百參拾七萬貳千四百拾九圓參拾參錢七厘
第一項	俸給及諸給	金千貳拾四萬貳千五百五拾九圓八拾壹錢九厘



- 第二項 廳費
- 第三項 修繕費
- 第四項 死傷手當
- 第五項 賠償及訴訟費
- 第六項 旅費
- 第七項 雜給及雜費
- 第八項 諸手當
- 第九項 外國駐在員費
- 第十項 糧食費
- 第十一項 被服費
- 第十二項 兵器彈藥費
- 第十三項 馬匹費
- 第十四項 演習費
- 第十五項 患者費
- 第十六項 軍隊需品費
- 第十七項 罷役恤金
- 第十八項 囚徒費
- 第十九項 兵要地圖費
- 第二十項 供奉費
- 第二十一項 輸送費
- 第二十二項 機密費

金七拾參萬九千六百六拾六圓六拾七錢參厘  
 金七拾八萬參百六拾九圓四錢五厘  
 金六千九百貳拾貳圓參拾五錢  
 金貳千七百九圓七拾錢  
 金百拾九萬九千九百圓參錢九厘  
 金百拾八萬九千參百五拾圓參拾壹錢  
 金六拾壹萬參千五百九拾貳圓八拾五錢  
 金拾萬九千九百參拾八圓  
 金七百五拾六萬貳千五百拾六圓拾錢  
 金四百拾壹萬八千八百貳拾貳圓九拾參錢五厘  
 金參百四拾九萬七百貳拾貳圓六拾七錢七厘  
 金參百拾八萬九千貳百七圓參拾六錢四厘  
 金百拾六萬貳千五百貳拾貳圓九拾四錢  
 金參拾九萬五千參百六拾壹圓拾五錢九厘  
 金八拾九萬五千五百七拾壹圓九拾錢九厘  
 金七拾圓  
 金四萬四千六百貳拾貳圓七拾九錢七厘  
 金六千五百四拾五圓九拾錢四厘  
 金千貳百拾五圓  
 金五拾壹萬五千貳百參拾壹圓七拾六錢六厘  
 金拾貳萬千八百圓

第三款 憲兵費

- 第一項 俸給及諸給
- 第二項 廳費
- 第三項 修繕費
- 第四項 死傷手當
- 第五項 賠償及訴訟費
- 第六項 旅費
- 第七項 雜給及雜費
- 第八項 諸手當
- 第九項 糧食費
- 第十項 被服費
- 第十一項 兵器彈藥費
- 第十二項 馬匹費
- 第十三項 囚徒費
- 第十四項 機密費

金百拾貳萬千九百九拾壹圓拾九錢貳厘  
 金五拾萬五千四百四拾貳圓參拾五錢壹厘  
 金五萬七千貳百七拾圓八拾九錢貳厘  
 金八千九百五拾參圓貳拾八錢  
 金八百參拾貳圓  
 金百七拾九圓九錢  
 金拾壹萬八百九圓貳拾錢五厘  
 金拾貳萬九千六百五拾七圓七拾五錢八厘  
 金貳萬九千九百八拾圓五拾錢  
 金拾貳萬四千五百五拾圓四拾五錢  
 金四萬六千六百貳拾參圓八拾五錢參厘  
 金壹萬九千八百九拾圓五拾五錢  
 金五萬七千六百八拾壹圓五拾參錢參厘  
 金七千四百八拾五圓七拾參錢  
 金貳萬六千四百參拾四圓  
 金貳拾五萬七千七百五拾五圓八拾六錢八厘  
 金七萬千貳百參拾五圓貳拾錢  
 金千九百九拾壹圓八拾五錢  
 金千圓  
 金九千貳百四拾五圓貳拾七錢九厘  
 金七千五百四拾六圓七拾參錢



第六項	諸手當	金壹萬拾五圓四拾六錢
第七項	糧食費	金拾萬五千七百七拾參圓貳拾六錢
第八項	被服費	金八千八百八拾圓八錢七厘
第九項	兵器彈藥費	金壹萬六千六百拾壹圓七拾九錢五厘
第十項	馬匹費	金參千四百九拾八圓四拾錢九厘
第十一項	演習費	金壹萬貳千八百四拾七圓八拾錢
第十二項	患者費	金四千六百五圓六厘
第十三項	軍隊需用品費	金六千四百四圓九拾九錢貳厘
第五款	靖國神社寄付金	金七千五百五拾圓
第一項	陸軍省所管合計金參千八百萬四千四百八拾八圓四拾五錢壹厘	
	海軍省所管	金七千五百五拾圓
第一款	海軍本省	
第一項	俸給及諸給	金拾八萬四千四百六拾八圓七錢
第二項	廳費	金拾參萬八千六拾五圓五拾錢
第三項	修繕費	金壹萬六千貳百七拾六圓五拾錢
第四項	死傷手當	金參千五百五圓
第五項	賠償及訴訟費	金拾圓
第六項	旅費	金貳拾圓
第七項	雜給及雜費	金八千七百七拾圓六拾九錢
第二款	軍事費	金壹萬八千四百貳拾圓參拾八錢
		金九百九拾七圓六千五百四拾貳圓參拾七錢貳厘

第一項	俸給及諸給	金五百貳拾參萬五千八拾七圓
第二項	廳費	金參拾萬五千五百五拾九圓貳錢
第三項	修繕費	金拾壹萬參千貳百八拾五圓參拾參錢
第四項	死傷手當	金貳千七百貳拾四圓
第五項	賠償及訴訟費	金拾圓
第六項	旅費	金四拾萬六千五百八圓八拾參錢
第七項	雜給及雜費	金貳拾五萬八千八百貳拾參圓貳拾五錢壹厘
第八項	諸手當	金貳拾四萬五千七百八拾貳圓參拾壹錢
第九項	外國駐在員費	金拾萬六千九百九拾五圓參拾六錢
第十項	糧食費	金貳百拾萬九千五百五拾參圓八拾錢七厘
第十一項	被服費	金百八萬貳千參百拾七圓四拾錢八厘
第十二項	造兵及修理費	金參百四拾六萬參千五百參拾六圓拾貳錢
第十三項	造船及修理費	金貳百七拾貳萬九千九百七拾九圓五拾參錢七厘
第十四項	演習費	金拾六萬五千四百八拾參圓
第十五項	患者費	金九萬六千七百四拾壹圓七拾四錢四厘
第十六項	軍港要港費	金拾七萬參千五百四拾七圓
第十七項	艦營費	金參百拾壹萬六百七拾參圓五拾貳錢六厘
第十八項	扶助金	金拾六萬千七百八圓九拾錢
第十九項	囚徒費	金四千參百九拾四圓八拾參錢貳厘
第二十項	水路費	金拾萬參百拾貳圓拾五錢七厘
第二十二項	備外國人諸給	金貳萬五百拾四圓貳拾四錢



第二十二項	機密費	金參萬八千圓
第二十三項	機動費	金五萬圓
海軍省所管合計金貳千拾六萬千拾圓四拾四錢貳厘		
司法省所管		
第一款	司法本省	金拾參萬八千四百九拾壹圓九拾錢貳厘
第二項	俸給及諸給	金八萬八千八百貳拾八圓
第三項	廳費	金貳萬貳千七百拾壹圓參拾貳錢四厘
第四項	修繕費	金四千四百參拾圓
第五項	死傷手當	金七圓
第六項	賠償及訴訟費	金五拾五圓
第七項	旅費	金六千九百六拾六圓九拾四錢
第八項	雜給及雜費	金壹萬五千八百參拾壹圓貳拾八錢貳厘
第九項	備外國人諸給	金四千貳百四拾圓
第二款	裁判所	金五千四百貳拾貳圓參拾五錢六厘
第一項	俸給及諸給	金四百九拾貳萬八千四百參拾貳圓九拾錢參厘
第二項	廳費	金貳百七拾九萬參千八百五拾六圓拾八錢四厘
第三項	修繕費	金五拾參萬貳千九百貳拾參圓八拾四錢參厘
第四項	死傷手當	金六萬七千貳百六圓四錢參厘
第五項	賠償及訴訟費	金貳拾七圓
第六項	旅費	金八百四拾七圓
		金拾六萬六千貳百拾壹圓貳拾錢八厘

第七項	雜給及雜費	金八拾貳萬七千七百七拾六圓六拾貳錢五厘
第八項	裁判費	金貳拾萬八千九百六拾四圓
第九項	登記用紙及公告費	金參拾貳萬六千八百八拾壹圓
第十項	機密費	金四千四百四拾圓
第三款 集治監		
第一項	俸給及諸給	金八拾八萬五千貳拾八圓八拾八錢四厘
第二項	廳費	金四萬貳千七百七圓
第三項	修繕費	金壹萬九千六百六拾九圓六拾貳錢八厘
第四項	死傷手當	金壹萬四千六百八拾六圓五拾參錢壹厘
第五項	賠償及訴訟費	金四拾四圓
第六項	旅費	金四萬五千貳百七圓八拾九錢
第七項	雜給及雜費	金貳拾九萬六千貳百七拾圓四拾七錢五厘
第八項	囚徒費	金四拾八萬六千五百參拾九圓參拾六錢
第四款 地方監獄		
第一項	俸給及諸給	金貳拾五萬九百八拾五圓
第二項	廳費	金拾七萬六千六百七拾九圓八拾貳錢五厘
第三項	修繕費	金七萬四千八百拾參圓貳拾貳錢五厘
第四項	死傷手當	金參百六拾壹圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳圓
第六項	旅費	金七萬五千貳百拾九圓八拾八錢七厘
第七項	雜給及雜費	金百九拾九萬五千八百七拾四圓九錢貳厘



第八項 在監入費	金貳百貳拾九萬五千八百八拾六圓參拾貳錢六厘
司法部所管合計金千八拾貳萬千參百七拾五圓四錢四厘	
文部省所管	
第一款 文部本省	
第一項 俸給及諸給	金四拾四萬貳千參百拾九圓四拾七錢壹厘
第二項 廳費	金八萬四千七百七拾圓
第三項 修繕費	金壹萬貳千八百五拾壹圓拾五錢六厘
第四項 死傷手當	金參千五百五拾圓
第五項 賠償及訴訟費	金參圓
第六項 旅費	金七圓
第七項 雜給及雜費	金壹萬四千貳百五拾七圓貳拾四錢四厘
第八項 高等教育會議費	金貳萬六百七拾四圓七錢
第九項 學校衛生取調費	金四千八百六拾五圓七拾錢四厘
第十項 編書費	金參千貳百八拾六圓
第十一項 教員檢定費	金壹萬四千八百貳拾圓
第十二項 萬國出版目錄編纂加盟諸費	金六千參百拾五圓
第十三項 帝國學士院費	金五千五百參拾八圓參拾八錢
第十四項 學生費	金貳千五百拾圓五拾五錢七厘
第十五項 萬國測地學協會費	金貳拾六萬六千八百參圓參拾六錢
第一款 震災豫防調查會	金貳千八百六拾八圓
第一項 修繕費	金貳萬八千八百九拾五圓九拾八錢
	金千六百六拾七圓

第二項 死傷手當	金壹圓
第三項 賠償及訴訟費	金貳圓
第四項 調查費	金貳萬七千七百貳拾五圓九拾八錢
第三款 測地學委員會	
第一項 死傷手當	金壹圓
第二項 賠償及訴訟費	金壹萬六千九百九拾貳圓貳拾六錢
第三款 中央氣象臺	
第一項 俸給及諸給	金參萬八千八百七圓參拾壹錢七厘
第二項 廳費	金壹萬四千六百貳拾九圓參拾參錢參厘
第三項 修繕費	金千五百參拾錢
第四項 死傷手當	金壹圓
第五項 賠償及訴訟費	金貳圓
第六項 旅費	金千八百九拾圓九拾五錢
第七項 雜給及雜費	金六千八百貳拾圓八拾錢
第八項 委託電報料	金貳千八百九拾六圓八拾錢
第五款 緯度觀測所	
第一項 俸給及諸給	金五千七百五拾七圓貳拾四錢
第二項 廳費	金參千六百八拾圓
第三項 修繕費	金九百參拾八圓七拾錢
第四項 死傷手當	金貳百圓
	金壹圓



第五項 賠償及訴訟費	金貳圓
第六項 旅費	金百五拾五圓四錢
第七項 雜給及雜費	金七百八拾圓五拾錢
第六款 諸學校及圖書館支出金	金貳百貳拾壹萬八千六百六拾九圓零錢八厘
第一項 東京帝國大學	金七拾五萬六千九百九拾參圓七拾參錢四厘
第二項 京都帝國大學	金參拾八萬五千九百參拾七圓九拾八錢
第三項 高等師範學校	金拾六萬五千八百四拾七圓五拾四錢
第四項 女子高等師範學校	金七萬七千六百貳拾參圓九拾八錢四厘
第五項 札幌農學校	金參萬八千八百五拾壹圓七拾錢七厘
第六項 高等商業學校	金五萬七千貳百拾八圓貳拾五錢
第七項 第一高等學校	金六萬四千百拾五圓參拾五錢
第八項 第二高等學校	金四萬七千參百八拾壹圓五錢五厘
第九項 第三高等學校	金四萬五千六百拾圓九拾貳錢
第十項 第四高等學校	金四萬參千九百五拾七圓參拾九錢五厘
第十一項 第五高等學校	金六萬九千八百四拾四圓七拾五錢
第十二項 第六高等學校	金參萬千參百參拾參圓四拾錢
第十三項 山口高等學校	金壹萬千六百拾九圓
第十四項 第一高等醫學校	金貳萬六千六百參拾五圓九拾壹錢貳厘
第十五項 第二高等醫學校	金貳萬五千九百九拾八圓參拾六錢四厘
第十六項 第三高等醫學校	金貳萬八千七拾六圓八拾參錢壹厘
第十七項 第四高等醫學校	金貳萬六千貳百四圓七拾參錢六厘

第十八項 第五高等醫學校	金貳萬八千八百五拾六圓六拾九錢五厘
第十九項 東京工業學校	金七萬四千七百五拾八圓九錢壹厘
第二十項 東京外國語學校	金四萬五千貳百七拾五圓貳拾錢
第二十一項 東京美術學校	金四萬參千參百參拾九圓五拾壹錢六厘
第二十二項 東京音樂學校	金參萬七百八拾六圓四拾五錢貳厘
第二十三項 大阪工業學校	金六萬五百貳拾五圓四拾六錢九厘
第二十四項 東京盲啞學校	金壹萬四千四圓四拾六錢
第二十五項 帝國圖書館	金貳萬八千貳拾貳圓貳拾貳錢七厘
第七款 地方視學費	金拾七萬六千八百八拾六圓九拾貳錢
第一項 俸給及諸給	金拾萬九千八百八拾圓
第二項 廳費	金六千六百貳拾圓
第三項 死傷手當	金壹圓
第四項 賠償及訴訟費	金貳圓
第五項 旅費	金四萬九千四百拾貳圓六拾錢
第六項 雜給及雜費	金壹萬四千四百七拾壹圓參拾貳錢
第八款 府縣立師範學校長俸給	金五萬四千貳百五拾圓
第一項 府縣立師範學校長俸給	金五萬四千貳百五拾圓
第九款 普通教育費	金百五拾萬圓
第一項 教育資金配當金	金五拾萬圓
第二項 小學校教育費補助	金百萬圓
第十款 實業教育獎勵費	金貳拾五萬圓



第一項 實業教育費補助 金貳拾壹萬八千七百五拾圓

第二項 實業教員養成費 金參萬千貳百五拾圓

農務省所管合計金四百七拾貳萬五千五百七拾八圓貳拾錢六厘

農商務省所管

第一款 農商務本省

第一項 俸給及諸給 金參拾八萬貳千六百六拾圓參拾九錢貳厘

第二項 廳費 金拾九萬貳百九拾四圓

第三項 修繕費 金參萬貳千八百九拾八圓貳拾七錢九厘

第四項 死傷手當 金四千九百五拾壹圓貳拾錢

第五項 賠償及訴訟費 金七圓

第六項 旅費 金九百六拾七圓

第七項 雜給及雜費 金貳萬五千八百七拾七圓拾貳錢

第八項 萬國度量衡會費 金貳萬五千參百貳拾五圓九拾七錢

第九項 度量衡原器費 金貳千八百圓

第十項 地質調查及製圖費 金貳萬貳拾四圓四拾壹錢

第十一項 調查及試驗費 金壹萬九千九百七拾圓

第十二項 商品陳列館列品諸費 金貳萬七千八百參圓

第十三項 農商工高等會議費 金貳萬千七百五拾四圓八拾五錢

第十四項 農商工業所有權保護同盟費分給金 金千八百拾四圓六錢參厘

第十五項 保安林禁伐補償費 金四千五百參拾圓

第十六項 標本陳列館諸費 金千參百七拾五圓五拾錢

第二款 林區署

第一項 俸給及諸給 金百萬五千九百五拾四圓貳拾五錢四厘

第二項 廳費 金四拾壹萬四千四百七拾六圓

第三項 修繕費 金九萬四千六百拾圓拾參錢

第四項 死傷手當 金壹萬拾圓

第五項 賠償及訴訟費 金六拾圓

第六項 旅費 金七千貳百參拾圓

第七項 雜給及雜費 金拾五萬參千九百拾九圓八拾六錢

第八項 造林及林產物處理費 金貳萬七千六百九拾圓拾八錢

第三款 鑛山監督署

第一項 俸給及諸給 金參拾萬九百五拾八圓八錢四厘

第二項 廳費 金拾七萬四千四百貳拾參圓五拾五錢

第三項 修繕費 金九萬貳千參百參拾四圓

第四項 死傷手當 金貳萬四千四百四拾四圓九拾錢

第五項 賠償及訴訟費 金九百九拾圓

第六項 旅費 金拾圓

第七項 雜給及雜費 金六圓

第四款 農事試驗場

第一項 俸給及諸給 金四萬四千八百八拾五圓七拾五錢

第二項 廳費 金拾參萬貳千六拾七圓七拾九錢

第三項 修繕費 金四萬七千五百參拾貳圓

金貳千百拾八圓四拾貳錢

金千貳拾參圓



第四項	死傷手當	金拾圓
第五項	賠償及訴訟費	金五圓
第六項	旅費	金八千七百貳拾貳圓六拾錢
第七項	雜給及雜費	金四千百拾九圓四拾錢
第八項	事業費	金五萬六千五百參拾七圓參拾七錢
第九項	備外國人諸給	金壹萬貳千圓
第五款	水產講習所	金五萬五千四百九拾四圓九拾八錢
第一項	俸給及諸給	金壹萬五千六百貳拾圓
第二項	廳費	金貳千四百貳拾貳圓參拾錢
第三項	修繕費	金千圓
第四項	死傷手當	金貳圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳圓
第六項	旅費	金五千八拾五圓九拾四錢
第七項	雜給及雜費	金參千參百貳拾八圓貳拾錢
第八項	事業費	金貳萬八千參拾四圓五拾四錢
第六款	蠶業講習所	金四萬五千八百九拾六圓貳拾錢
第一項	俸給及諸給	金壹萬貳千九百九拾六圓
第二項	廳費	金千九百參拾四圓
第三項	修繕費	金參圓
第四項	死傷手當	金參圓
第五項	賠償及訴訟費	金參圓

第六項	旅費	金千七百參拾九圓
第七項	雜給及雜費	金千八百七拾壹圓七拾五錢
第八項	事業費	金貳萬四千八百拾八圓四拾五錢
第七款	生絲検査所	金六萬八百六拾壹圓貳拾錢
第一項	俸給及諸給	金壹萬六千貳拾七圓五拾錢
第二項	廳費	金貳千貳百圓
第三項	修繕費	金六百六拾圓
第四項	死傷手當	金五圓
第五項	賠償及訴訟費	金五圓
第六項	旅費	金千四百圓四拾五錢
第七項	雜給及雜費	金壹萬五百八拾圓貳拾五錢
第八項	事業費	金貳萬九千九百八拾參圓
第八款	馬匹改良費	金貳拾四萬五千五百拾壹圓六拾四錢
第一項	俸給及諸給	金貳萬四千六百圓
第二項	廳費	金參千參百貳拾貳圓拾壹錢
第三項	修繕費	金千八百參拾圓
第四項	死傷手當	金參拾圓
第五項	賠償及訴訟費	金六拾圓
第六項	旅費	金壹萬七千四百六拾五圓參拾參錢
第七項	雜給及雜費	金七千四百八拾六圓七拾錢
第八項	事業費	金拾八萬六千七百七拾七圓五拾錢



- 第九款 種牛改良費
  - 第一項 俸給及諸給 金六萬千四百七拾九圓五錢
  - 第二項 廂費 金參千八百圓
  - 第三項 修繕費 金八百圓
  - 第四項 死傷手當 金參圓
  - 第五項 賠償及訴訟費 金參圓
  - 第六項 旅費 金四千百拾圓貳拾五錢
  - 第七項 雜給及雜費 金貳千七百貳拾貳圓五拾錢
  - 第八項 事業費 金五萬五百參拾貳圓參拾錢
- 第十款 工業試驗所
  - 第一項 俸給及諸給 金壹萬貳千參百六圓
  - 第二項 廂費 金千參百五拾圓
  - 第三項 死傷手當 金五圓
  - 第四項 旅費 金五百六拾貳圓
  - 第五項 雜給及雜費 金參千拾八圓
  - 第六項 事業費 金壹萬百六拾圓
- 第十一款 檢查事業費
  - 第一項 種牡馬檢查費 金拾八萬五千貳百五拾七圓六拾參錢
  - 第二項 蠶種檢查費補助 金壹萬千參百八拾參圓貳拾貳錢
  - 第三項 北海道應蠶種檢查費 金拾壹萬貳千圓
  - 第四項 輸入獸類檢疫費 金壹萬千貳百七拾六圓貳拾參錢

- 第五項 肥料檢查費 金參萬八千八百九拾四圓五拾錢
- 第十二款 補助費
  - 第一項 農會補助 金八萬圓
  - 第二項 府縣農事試驗場講習所及水產試驗場講習所補助 金八萬圓
  - 農商務省所管合計金貳百五拾參萬參千七圓六拾八錢六厘
- 第一款 遞信未省
  - 第一項 俸給及諸給 金貳拾四萬六千九百參拾七圓貳拾五錢六厘
  - 第二項 廂費 金拾參萬參千貳百八拾壹圓七拾七錢五厘
  - 第三項 修繕費 金貳萬九千百拾六圓六拾參錢壹厘
  - 第四項 死傷手當 金貳千七百八拾八圓拾八錢貳厘
  - 第五項 賠償及訴訟費 金五拾貳圓
  - 第六項 旅費 金五拾壹圓六拾九錢五厘
  - 第七項 雜給及雜費 金參萬五千四百五拾圓貳拾錢六厘
  - 第八項 萬國鐵道同盟會補助費 金四萬五千九百九拾八圓七拾六錢七厘
- 第二款 遞信費
  - 第一項 俸給及諸給 金千八百九拾五萬四千九百參圓八拾四錢四厘
  - 第二項 修繕費 金貳百拾五萬九千七百七拾六圓參拾七錢四厘
  - 第三項 死傷手當 金五萬五千百拾四圓八拾貳錢八厘
  - 第四項 賠償及訴訟費 金貳千六百六拾九圓六拾四錢壹厘
  - 第五項 旅費 金四千百四拾貳圓貳錢參厘



第六項	備外國人諸給	金六千六百圓
第七項	萬國郵便電信聯約費	金五萬五千七百參拾七圓拾錢七厘
第八項	遞信事業費	金千四百六拾貳萬參千參百九拾八圓貳拾五錢四厘
第九項	諸拂戻金	金百六拾八萬參千五百四拾壹圓參拾四錢七厘
第三款 航路標識費		
第一項	俸給及諸給	金貳拾八萬百拾貳圓五拾八錢壹厘
第二項	修繕費	金拾壹萬四千八拾五圓
第三項	死傷手當	金七百八圓七拾五錢
第四項	賠償及訴訟費	金八百五拾貳圓五拾七錢八厘
第五項	旅費	金五百五拾貳圓八拾八錢
第六項	航路標識事業費	金九千五百七拾圓八拾八錢
第四款 船舶海員費		
第一項	俸給及諸給	金拾五萬四千八百九拾圓參拾七錢參厘
第二項	廳費	金拾七萬貳千九百八拾九圓八拾八錢
第三項	修繕費	金拾萬五千六百八拾參圓拾壹錢壹厘
第四項	死傷手當	金貳萬七千四百四拾參圓拾錢八厘
第五項	賠償及訴訟費	金六百貳拾九圓貳拾錢
第六項	旅費	金拾圓
第七項	雜給及雜費	金壹萬貳千貳百拾九圓六拾六錢
第八項	審判費	金貳萬參千五百貳圓九拾貳錢七厘
第九項	雜費船費	金千六百九拾參圓八拾六錢
		金千八百五圓壹錢四厘

第五款 港務費		
第一項	俸給及諸給	金拾貳萬四千八百八拾圓六拾參錢
第二項	廳費	金參萬五千六百八拾圓
第三項	修繕費	金六千九百七圓拾參錢四厘
第四項	死傷手當	金千八百圓
第五項	賠償及訴訟費	金拾五圓
第六項	旅費	金拾五圓
第七項	雜給及雜費	金貳千四百七拾四圓四拾貳錢
第八項	港灣費	金四萬貳千六百貳拾壹圓拾四錢七厘
第九項	備外國人諸給	金貳萬五千六百六拾七圓九拾貳錢九厘
第十項	金九千圓	
第六款 商船學校		
第一項	俸給及諸給	金拾參萬參千九百六拾九圓貳拾四錢六厘
第二項	廳費	金參萬八千八百四圓參拾參錢參厘
第三項	修繕費	金貳萬參千八百四拾壹圓六拾九錢七厘
第四項	死傷手當	金五百參拾壹圓貳拾八錢
第五項	賠償及訴訟費	金六圓
第六項	旅費	金參圓
第七項	雜給及雜費	金千五百貳拾七圓五拾六錢
第八項	學生費	金壹萬四千九百貳拾參圓九拾貳錢八厘
第九項	外國留學生費	金參萬四千四百貳拾六圓壹錢五厘
第十項	海上練習費	金壹萬九百五圓四拾參錢參厘
		金壹萬貳千圓



第七款 東京郵便電信學校

第一項 俸給及諸給

金七萬五千四百七圓九錢八厘

第二項 廳費

金壹萬八千貳拾九圓六拾六錢七厘

第三項 修繕費

金壹萬五千四百壹圓七拾貳錢四厘

第四項 死傷手當

金五圓

第五項 賠償及訴訟費

金參圓

第六項 旅費

金八百拾壹圓參拾八錢

第七項 雜給及雜費

金壹萬貳千五百貳拾圓五拾壹錢六厘

第八項 學生費

金貳萬參千七百參拾參圓貳拾八錢參厘

遞信省所管合計金九百九拾八萬四千六百四拾圓五拾參錢五厘

歲出經常部合計金壹億六千參百六拾六萬六千七百七拾七圓參拾八錢六厘

歲出臨時部

外務省所管

第一款 營繕費

第一項 在芝罘領事館修築費

第二項 在韓國公使館改築設計費

第三項 修繕費

第一款 在外公館移轉費

第二款 在外公館創立費

第三款 在外公館創立費

金壹萬八千四百八拾壹圓

金八千圓

金參千圓

金七千四百八拾壹圓

金六千九百貳拾八圓參拾錢

金六千九百貳拾八圓參拾錢

金貳萬千圓

金貳萬千圓

金貳萬千圓

外務省所管合計金四萬六千四百九圓參拾錢

內務省所管

第一款 補助費

第一項 砂防工事費補助

第二項 東京府小笠原島航海費補助

第三項 鹿兒島縣天島郡各離島航海費補助

第四項 東京市水道費補助

第五項 大阪市水道費補助

第六項 神戸市水道費補助

第七項 熊本縣道路修築費補助

第八項 長崎港修築費補助

第九項 東京府小笠原島各離島航海費補助

第十項 島根縣隱岐國航海費補助

第十一項 宮崎宮崎縣其他改築及保存費補助

第十二項 香椎宮社內建物復舊改築及保存費補助

第十三項 沖繩縣先島航海費補助

第十四項 沖繩縣各離島航海費補助

第十五項 大分縣道路修築費補助

第十六項 長崎市水道費補助

第十七項 赤間關市水道費補助

第十八項 岡山市水道費補助

金百六拾萬七千九拾四圓六錢

金貳拾萬圓

金壹萬七千貳百圓

金壹萬八千圓

金拾五萬圓

金五萬圓

金拾萬圓

金壹萬貳千圓

金貳拾萬圓

金九百圓

金六千圓

金壹萬五千圓

金八千圓

金壹萬圓

金六千圓

金九千七百七圓

金八萬參千五百圓

金四萬圓

金參萬九千四百圓



第十九項	福岡縣若松港浚渫費補助	金九萬圓
第二十項	京都府道路修築費補助	金八萬圓
第二十一項	大阪築港費補助	金四拾六萬八千圓
第二十二項	北海道拓殖社附屬墳墓改修費補助	金參千參百八拾七圓六錢
第二款 土木事業費		
第一項	俸給及諸給	金參百五拾參萬七千五百六拾六圓六拾六錢
第二項	廳費	金拾萬六千八百六圓
第三項	死傷手當	金貳萬貳千貳百七拾參圓八拾壹錢七厘
第四項	旅費	金百七拾八圓
第五項	雜給及雜費	金六萬五千八百六拾參圓五拾壹錢
第六項	營繕費	金五萬貳千九百參拾八圓五拾壹錢七厘
第七項	調查費	金五千參百六拾壹圓七拾四錢八厘
第八項	利根川修築費	金四萬千參百貳拾貳圓貳拾貳錢貳厘
第九項	最上川修築費	金六拾七萬貳千參百五拾四圓四拾九錢七厘
第十項	信濃川修築費	金六萬圓
第十一項	木曾川修築費	金壹萬圓
第十二項	大井川修築費	金貳拾八萬參千圓
第十三項	阿武隈川修築費	金拾貳萬四千四百貳拾四圓
第十四項	澱川改修費	金四萬五千九百五圓參拾四錢九厘
第十五項	筑後川改修費	金參拾九萬千參百圓
第十六項	庄川改修費	金拾七萬千圓
		金六拾八萬七千圓

第十七項	九頭龍川改修費	金六拾九萬五千圓
第十八項	阿賀野川修築費	金四百圓
第十九項	吉野川修築費	金四百參拾九圓
第二十項	澱川流域砂防費	金參萬圓
第二十一項	北上川修築工修繕費	金七萬五千圓
第三款 營繕費		
第一項	橋樑港灣汽船運備附屬具購買費	金拾六萬六千貳百八拾參圓七拾錢六厘
第二項	新營費	金四萬六千九百七拾壹圓參拾九錢
第三項	修繕費	金七萬九千八百拾五圓貳拾九錢五厘
第四項	造神宮使廳	金參萬九千四百九拾七圓貳錢壹厘
第一項	俸給及諸給	金壹萬七千參百四圓五拾貳錢六厘
第二項	廳費	金九千九百圓
第三項	修繕費	金千貳百八圓九拾八錢六厘
第四項	死傷手當	金五拾圓
第五項	賠償及訴訟費	金壹圓
第六項	旅費	金貳圓
第七項	雜給及雜費	金貳千九百拾壹圓八拾四錢
第五款 北海道鐵道敷設費		
第一項	北海道第一期鐵道	金參千貳百參拾圓七拾錢
第二項	鐵道線路測定費	金九拾九萬八千七百貳拾貳圓七拾貳錢六厘
第六款 警察監獄學校		
		金九萬七千參拾圓六拾九錢



第一項	俸給及諸給	金壹萬參千四百圓
第二項	廳費	金參千四百參拾五圓八拾錢
第三項	修繕費	金五百圓
第四項	死傷手當	金壹圓
第五項	賠償及訴訟費	金貳圓
第六項	旅費	金壹萬千八百九拾六圓拾四錢
第七項	雜給及雜費	金四萬千九拾壹圓七拾五錢
第八項	備外國人諸給	金貳萬七千圓
第七款	小笠原島森林經營費	金五千貳百八拾八圓
第一款	臺灣經費補充金	金五千貳百八拾八圓
第一款	臺灣經費補充金	金六百四拾八萬六千六百八拾九圓五拾錢
第二款	公債募集金補充	金貳百參拾八萬六千六百八拾九圓五拾錢
第九款	日本藥局方調查會費	金四百拾萬圓
第一款	日本藥局方調查會費	金六千九百九拾壹圓
第十款	北海道官設鐵道用品資金	金六千九百九拾壹圓
第一款	北海道官設鐵道用品資金	金五萬圓
內務省所管合計	金千貳百九拾七萬參千四百四拾八圓拾四錢貳厘	
第一款	補助費	金百四拾七萬貳千六百四拾五圓五錢七厘
第一款	株式會社日本勸業銀行補助	金參萬八千六百四拾五圓五錢七厘

第二款	株式會社農工銀行補助	金五拾萬圓
第三款	株式會社臺灣銀行補助	金貳拾五萬圓
第四項	株式會社北海運送殖産銀行補助	金貳拾萬圓
第五項	株式會社日本興業銀行補助	金六萬貳千五百圓
第六項	罹災救助基金補助	金四拾貳萬五千五百圓
第二款	公債證書製造及發行費	金拾五萬九千四百貳拾八圓
第一款	公債證書製造及發行費	金拾五萬九千四百貳拾八圓
第三款	營繕費	金七拾八萬七千六百五拾圓六拾四錢五厘
第一款	橫濱稅關海面埋立費	金六拾壹萬四千七百七拾四圓
第二款	神戸稅關海面波止新設費	金六萬參千五百圓
第三款	新營費	金五萬參千貳拾參圓貳拾六錢五厘
第四項	修繕費	金五萬六千參百五拾參圓參拾八錢
第四款	法典調查會	金參萬九千四拾圓
第一款	廳費	金千六百貳拾圓
第二款	修繕費	金百貳拾圓
第三款	雜給及雜費	金參萬七千參百圓
第五款	臨時秩祿處分調查費	金參萬六千九百四拾九圓四拾八錢
第一款	俸給及諸給	金貳萬貳千六百圓
第二款	廳費	金八千九百九拾四圓
第三款	修繕費	金參百圓
第四項	旅費	金千五百圓



第五項 雜給及雜費	金四千參百五拾五圓四拾八錢
第六款 議院建築調查會費	金八千參百五拾七圓
第七款 印刷局機械改良及工場其他改良費	金貳拾五萬八千七百五拾九圓
第一項 印刷局機械改良費	金拾七萬五千五百五拾六圓
第二項 工場其他改良費	金八萬七千貳百參圓
第八款 沖繩縣土地整理費	金貳拾壹萬參千五百貳拾九圓
第一項 俸給及諸給	金貳萬八千六百圓
第二項 事業費	金拾八萬四千九百貳拾九圓
第九款 印刷局機械增設及工場增設費	金拾六萬四千六百參拾圓
第一項 機械增設費	金拾萬九千六百參拾圓
第二項 工場增設費	金五萬五千圓
大藏省所管合計金參百拾四萬九百八拾八圓拾八錢貳厘	
陸軍省所管	
第一款 砲臺建築費	金五百七拾萬九千四百參拾四圓八拾七錢九厘
第一項 東京灣砲臺建築費	金五拾四萬八千六百五拾參圓參拾五錢五厘
第二項 下ノ關砲臺建築費	金八萬六千五百參拾六圓參拾四錢六厘
第三項 紀淡海峽砲臺建築費	金拾七萬九千九百參拾五圓
第四項 鳴門海峽砲臺建築費	金八千貳百四拾圓貳拾八錢
第五項 吳砲臺建築費	金貳拾參萬貳千六百六拾九圓四拾九錢貳厘
第六項 藝海峽砲臺建築費	金四萬五千五百六拾圓八拾五錢七厘

第七項 佐世保砲臺建築費	金拾參萬九千六百八拾壹圓參拾五錢五厘
第八項 對馬砲臺建築費	金貳拾四萬七千參百八拾六圓貳拾錢五厘
第九項 長崎砲臺建築費	金四萬五千五百拾貳圓參拾錢
第十項 舞鶴砲臺建築費	金拾壹萬參千參百參拾四圓四拾錢九厘
第十一項 函館砲臺建築費	金拾壹萬參千八百六圓九拾壹錢六厘
第十二項 基隆砲臺建築費	金參拾八萬四千貳百圓
第十三項 澎湖島砲臺建築費	金貳拾參萬八千五百五拾圓
第十四項 兵器彈藥費	金參百參拾參萬貳千六百六拾八圓參拾六錢四厘
第一款 營繕費	金五萬貳千參百七拾八圓壹錢參厘
第二款 新營費	金五萬貳千參百七拾八圓壹錢參厘
第三款 測量費	金貳拾四萬八千九百貳拾貳圓七厘
第一項 俸給及諸給	金參萬九千參百七拾貳圓
第二項 廳費	金參百七拾圓五拾參錢四厘
第三項 雜給及雜費	金貳千圓
第四項 諸手當	金七百參拾八圓
第五項 測量事業費	金貳拾萬六千四百四拾壹圓四拾七錢參厘
第四款 營繕及初度調辦費	金貳百貳拾壹萬四千參百貳拾壹圓八拾七錢八厘
第一項 營繕及初度調辦費	金參百拾九萬五千八圓七拾錢八厘
第二項 基隆澎湖島新設官衙營繕及初度調辦費	金壹萬九千參百拾參圓拾六錢六厘
第五款 兵器彈藥費	金百六拾四萬貳千圓
第一項 兵器彈藥費	金百六拾四萬貳千圓



第六款 臨時陸軍建築部費

第一項 俸給及諸給

金四萬七千五百九拾貳圓四拾壹錢九厘

第二項 廳費

金貳萬九千八百八拾壹圓貳拾錢

第三項 死傷手當

金四千貳百參拾五圓四拾參錢參厘

第四項 賠償及訴訟費

金拾五圓

第五項 旅費

金七千八百九拾五圓七拾七錢五厘

第六項 雜給及雜費

金四千八百參拾參圓參拾九錢

第七項 諸手當

金五百八拾八圓六拾錢

第八項 馬匹費

金八百貳拾八圓貳錢壹厘

第七款 臺灣匪徒鎮定費

第一項 臺灣匪徒鎮定費

金五萬圓

第八款 臨時特設部隊費

第一項 臨時特設部隊費

金貳拾四萬九千八百八拾八圓八拾六錢七厘

第二項 俸給及諸給

金七萬貳千九百貳拾貳圓六拾貳錢

第三項 廳費

金壹萬六千貳拾參圓參拾五錢五厘

第四項 死傷手當

金百九拾圓

第五項 旅費

金貳萬九千九拾五圓四拾壹錢

第六項 雜給及雜費

金五萬五千五百六拾參圓六拾五錢

第七項 諸手當

金參千七百參拾六圓八拾錢

第八項 糧食費

金四萬參千七百四拾四圓八拾參錢貳厘

第九項 被服費

金壹萬貳千七百拾五圓九錢九厘

第十項 兵器彈藥費

金壹萬千四百拾貳圓四拾九錢六厘

第十項 馬匹費

第十一項 患者費

金壹萬貳百七拾九圓貳拾六錢九厘

第十二項 築造費

金千八百八拾五圓參拾參錢六厘

第十三項 機密費

金千貳百圓

第九款 戰役殘務整理費

第一項 戰役殘務整理費

金壹萬九千五百六拾壹圓八錢四厘

第十款 戰史編纂費

第一項 戰史編纂費

金五萬八百參拾壹圓六拾九錢壹厘

第十一款 一時賜金

第一項 一時賜金

金貳拾七萬圓

陸軍省所管合計金千五百五拾五萬四千八百六拾圓九拾參錢四厘

海軍省所管

金貳拾七萬圓

第一款 土木費

金四拾四萬五千五百圓

第一項 兵器製造所建築費

金四拾四萬五千五百圓

第二款 營繕費

金七萬四千參百拾六圓七拾錢

第一項 新營費

金七萬四千參百拾六圓七拾錢

第三款 受託造修費

金四萬七百八拾四圓

第一項 受託造修費

金四萬七百八拾四圓

第四款 職工外國派遣費

金參萬貳千參百七拾參圓

第一項 造船造兵職工外國派遣費

金參萬貳千參百七拾參圓

第五款 水路測量費

金參萬八千八百七拾貳圓六拾壹錢四厘



第一項 水路測量費	金參萬八千八百七拾貳圓六拾壹錢四厘
第六款 海軍擴張費	金千五百六拾參萬千貳百五拾九圓四拾八錢參厘
第一項 造船費	金九百四拾參萬參千貳百拾貳圓八錢四厘
第二項 造兵費	金四百貳拾五萬八千八百參圓九拾參錢四厘
第三項 建築費	金百九拾參萬九千貳百四拾參圓四拾六錢五厘
第七款 鎮守府造船材料資金	金拾萬圓
第一項 鎮守府造船材料資金	金拾萬圓
第八款 臨時海軍建設部費	金五萬參千九百貳拾九圓七錢
第一項 俸給及諸給	金參萬七千五百七拾壹圓八錢
第二項 廳費	金參千四百五拾八圓參拾五錢
第三項 旅費	金五千六百四拾五圓貳拾錢
第四項 雜給及雜費	金六千八百貳拾六圓九拾錢
第五項 諸手當	金六拾九圓五拾四錢
第六項 被服費	金八圓
第七項 患者費	金參百五拾圓
第九款 一時賜金	金千貳百圓
第一項 一時賜金	金千貳百圓
第十款 機關學校改築費	金貳千參百五拾八圓
第一項 機關學校改築費	金貳千參百五拾八圓
第十一款 拂下圖誌製造費	金六千圓
第一項 拂下圖誌製造費	金六千圓

第十二款 吳造兵廠擴張費	金五拾參萬千六百六拾貳圓五拾參錢
第一項 吳造兵廠擴張費	金五拾參萬千六百六拾貳圓五拾參錢
海軍省所管合計金千六百九拾五萬四千貳百五拾五圓參拾九錢七厘	
司法省所管	
第一款 營繕費	金五拾四萬六千八百七拾五圓九拾八錢壹厘
第一項 神戶地方裁判所建築及假設敷地借入費	金九萬七千五百七拾四圓
第二項 鍛冶橋監獄署建築費	金八萬圓
第三項 千葉縣監獄署建築費	金六萬圓
第四項 長崎縣監獄署建築費	金六萬圓
第五項 鹿兒島縣監獄署建築費	金四萬圓
第六項 石川縣監獄署建築費	金參萬圓
第七項 奈良縣監獄署建築費	金參萬圓
第八項 新營費	金拾貳萬八千五百五拾四圓六拾五錢
第九項 修繕費	金貳萬七千四百七拾七圓參拾參錢壹厘
文部省所管	
第一款 營繕費	金百參萬五百九拾圓八拾壹錢
第一項 帝國大學醫科大學醫院內科外科等教室及病室改築費	金五萬七千貳百五拾參圓
第二項 東京帝國大學醫科大學解剖學病理學法醫學等教室改築費	金九萬五千圓
第三項 東京帝國大學醫科大學醫化學藥物學教室及動物室改築費	金六萬四千貳百九拾五圓
第四項 東京帝國大學法科大學教室新營費	金參萬貳千參百六拾八圓



第五項	東京帝國大學農科大學農學部改築費	金七萬七千六百六拾八圓
第六項	東京帝國大學工料大學造船學部改築費	金四萬圓
第七項	京都帝國大學給水部改築費	金參萬參千八百拾六圓
第八項	京都帝國大學法科大學教養部改築費	金貳萬圓
第九項	京都帝國大學醫科大學醫化學部改築費及動物室新築費	金參萬圓
第十項	高等師範學校改築費	金貳拾貳萬六千九百拾圓
第十一項	女子高等師範學校改築費	金參萬七千參百五拾五圓
第十二項	札幌農學校改築費	金八萬圓
第十三項	東京工業學校校舍改築及工場增築費	金拾萬八千圓
第十四項	新營費	金拾壹萬九千九百八拾四圓壹錢八厘
第十五項	修繕費	金壹萬五千九百四拾壹圓七拾九錢貳厘
第二款	設備費	金五萬四千六百八圓八拾九錢
第一項	文部省教員檢定試驗室設備費	金參千參百圓
第二項	測地學委員會設備費	金貳萬七千六百六圓
第三項	中央氣象臺設備費	金九百九拾參圓八拾九錢
第四項	東京帝國大學設備費	金壹萬七百六拾五圓
第五項	札幌農學校設備費	金壹萬圓
第六項	第五高等學校設備費	金千參百八拾四圓
第七項	第五高等學校設備費	金千百圓
第三款	京都帝國大學創立費	金貳拾九萬五千七拾參圓

第一項	新營費	金貳拾七萬五千四百六拾圓
第二款	機械器具新調費	金壹萬九千六百拾參圓
第一款	新營費	金五萬圓
第五款	第二高等商業學校創立費	金貳萬五千圓
第一款	新營費	金貳萬五千圓
第六款	第七高等學校造士館創立費	金六萬圓
第一款	新營費	金六萬圓
第七款	高等工業學校創立費	金五萬圓
第一款	新營費	金四萬圓
第二款	設備費	金壹萬圓
第八款	高等農林學校創立費	金五萬圓
第一款	新營費	金五萬圓
第九款	帝國圖書館創立費	金四萬圓
第一款	新營費	金貳萬九千貳百圓
第二款	設備費	金壹萬八百圓
第十款	東京帝國大學史料編纂及出版費	金貳萬四百六拾四圓五拾錢
第一款	支出金	金貳萬四百六拾四圓五拾錢
第二款	東京帝國大學史料編纂及出版費	金九萬九千四拾參圓六拾參錢貳厘
第十一款	諸學校臨時支出金	金五千參百八拾參圓七拾參錢貳厘
第一款	東京帝國大學學術探險費支出金	金五千參百八拾參圓七拾參錢貳厘
第二款	東京帝國大學圖書機費支出金	金貳萬圓



- 第三項 東京帝國大學日館費既測測費支 金六千九百九拾錢
- 第四項 東京工業學校機械標本費支出金 金參萬七千六百五拾圓
- 第五項 大阪工業學校園藝機械及標本費支出金 金參萬圓
- 第十二款 補助費
  - 第一項 日本體育會補助 金壹萬圓
  - 農商務省所管
    - 文部省所管合計金百七拾八萬四千七百八拾圓八拾參錢貳厘
    - 農商務省所管
      - 第一款 府縣聯合共進會費 金參萬參拾貳圓參拾錢
      - 第二款 外國貿易擴張費 金拾壹萬參千參百參拾貳圓
      - 第一款 實業練習生補助費 金四萬六千八百貳拾八圓
      - 第二款 商品標本陳列費 金貳萬貳千七百貳圓八拾八錢
      - 第三款 商況視察費 金參萬四千八拾壹圓拾貳錢
      - 第四款 商況調查報告費 金壹萬貳百五拾圓
      - 第一款 製鐵所創立費 金五百參拾參萬五千五百五拾五圓
      - 第二款 事務費 金參拾參萬貳千八百八拾七圓
      - 第三款 工場費 金貳百參拾貳萬貳千八百六拾八圓
      - 第四款 製鐵原料鑛山費 金八萬圓
      - 第五款 試製費 金百圓
      - 第六款 若松築港補助費 金拾萬圓
      - 第七款 据置運轉資本支出金 金貳百五拾萬圓

- 第四款 巴里府萬國博覽會費
  - 第一項 巴里府萬國博覽會費 金貳萬九千貳百拾壹圓貳拾七錢
  - 第五款 遠洋漁業獎勵費 金七萬八千圓
  - 第一項 獎勵費 金六萬九千貳百圓
  - 第二項 監督及練習生養成費 金八千八百圓
  - 第六款 補助費 金九萬圓
  - 第一項 製茶販路擴張補助 金七萬圓
  - 第二項 大阪商品陳列所費補助 金壹萬圓
  - 第三項 朝鮮海運通商聯合會補助 金壹萬圓
  - 第七款 營繕費 金四拾萬八千九百五拾五圓參拾五錢
  - 第一項 水產講習所新營繕費 金五萬五千四百六拾八圓
  - 第二項 船舶製造費 金五千五百貳拾圓
  - 第三項 新營繕費 金貳拾四萬九百五拾九圓四拾五錢
  - 第四項 修繕費 金貳萬貳千八百八拾圓
  - 第五項 標本陳列館設備費 金五千圓
  - 第六項 水產講習所器具機械設備費 金貳萬五千貳百五拾九圓九拾錢
  - 第七項 橫濱生絲検査所器具機械設備費 金五萬參千八百六拾八圓
  - 第八款 鹽業調查費 金六萬參千四百參拾圓五拾八錢
  - 第一項 俸給及諸給 金壹萬四百八拾八圓
  - 第二項 鹽業視察費 金七百五拾圓七拾錢
  - 第三項 專業費 金五萬貳千九百九拾壹圓八拾八錢



第九款 國有林野經營費

- 第一項 俸給及諸給 金百七拾九萬九千四百四拾圓
- 第二項 修繕費 金貳拾壹萬八千參百參圓
- 第三項 死傷手當 金九千圓
- 第四項 賠償及訴訟費 金參拾圓
- 第五項 旅費 金拾五萬七千八百七拾四圓貳拾錢
- 第六項 事業費 金百四拾壹萬參千貳百參拾貳圓八拾錢
- 第十款 林野下辰調査費 金五萬八千九百五拾壹圓
- 第一項 俸給及諸給 金參萬貳千五百四拾圓
- 第二項 應費 金貳千六百貳拾八圓
- 第三項 賠償及訴訟費 金千八百圓
- 第四項 旅費 金貳萬六拾壹圓
- 第五項 雜給及雜費 金千九百貳拾貳圓
- 第十一款 第五回內閣勸業博覽會費 金壹萬六百九拾四圓七拾錢
- 第十二款 調查事業費 金壹萬六百九拾四圓七拾錢
- 第一項 磷礦調査費 金六萬貳百六拾五圓八拾錢
- 第二項 工場調査費 金貳萬參百七拾參圓參拾錢
- 第三項 油田調査費 金壹萬九千七百四拾貳圓五拾錢
- 第十三款 度量衡定期檢定用具補修費 金四萬五百八拾圓六拾八錢
- 第一項 度量衡定期檢定用具補修費 金四萬五百八拾圓六拾八錢

第十四款 肥料検査員養成費

- 第一項 肥料検査員養成費 金壹萬貳百九拾八圓九拾五錢
- 農商務省所管合計金八百拾貳萬八千參百四拾七圓六拾參錢
- 遞信省所管
- 第一款 補助費 金七百拾六萬千貳百八拾九圓七拾九錢六厘
- 第一項 海員養成補助 金壹萬圓
- 第二項 水難救濟補助 金貳萬圓
- 第三項 航路擴張費 金五百四拾八萬參千五百七拾四圓拾七錢六厘
- 第四項 航海獎勵費 金七拾九萬七千七百六拾五圓六拾貳錢
- 第五項 造船獎勵費 金貳拾七萬七千貳百五拾圓
- 第六項 日本鐵道株式會社利益補助 金五拾貳萬千八百七拾壹圓
- 第七項 山陽鐵道株式會社補助 金五萬八百貳拾九圓
- 第二款 電信線營業費 金百六拾五萬參千五百五拾七圓拾五錢四厘
- 第一款 電信線架設費 金百六拾五萬參千五百五拾七圓拾五錢四厘
- 第三款 航路標識營業費 金貳拾六萬千六拾貳圓四拾參錢七厘
- 第一項 航路標識新設費 金參萬七千八百六拾八圓八拾參錢七厘
- 第二項 日御崎航路標識新設費 金五萬參千八百九拾六圓
- 第三項 水ノ子島航路標識新設費 金六萬圓
- 第四項 コノ瀬航路標識新設費 金壹萬貳千六百五拾圓
- 第五項 センガイ岩航路標識新設費 金貳萬千八百八拾五圓
- 第六項 大濱航路標識新設費 金壹萬四千四百參拾參圓



第七項	白石航路標識新設費	金貳萬圓
第八項	航路標識設置費	金貳萬參百貳拾壹圓
第九項	新營費	金五千八百八圓六拾錢
第十項	航路標識修繕費	金五千七百參拾八圓
第十一項	修繕費	金九千九百四拾四圓
第四款	營繕費	金七拾八萬七千七百四拾壹圓九錢四厘
第一項	本省構内建物増築及改築費	金壹萬千貳百拾七圓
第二項	商船學校新營費	金八千參百參拾圓
第三項	事業用品倉庫新營費	金貳拾五萬千八百圓
第四項	新營費	金四拾四萬五千六圓六拾九錢四厘
第五項	修繕費	金七萬千參百八拾七圓四拾錢
第五款	電話交換擴張費	金貳百六拾七萬七千貳百六拾九圓四拾貳錢九厘
第一項	電話交換擴張費	金貳百八拾萬圓
第六款	官設既成鐵道改良費	金參百八拾萬圓
第一項	官設既成鐵道改良費	金參拾貳萬九千六百七拾六圓
第七款	淀川新流架橋費	金參拾貳萬九千六百七拾六圓
第一項	淀川新流架橋費	金參拾貳萬九千六百七拾六圓
第八款	鐵道建設費	金千參百九拾五萬圓
第一項	福島青森間鐵道	金參百萬圓
第二項	八王子名古屋間鐵道	金四百五拾萬圓
第三項	篠ノ井鹽尻間鐵道	金百拾五萬圓

第四項	八代鹿兒島間鐵道	金貳百參拾五萬圓
第五項	姫路境間鐵道	金貳百萬圓
第六項	海田市吳間鐵道	金九拾五萬圓
第九款	臨時外國行諸費	金貳萬五千六百八拾九圓四拾錢
第一項	萬國聯合電信會議參會費	金貳萬五千六百八拾九圓四拾錢
	遞信省所管合計金參千六拾四萬五千八百八拾五圓參拾壹錢	
	歲出臨時部合計金八千五百七拾七萬五千八百五拾壹圓七拾錢八厘	
	歲出總計金貳億四千九百四拾參萬六千五百貳拾九圓九錢四厘	
(別冊)		
乙號		
第一		
在芝罘領事館修築費		
	總額	款營 繕 費
	金參萬六千圓	項 在芝罘領事館修築費
	金參萬六千圓	年額
	明治三十四年度	款營 繕 費
	金八千圓	項 在芝罘領事館修築費
	明治三十五年度	款營 繕 費
	金貳萬八千圓	



金貳萬八千圓

大井川修築費

第二

金拾九萬六千四百五拾六圓

金拾九萬六千四百五拾六圓

年額

明治三十四年度

金拾貳萬四千四百貳拾四圓

金拾貳萬四千四百貳拾四圓

明治三十五年度

金七萬五千參拾貳圓

金七萬五千參拾貳圓

第二

北上川修築工修繕費

總額

金拾五萬圓

金拾五萬圓

年額

明治三十四年度

項 在芝罘領事館修築費

款 土木事業費

項 大井川修築費

款 土木事業費

項 大井川修築費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

款 土木事業費

項 北上川修築工修繕費

金七萬五千圓

明治三十五年度

金七萬五千圓

第四

鍛冶橋監獄署建築費

總額

金拾五萬參百六拾參圓

金拾五萬參百六拾參圓

年額

明治三十四年度

金八萬圓

金八萬圓

明治三十五年度

金七萬參百六拾參圓

金七萬參百六拾參圓

第五

千葉縣監獄署建築費

總額

金參拾萬千五拾六圓

金參拾萬千五拾六圓

款 營繕費

項 千葉縣監獄署建築費



年額 明治三十四年度

金六萬圓

款營 繕 費 項 千葉縣監獄署建築費

金六萬圓

款營 繕 費 項 千葉縣監獄署建築費

金六萬圓

款營 繕 費 項 千葉縣監獄署建築費

金六萬圓

款營 繕 費 項 千葉縣監獄署建築費

金六萬圓

款營 繕 費 項 千葉縣監獄署建築費

金六萬圓

款營 繕 費 項 千葉縣監獄署建築費

金六萬圓

款營 繕 費 項 千葉縣監獄署建築費

長崎縣監獄署建築費

總額

金參拾萬圓

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

年額 明治三十四年度

金六萬圓

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

金五萬九千六百參拾七圓

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

金五萬九千六百參拾七圓

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

金六萬千參百九拾四圓四拾八錢六厘

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

金六萬千參百九拾四圓四拾八錢六厘

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

金六萬千參百九拾四圓四拾八錢六厘

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

金五萬八千七百九拾參圓五拾五錢七厘

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

金五萬八千七百九拾參圓五拾五錢七厘

款營 繕 費 項 長崎縣監獄署建築費

鹿兒島縣監獄署建築費

總額

金貳拾貳萬千參百貳拾貳圓

款營 繕 費 項 鹿兒島縣監獄署建築費



年額

明治三十四年度

金四萬圓

金四萬圓

明治三十五年度

金四萬圓

金四萬圓

明治三十六年度

金四萬六千四百八拾八圓五拾參錢五厘

金四萬六千四百八拾八圓五拾參錢五厘

明治三十七年度

金四萬四千參百八圓參錢五厘

金四萬四千參百八圓參錢五厘

明治三十八年度

金五萬五百貳拾五圓四拾參錢

金五萬五百貳拾五圓四拾參錢

第八

石川縣監獄署建築費

總額

金拾五萬圓

金拾五萬圓

款營 繕 費  
項 石川縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 鹿兒島縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 鹿兒島縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 鹿兒島縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 鹿兒島縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 鹿兒島縣監獄署建築費

年額

明治三十四年度

金參萬圓

金參萬圓

明治三十五年度

金參萬圓

金參萬圓

明治三十六年度

金參萬圓

金參萬圓

明治三十七年度

金參萬圓

金參萬圓

明治三十八年度

金參萬圓

金參萬圓

第九

奈良縣監獄署建築費

總額

金參拾萬圓

金參拾萬圓

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 石川縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 石川縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 石川縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 石川縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 石川縣監獄署建築費



年額

明治三十四年度  
金參萬圓

金參萬圓

明治三十五年度  
金四萬圓

金四萬圓

明治三十六年度  
金六萬圓

金六萬圓

明治三十七年度  
金六萬圓

金六萬圓

明治三十八年度  
金六萬圓

金六萬圓

明治三十九年度  
金五萬圓

金五萬圓

東京帝國大學工科大學造船學造兵學教室增築費

第十

總額

金拾萬九千參百七拾六圓

金拾萬九千參百七拾八圓

年額

明治三十四年度  
金四萬圓

金四萬圓

明治三十五年度  
金四萬圓

金四萬圓

明治三十六年度  
金貳萬九千參百七拾六圓

金貳萬九千參百七拾六圓

第十一

金貳萬九千參百七拾六圓

金貳萬九千參百七拾六圓

第十一

京都帝國大學法科大學教室新營費

總額

金八萬七千六百八拾參圓五拾錢

金八萬七千六百八拾參圓五拾錢

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 奈良縣監獄署建築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費

款營 繕 費  
項 東京帝國大學造船學造兵學教室增築費



年額

明治三十四年度

金貳萬圓

明治三十五年度

金六萬七千六百八拾參圓五拾錢

金六萬七千六百八拾參圓五拾錢

第十二

京都帝國大學醫科大學醫化學教室及動物室新營費

總額

金拾壹萬五千圓

金拾壹萬五千圓

年額

明治三十四年度

金參萬圓

金參萬圓

明治三十五年度

金四萬五千圓

金四萬五千圓

款營 大京部帝國大學法科

項 大學新營費

款營 大京部帝國大學法科

項 大學新營費

款營 大京部帝國大學醫科

項 動物室新營費

款營 大京部帝國大學醫科

項 動物室新營費

款營 大京部帝國大學醫科

項 動物室新營費

明治三十六年度

金四萬圓

金四萬圓

第十三

白石航路標識新設費

總額

金五萬參千六百六拾圓

金五萬參千六百六拾圓

年額

明治三十四年度

金貳萬圓

金貳萬圓

明治三十五年度

金參萬參千六百六拾圓

金參萬參千六百六拾圓

第十四

電話交換擴張費

金千貳百八拾萬貳千六百六拾參錢壹厘

內

金九百六拾壹萬貳百五拾五圓參拾錢九厘

款營 大京部帝國大學醫科

項 動物室新營費

款 航路標識新設費

項 白石航路標識新設費

款 航路標識新設費

項 白石航路標識新設費

款 航路標識新設費

項 白石航路標識新設費

斷定總額

明治三十三年度迄支出額



金參百拾九萬千八百五拾壹圓四拾貳錢貳厘

此改定年額左ノ如シ

明治三十四年度

金貳百六拾七萬七千貳百六拾九圓四拾貳錢九厘

金貳百六拾七萬七千貳百六拾九圓四拾貳錢九厘

明治三十五年度

金五拾壹萬四千五百八拾壹圓九拾九錢參厘

金五拾壹萬四千五百八拾壹圓九拾九錢參厘

明治三十四年度以降支出額

款 電話交換擴張費

項 電話交換擴張費

款 電話交換擴張費

項 電話交換擴張費

(別冊)

丙號

第一

歲出臨時部大藏省所管第八款沖繩縣土地整理費第二項

事業費

第二

歲出臨時部大藏省所管第九款印刷局機械増設及工場増築費第一項

機械増設費

第三

歲出經常部陸軍省所管第二款軍事費第十四項

演習費

第四

歲出經常部陸軍省所管第二款軍事費第十九項

兵要地圖費

第五

歲出經常部陸軍省所管第四款屯田兵費第十一項

演習費

第六

歲出經常部海軍省所管第一款軍事費第十項

糧食費

第七

歲出經常部海軍省所管第一款軍事費第十一項

被服費

第八

歲出經常部海軍省所管第一款軍事費第十二項

造兵及修理費

第九

歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第十三項

造船及修理費

第十

歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第十四項

演習費

第十一



歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第十七項  
 艦費 第十二  
 歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第二十項  
 水路費 第十三  
 歲出臨時部文部省所管第二款設備費第二項  
 測地學委員會設備費 第十四  
 歲出經常部農商務省所管第二款林區署第八項  
 造林及林產物處理費 第十五  
 歲出臨時部農商務省所管第九款國有林野經營費第六項  
 事業費 第十六  
 歲出臨時部逕信省所管第二款電信線管費第一項  
 電信線架設費

各特別會計豫算  
 第一條 明治三十四年度外務省所管在外國帝國專管居留地內務省所管臺灣總督府、北海道官設鐵道用品資金、大藏省所管造幣局、印刷局、專賣局、大藏省預金、特別資金、貨幣整理資金、事業公債

及鐵道公債金、災害準備基金、教育基金、陸軍省所管東京砲兵工廠、大阪砲兵工廠、千住製鐵所、海軍省所管鎮守府造船材料資金、海軍造兵材料資金、文部省所管東京帝國大學、京都帝國大學、高等師範學校、女子高等師範學校、札幌農學校、高等商業學校、第一高等學校、第二高等學校、第三高等學校、第四高等學校、第五高等學校、第六高等學校、第七高等學校、造士館、山口高等學校、第一高等學校、第二高等學校、第三高等學校、第四高等學校、第五高等學校、第六高等學校、第七高等學校、東京工業學校、東京外國語學校、東京美術學校、東京音樂學校、大阪工業學校、東京官立學校、帝國圖書館、農商務省所管廣島鐵山、製鐵所、森林資金、逕信省所管官設鐵道、官設鐵道用品資金、電信營業用品製造所、各歲入歲出豫算額及其款項ノ金額ハ別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘン

第二條 別冊乙號所揭ノ費途ハ明治三十四年度以降ノ繼續費トナシ若クハ既定ノ總額及年額ヲ改定ス

第三條 別冊丙號所揭ノ費途ハ年度未支出殘額ヲ翌明治三十五年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

(別冊)  
 甲號

外務省所管  
 在外國帝國專管居留地  
 歲入  
 第一款 諸收入 金五拾壹萬參千六百拾貳圓  
 第一款 諸收入 金五拾壹萬參千六百拾貳圓  
 歲出  
 第一款 居留地經營費 金貳拾九萬八百八拾七圓  
 第一款 設備費 金貳拾四萬七千四拾壹圓



<p>第二款 事務費</p> <p>第一項 一時借入金返償          歲出合計金五拾壹萬參千六百拾貳圓          內務省所管          臺灣總督府          歲入</p>	<p>第一款 臺灣歲入</p> <p>第一項 內地稅          第二項 海關稅          第三項 噸稅          第四項 官業及官有財產收入          第五項 印紙收入          第六項 諸免許及手数料          第七項 雜收入</p>	<p>臨時部</p> <p>第一項 官有物拂下代          第二項 補充金</p>	<p>金四萬參千八百四拾六圓</p> <p>金貳拾貳萬貳千七百貳拾五圓</p> <p>金千四百四拾萬九千九百七拾九圓五錢六厘</p> <p>金百六拾萬八千九百拾參圓九拾參錢六厘</p> <p>金百六拾壹萬七千貳百四拾九圓八拾六錢五厘</p> <p>金壹萬五千六百貳拾五圓五拾七錢</p> <p>金千百壹萬參千參百五圓九拾九錢參厘</p> <p>金五萬九千參百貳拾貳圓貳拾錢八厘</p> <p>金壹萬八千貳圓九拾貳錢</p> <p>金六萬九千四百五拾八圓五拾六錢四厘</p> <p>金五千九百七拾貳圓七拾參錢九厘</p> <p>金五千九百七拾貳圓七拾參錢九厘</p> <p>金六百四拾八萬六千六百八拾九圓五拾錢</p>
---	--	---	--

<p>第一款 臺灣神社費</p> <p>第一款 總督府</p> <p>第一項 俸給及諸給          第二項 廳費          第三項 修繕費          第四項 死傷手當          第五項 賠償及訴訟費          第六項 旅費          第七項 雜給及雜費          第八項 物產陳列所費          第九項 苗圃費          第十項 公費          第十一項 機密費          第十二項 法院</p>	<p>第二款 臺灣神社費</p> <p>第一項 總督府          第二項 廳費          第三項 修繕費          第四項 死傷手當          第五項 賠償及訴訟費          第六項 旅費          第七項 雜給及雜費          第八項 物產陳列所費          第九項 苗圃費          第十項 公費          第十一項 機密費          第十二項 法院</p>	<p>第一項 補充金          第二項 公債募集金補充          歲入臨時部合計金六百四拾九萬貳千六百六拾貳圓貳拾參錢九厘          歲入合計金貳千八拾九萬四千六百四拾壹圓貳拾九錢五厘          歲出</p>	<p>經常部</p> <p>金壹萬八千圓</p> <p>金壹萬八千圓</p> <p>金五拾七萬九千參百四拾貳圓四拾貳錢四厘</p> <p>金貳拾八萬貳千七百五拾參圓參拾參錢四厘</p> <p>金六萬九千貳百貳拾圓</p> <p>金壹萬圓</p> <p>金貳百圓</p> <p>金六萬四千四百七拾九圓拾四錢</p> <p>金四萬參千八百八拾九圓九拾五錢</p> <p>金五千圓</p> <p>金七千四百圓</p> <p>金壹萬五千圓</p> <p>金八萬五千圓</p> <p>金參拾參萬七千七百七拾五圓七拾七錢</p>
--	---	--	--



第一項	俸給及諸給	金貳拾萬參千貳百貳拾九圓七拾五錢
第二項	廳費	金貳萬五千參百七拾圓
第三項	修繕費	金九千貳百七拾圓
第四項	死傷手當	金百八拾圓
第五項	裁判費	金貳萬百九拾圓
第六項	登記用紙及公告費	金貳千八拾四圓
第七項	賠償及訴訟費	金五拾參圓
第八項	旅費	金參萬參千六百八拾九圓九拾七錢
第九項	雜給及雜費	金四萬參千九百九圓五錢
第四款 縣廳		
第一項	俸給及諸給	金五拾八萬四千五百貳拾六圓八拾五錢四厘
第二項	廳費	金參拾貳萬參千八百五拾八圓七拾八錢
第三項	修繕費	金五萬五千五百拾七圓四拾五錢
第四項	褒賞費	金參萬八百六拾參圓
第五項	死傷手當	金千四百七拾四圓七拾壹錢四厘
第六項	恩賜及救助費	金五百五拾圓
第七項	難破船費	金五千五百六拾參圓
第八項	賠償及訴訟費	金千圓
第九項	滯納處分費	金貳百貳拾五圓
第十項	旅費	金七萬千四拾五圓四拾六錢
第十一項	雜給及雜費	金七萬參千參百參圓四拾五錢

第十二項 撫育費		
第五款 警察費		
第一項	俸給及諸給	金百五拾四萬九千參百參拾貳圓四拾七錢六厘
第二項	廳費	金貳拾四萬參千九百貳拾九圓四拾六錢七厘
第三項	修繕費	金貳萬六千貳百貳拾六圓拾七錢
第四項	死傷手當	金壹萬五千參拾四圓
第五項	賠償及訴訟費	金千五百圓
第六項	旅費	金拾圓
第七項	雜給及雜費	金貳萬千八百八拾五圓拾錢
第八項	地方稅施行地方費補足	金八萬九千五百五拾四圓拾貳錢
第六款 警察官及司獄官練習所		
第一項	俸給及諸給	金百拾五萬五千七百九拾參圓六拾壹錢九厘
第二項	廳費	金拾壹萬七千七百八拾八圓六拾六錢貳厘
第三項	修繕費	金壹萬八拾七圓
第四項	死傷手當	金八千四百八拾五圓拾六錢貳厘
第五項	賠償及訴訟費	金參千圓
第六項	旅費	金參拾圓
第七項	雜給及雜費	金貳拾圓
第七款 監獄費		金參萬四千七百五拾五圓八拾錢
第一項	俸給及諸給	金六萬四千四百拾圓七拾錢
第二項	廳費	金四拾九萬九千九百八拾六圓貳拾錢
第三項	監獄費	金四萬五百拾圓
第四項	監獄費	金壹萬貳千貳拾參圓七拾錢



第三項	修繕費	金四千百貳拾五圓
第四項	死傷手當	金拾貳圓五拾錢
第五項	在監入費	金拾七萬貳千九百壹圓七拾貳錢
第六項	賠償及訴訟費	金百參拾圓
第七項	旅費	金八千六百四拾參圓九拾四錢
第八項	雜給及雜費	金貳拾五萬參千五百參拾九圓參拾四錢
第八款 辨務署		
第一項	俸給及諸給	金四拾貳萬貳千五百拾七圓五拾貳錢七厘
第二項	死傷手當	金拾圓
第三項	賠償及訴訟費	金拾圓
第四項	雜給及雜費	金參百拾圓
第五項	地方稅施行地方費補足	金九萬八千五百四拾六圓拾五錢參厘
第九款 醫院		
第一項	俸給及諸給	金貳拾四萬四千四百拾八圓九拾五錢貳厘
第二項	廳費	金拾萬參千四百拾七圓
第三項	修繕費	金參萬五千九百七拾圓貳拾參錢貳厘
第四項	死傷手當	金七千六百七拾四圓
第五項	賠償及訴訟費	金五圓
第六項	患者費	金四萬貳千七百貳拾參圓五拾錢
第七項	旅費	金四千四百九拾四圓四拾貳錢
第八項	雜給及雜費	金五萬九拾九圓八拾錢

第十款 公醫費		
第一項	藥餌料	金參萬五千七百四拾壹圓參拾錢
第二項	旅費	金七百貳拾圓
第三項	雜給及雜費	金千六百參拾四圓四拾錢
第四項	地方稅施行地方費補足	金八千貳百八拾圓
第十一款 醫學校		
第一項	俸給及諸給	金貳萬五千六百九拾錢
第二項	廳費	金四萬五千九拾九圓貳拾貳錢
第三項	修繕費	金壹萬貳千九圓
第四項	死傷手當	金七千七百九拾九圓七拾八錢
第五項	旅費	金參百圓
第六項	雜給及雜費	金六百參拾四圓五拾四錢
第七項	學生費	金貳千參百五拾圓九拾錢
第十二款 教育費		
第一項	俸給及諸給	金貳拾萬參千九百拾五圓八錢五厘
第二項	廳費	金拾萬九千四百六拾四圓
第三項	修繕費	金壹萬六千九百拾五圓拾七錢
第四項	旅費	金七千參百八拾貳圓五拾七錢
第五項	雜給及雜費	金參千七百四拾四圓貳錢
第六項	學生費	金九千參百七拾四圓貳拾五錢
第七項	地方稅施行地方費補足	金四萬貳千六百五拾七圓五拾參錢
金壹萬四千參百七拾七圓五拾四錢五厘		



第十三款 稅關

- 第一項 俸給及諸給 金貳拾參萬七千四百六拾八圓貳拾八錢五厘
- 第二項 廳費 金拾萬參千五百五拾四圓貳拾五錢
- 第三項 修繕費 金貳萬九千七百八拾參圓貳拾六錢
- 第四項 從價稅品買上代 金五百圓
- 第五項 收容貨物及無請求品費 金四百圓
- 第六項 犯則者處分費 金五百圓
- 第七項 死傷手當 金參百圓
- 第八項 賠償及訴訟費 金壹萬四千七百七拾四圓貳拾五錢
- 第九項 旅費 金七萬八千參百九拾七圓五拾貳錢五厘
- 第十項 雜給及雜費 金百六萬五千參百四拾壹圓貳拾九錢
- 第十四款 遞信費 金參拾萬八千七百七拾圓八拾錢
- 第一項 俸給及諸給 金貳萬貳千五百七拾圓
- 第二項 廳費 金貳萬貳千五百七拾圓
- 第三項 修繕費 金參百五拾圓
- 第四項 死傷手當 金六拾壹萬九千九百貳拾九圓五錢
- 第五項 遞信事業費 金百六拾圓
- 第六項 賠償及訴訟費 金九千四百四拾圓參拾貳錢
- 第七項 諸拂辰金 金九千五百四拾圓參錢
- 第八項 通信技術練習費 金參萬七千四百四拾圓參拾錢
- 第九項 旅費

第十五款 測候所

- 第十項 雜給及雜費 金四萬參千九百七拾參圓七拾九錢
- 第十五款 測候所
  - 第一項 俸給及諸給 金貳萬八千貳百九拾五圓貳錢四厘
  - 第二項 廳費 金壹萬四千參百貳拾九圓八拾錢
  - 第三項 修繕費 金五千七百五拾四圓五錢四厘
  - 第四項 死傷手當 金貳千四百圓
  - 第五項 旅費 金參拾五圓
  - 第六項 雜給及雜費 金貳千參百參拾八圓七錢
  - 第十六款 航路標識費
    - 第一項 俸給及諸給 金五萬參千七百七拾參圓拾錢壹厘
    - 第二項 死傷手當 金壹萬八千九百四圓五拾錢
    - 第三項 賠償及訴訟費 金百貳拾圓
    - 第四項 航路標識事業費 金參萬四千四百四拾五圓六拾錢壹厘
    - 第十七款 海港檢疫所
      - 第一項 俸給及諸給 金貳萬七千四百拾貳圓拾八錢
      - 第二項 廳費 金九千九百五拾七圓四拾錢
      - 第三項 修繕費 金四千四百拾壹圓
      - 第四項 死傷手當 金八百五拾圓
      - 第五項 賠償及訴訟費 金貳百五拾圓
      - 第六項 旅費 金貳拾圓
      - 第七項 雜給及雜費 金六百九拾九圓參拾八錢
      - 第七項 雜給及雜費 金五千四百七圓貳錢



第八項	檢疫費	金五千參百五拾壹圓參拾八錢
第九項	患者費	金七百六拾六圓
第十八款	船舶海員費	金壹萬千八百七拾八圓拾七錢
第一項	俸給及諸給	金七千四圓
第二項	廳費	金千五百六拾九圓四拾九錢
第三項	死傷手當	金五圓
第四項	賠償及訴訟費	金拾圓
第五項	旅費	金千九百六拾六圓七拾錢
第六項	雜給及雜費	金千七百七拾壹圓拾錢
第七項	審判費	金百五拾壹圓八拾八錢
第十九款	電話交換局	金六萬八千貳百七拾八圓
第一項	俸給及諸給	金壹萬九千七百九拾六圓
第二項	廳費	金壹萬貳千貳百四拾六圓四拾錢
第三項	修繕費	金五百圓
第四項	死傷手當	金五圓
第五項	賠償及訴訟費	金拾圓
第六項	旅費	金參千百拾貳圓六拾錢
第七項	雜給及雜費	金參萬貳千六百八圓
第二十款	度量衡司檢所	金壹萬五千九百七拾四圓
第一項	俸給及諸給	金五千貳百六拾貳圓
第二項	廳費	金七千貳百五拾圓

第三項	修繕費	金五百圓
第四項	死傷手當	金五圓
第五項	賠償及訴訟費	金拾圓
第六項	旅費	金千六百圓
第七項	雜給及雜費	金千參百四拾七圓
第二十一款	臺灣官設鐵道事業費	金六拾四萬八千五百拾七圓八拾五錢參厘
第一項	俸給及諸給	金八萬五千參百圓
第二項	廳費	金參千六百八圓四錢
第三項	修繕費	金八百圓
第四項	死傷手當	金四百貳拾圓
第五項	賠償及訴訟費	金參圓
第六項	事業費	金五拾參萬參千九拾參圓參拾錢參厘
第七項	旅費	金壹萬六百拾六圓九拾七錢
第八項	雜給及雜費	金壹萬四千六百七拾六圓五拾四錢
第二十二款	專賣所	金六萬八千九百七圓八拾六錢五厘
第一項	俸給及諸給	金拾五萬九千五拾貳圓五拾錢
第二項	廳費	金參萬參千六百拾九圓九拾錢
第三項	修繕費	金貳萬貳千四百圓
第四項	死傷手當	金五拾圓
第五項	賠償及訴訟費	金五拾圓
第六項	旅費	金五萬八千參百參拾六圓五錢



第七項 雜給及雜費	金拾五萬參百四拾七圓五拾九錢六厘
第八項 作場費	金八拾壹萬九千五百五拾七圓九拾八錢壹厘
第九項 材料素品購買費	金四百五拾四萬七千五百四拾七圓五拾參錢八厘
第十項 阿片原料栽培費	金壹萬圓
第十一項 營林費	金貳萬圓
第十二項 鹽田開鑿費補助	金貳萬五千元
第十三項 審界諸費	金貳拾參萬四千參百四拾六圓參拾錢
第二十三款 歲入經常部繰入	金八拾六萬七拾圓
第一項 臺灣事業公債償却金繰入	金八拾六萬七拾圓
第二十四款 印紙類諸費	金九拾七圓貳拾六錢
第一項 印紙類諸費	金九拾七圓貳拾六錢
第二十五款 諸拂戻及缺損補填金	金八千圓
第一項 諸拂戻金	金七千圓
第二項 缺損補填金	金千圓
第二十六款 罹災救助基金補助	金五萬圓
第一項 罹災救助基金補助	金五萬圓
第二十七款 豫備金	金四拾萬圓
第一項 第一豫備金	金拾萬圓
第二項 第二豫備金	金參拾萬圓
歲出經常部合計金千四百拾七萬九千七百七拾壹圓六拾五錢壹厘	
歲出	

臨時部	金六千圓
第一款 臺灣神社鎮祭費	金六千圓
第一項 臺灣神社鎮祭費	金六千圓
第二款 特別事業費	金四百拾萬圓
第一項 臺灣鐵道建設及改良費	金貳百五拾萬圓
第二項 基隆築港費	金八拾萬圓
第三項 臨時臺灣土地調査費	金六拾萬圓
第四項 監獄署新營	金貳拾萬圓
第三款 事業費	金百貳拾九萬五千參百貳拾參圓貳拾參錢八厘
第一項 俸給及諸給	金參萬九千百參拾圓
第二項 廳費	金壹萬貳千七百七拾八圓五拾參錢八厘
第三項 死傷手當	金貳百五拾圓
第四項 賠償及訴訟費	金五拾圓
第五項 旅費	金參萬九千七百七拾九圓
第六項 雜給及雜費	金壹萬貳千參百九拾圓
第七項 北島燈臺建設費	金壹萬八千百參拾貳圓
第八項 アシコート島燈臺建設費	金五萬圓
第九項 電信電話建設費	金拾五萬七千貳百六拾貳圓七拾錢
第十項 營繕費	金八拾壹萬貳千七百五拾壹圓
第十一項 土木費	金拾壹萬圓
第十二項 河川港灣調査費	金貳萬八千圓



第十三項 衛生工事調査及設計費	金壹萬參千圓
第十四項 基隆水道水源地樹木增植費	金參千圓
第四款 南清貿易擴張費	金壹萬圓
第一項 南清貿易擴張費	金壹萬圓
第五款 獸疫豫防費	金壹萬五千圓
第一項 獸疫豫防費	金壹萬五千圓
第六款 衛生費	金四萬圓
第一項 衛生費	金四萬圓
第七款 勸業費	金拾五萬圓
第一項 勸業費	金拾五萬圓
第八款 編書費	金壹萬五千七百參拾貳圓
第一項 編書費	金壹萬五千七百參拾貳圓
第九款 補助費	金八拾壹萬圓
第一項 航海費補助	金八拾壹萬圓
第二項 學校補助	金壹萬圓
歲出臨時部合計金六百四拾四萬貳千五百五拾貳圓八厘	
歲出合計金貳千六拾貳萬千八百貳拾六圓八拾八錢九厘	
北海道官設鐵道用品資金	
歲入	
第一款 北海道官設鐵道用品賣拂代收	金參拾七萬五千圓
第一項 北海道官設鐵道用品賣拂代收	金參拾七萬五千圓

歲出	
第一款 北海道官設鐵道用品費	金參拾七萬五千圓
第一項 北海道官設鐵道用品費	金參拾七萬五千圓
大藏省所管	
造幣局	
歲入	
第一款 造幣局作業收入	金百五拾八萬參千五百五拾壹圓
第一項 作業收入	金百五拾七萬六千五百拾九圓
第二款 雜收入	金七千參拾貳圓
歲出	
第一款 造幣局作業費	金百貳拾貳萬五百參拾五圓
第一項 俸給及諸給	金貳萬八千八百八拾五圓
第二項 廳費	金貳千七百七拾九圓
第三項 修繕費	金千貳百拾四圓
第四項 死傷手当	金五拾圓
第五項 諸收入過誤納下戻	金五拾圓
第六項 旅費	金八百拾七圓
第七項 雜給及雜費	金四萬參千六百八拾八圓
第八項 作場費	金七萬八百七拾八圓
第九項 材料素品購買費	金百七萬參千參百九拾四圓
第二款 豫備金	金千五百圓



第一項 第一豫備金

歲出合計金百貳拾貳萬貳千參拾五圓

金千五百圓

印刷局

第一款 印刷局作業收入

金百九拾貳萬九千貳百七拾圓

第一項 作業收入

金百九拾萬八千七百五拾五圓

第二項 雜收入

金貳萬五百拾五圓

歲出

金百七拾參萬五千貳百五拾壹圓

第一款 印刷局作業費

金五萬貳千參百五拾八圓

第二項 俸給及諸給

金貳千五百五拾壹圓

第三項 廳費

金參百九拾圓

第四項 修繕費

金貳百九拾八圓

第五項 死傷手當

金拾圓

第六項 諸收入過誤納下戻

金千八百八圓

第七項 旅費

金五拾壹萬貳千貳百拾五圓

第八項 雜給及雜費

金七拾五萬六千貳百拾五圓

第九項 作場費

金四拾萬九千八百六圓

第十項 材料素品購買費

金壹萬貳千圓

第一款 豫備金

金壹萬貳千圓

第一項 第一豫備金

歲出合計金百七拾四萬七千貳百五拾壹圓

專賣局

歲入

第一款 專賣局作業收入

金貳千百貳拾八萬九千百拾五圓

第一項 作業收入

金貳千七拾四萬六千七百七拾圓

第二項 雜收入

金五拾四萬貳千參百四拾五圓

歲出

金千百五拾七萬九千四百圓

第一款 專賣局作業費

金五拾萬八千貳百四拾圓

第二項 俸給及諸給

金七萬參千五百圓

第三項 營繕費

金貳拾圓

第四項 死傷手當

金六百貳拾圓

第五項 賠償及訴訟費

金貳千六百七拾四圓

第六項 禁煙專賣法違犯者處分費

金四百六拾圓

第七項 諸拂戻及缺損補填金

金百八萬貳千七拾壹圓

第八項 事業費

金九百九拾壹萬千五百拾九圓

第九項 葉煙草賠償及購買費

金拾萬圓

第一款 豫備金

金拾萬圓

第一項 第一豫備金

歲出合計金千百六拾七萬九千四百圓

大藏省預金利息

歲入

第一款 預金利殖金收入

金貳百五拾八萬貳千參百七拾九圓



第一項 預金利殖金收入	金貳百五拾八萬貳千參百七拾九圓
歲出	
第一款 歲入經常部繰入	金貳百貳拾八萬貳千參百五拾七圓
第一項 預金利子繰入	金貳百貳拾八萬貳千參百五拾七圓
特別資金	
歲出	
第一款 特別資金支出	金千九百參拾壹萬五千五百圓
第一項 歲入臨時部繰入	金千九百參拾壹萬五千五百圓
貨幣整理資金	
歲入	
第一款 地金賣拂代收	金參千五百圓
第一項 地金賣拂代	金參千五百圓
歲出	
第一款 貨幣交換金支出	金五千圓
第一項 貨幣交換金	金五千圓
事業公債及鐵道公債金	
歲入	
第一款 公債募集金收入	金貳千九百八拾六萬貳千四百五拾圓
第一項 公債募集金	金貳千九百八拾六萬貳千四百五拾圓
歲出	
第一款 公債募集金支出	金貳千九百八拾六萬貳千四百五拾圓

第一項 公債募集金支出	金貳千九百八拾六萬貳千四百五拾圓
災害準備基金	
歲入	
第一款 災害準備基金收入	金四拾七萬貳百五拾圓
第一項 利子收入	金四拾七萬貳百五拾圓
教育基金	
歲入	
第一款 教育基金收入	金五拾萬九千六百八拾八圓
第一項 利子收入	金五拾萬九千六百八拾八圓
歲出	
第一款 教育基金支出	金六拾七萬五千圓
第一項 歲入經常部繰入	金六拾七萬五千圓
陸軍省所管	
東京砲兵工廠	
歲入	
第一款 東京砲兵工廠作業收入	金六百九拾壹萬七千貳拾圓九拾六錢五厘
第一項 作業收入	金六百八拾七萬千九百九拾四錢五厘
第二款 雜收入	金四萬六千拾壹圓五拾貳錢
歲出	
第一款 東京砲兵工廠作業費	金六百參拾七萬五千八百貳拾圓九拾六錢五厘
第一項 死傷手当	金八百拾四圓



第二項	旅費	金五千六百拾五圓貳錢
第三項	雜給及雜費	金百八拾萬八百六圓
第四項	作場費	金百貳拾四萬八千六百七拾八圓四拾四錢九厘
第五項	材料素品購買費	金參百參拾貳萬四千五百五拾七圓四拾九錢六厘
第二款	豫備金	金五拾萬參百圓
第一項	第一豫備金	金參百圓
第二項	豫備費	金五拾萬圓
歲出合計金六百八拾七萬六千六百貳拾圓九拾六錢五厘		
大阪砲兵工廠		
歲入		
第一款	大阪砲兵工廠作業收入	金六百六拾參萬參千參百八拾圓參錢八厘
第一項	作業收入	金六百五拾九萬七千五百參拾圓參錢八厘
第二項	雜收入	金參萬五千八百五拾圓
歲出		
第一款	大阪砲兵工廠作業費	金六百拾壹萬參千八拾圓參錢八厘
第一項	死傷手當	金千圓
第二項	旅費	金壹萬七千七百五拾九圓七拾錢
第三項	雜給及雜費	金百萬參千參百參拾圓
第四項	作場費	金七拾萬六千貳百七拾圓拾八錢七厘
第五項	材料素品購買費	金四百參拾八萬四千七百貳拾圓拾五錢壹厘
第二款	豫備金	金五拾萬參百圓

第一項	第一豫備金	金參百圓
第二項	豫備費	金五拾萬圓
歲出合計金六百八拾壹萬參千參百八拾圓參錢八厘		
千住製絨所		
歲入		
第一款	千住製絨所作業收入	金貳百八拾萬八千八百六拾貳圓八拾九錢四厘
第一項	作業收入	金貳百八拾萬參千四百參拾貳圓八拾四錢六厘
第二項	雜收入	金五千四百參拾圓四錢八厘
歲出		
第一款	千住製絨所作業費	金貳百貳拾萬四千九百拾七圓五拾九錢六厘
第一項	俸給及諸給	金壹萬參千百拾貳圓五拾錢
第二項	應費	金五百參拾六圓貳拾七錢參厘
第三項	修繕費	金五拾八圓八拾錢
第四項	死傷手當	金四百四拾七圓
第五項	賠償及訴訟費	金五拾圓
第六項	諸收入過誤納下戻	金貳拾五圓
第七項	旅費	金貳百拾貳圓
第八項	雜給及雜費	金拾壹萬五千六百四拾九圓拾參錢
第九項	作場費	金貳拾九萬貳千九百九拾貳圓拾貳錢
第十項	材料素品購買費	金百七拾八萬貳千六百參拾四圓七拾七錢參厘
第二款	豫備金	金六拾萬七百圓